

令和5年度

年報



令和6年10月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

目 次

1. 保健学部門の活動	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 各分野の活動		
2-1. 分野の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	5
2-2. 分野の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	9
2-3. 分野の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	12
3. 教員の活動		
3-1. 教員の活動：看護学分野	・ ・ ・ ・ ・	15
3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野	・ ・ ・ ・ ・	57
3-3. 教員の活動：検査技術科学分野	・ ・ ・ ・ ・	87
4. 教員組織および委員会一覧		
4-1. 教員人員及び教員配置表	・ ・ ・ ・ ・	115
4-2. 部内委員一覧	・ ・ ・ ・ ・	116
4-3. 病院地区委員会	・ ・ ・ ・ ・	118
4-4. 全学委員会	・ ・ ・ ・ ・	120

1. 保健学部門の活動

❖ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年2月	次期部門長の選出	保健学部門長として諸隈誠一が決定した。 任期は令和6年4月1日～令和8年3月31日	

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月5日	学部入学式	新入生140名（看護：70、放射：34、検査：36）が入学した。	学生係資料
令和5年4月5日	大学院入学式	修士26名（看護：5、助産学：6、医用量子：10、検査技術：5）、博士9名（看護：5、医療技術：4）が入学した。	学生係 資料
令和5年4月5日	学部在学生ガイダンス	学科長挨拶をオンライン配信し、専攻毎で開催した。	学生係資料
令和5年4月6日	大学院新入生ガイダンス	専攻長挨拶をオンライン配信し、分野毎で開催した。	学生係資料
令和5年4月7日	学部新入生ガイダンス	新入生140名（看護：70、放射：34、検査：36）が入学した。 伊都キャンパスで開催した。	学生係 資料
令和5年6月5日	国立大学保健医療学系代表者協議会	オンライン（Zoom）会議で開催された。（幹事校：筑波大学）	協議会議事録
令和5年7月21日	修士論文発表会	修士2年2名（医用量子：2名）が発表を行った。	保健学専攻 学年暦
令和5年8月21日	修士課程入学試験	41名（看護：3名、助産学：14名、医用量子：13名、検査技術：11名）が志願した。	学生係 資料
令和5年9月7日	博士後期課程入学試験	11名（看護：7名、医療技術：4名）が志願した。	学生係 資料
令和5年9月5日	保健学部門FD	テーマ：「大学教育における対話型・生成系人工知能（AI）の活用」 第1部 オンライン テーマ：「生成系 AI とラーニングアナリティクスによる新たな教育学習支援の可能性」 開催の挨拶・主旨説明：谷口 倫一郎（九州大学理事・副学長） 招待講演 1：吉田 壘（東京大学大学院工学研究科附属国際工学教育推進機構・准教授） 招待講演 2：合田 美子（熊本大学半導体・デジタル研究教育機構・准教授） 第2部 総合研究棟 105 号室 テーマ：「保健学部門における生成系 AI の可能性と問題点について」 保健学部門教員によるグループ討議、発表	保健学部門 FD報告書
令和5年9月26日	秋期学位記授与式	修士2名（医用量子線） 博士2名（看護：1、医療技術：1）	保健学専攻 学年暦

令和5年9月29日 令和5年12月25日 令和6年3月19日	就職セミナー（看護）	参加： 3年生（一部4年生） 遠隔及び対面形式で、講師から就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
令和5年10月2日	秋期入学式	修士 アジア保健学コース 1名 博士 保健学国際コース 1名	保健学専攻 学年暦
令和5年10月18日 令和5年11月1日 令和5年11月8日 令和5年11月15日 令和5年11月29日	就職セミナー（放射・検査）	参加： 3年生（一部4年生） 遠隔及び対面形式で、講師から就職活動に重要なマナーを中心とした研修会を開催した。	学生委員会 議事録
令和6年1月13～14日	大学入学共通テスト		保健学科 学年暦
令和6年1月20日	入学者選抜：総合型選抜Ⅱ〔第2次選抜〕	77名（看護：43名、放射：15名、検査：19名）が志願した。	学生係 資料
令和6年1月29日、2月2日、7日	修士論文発表会	修士2年29名（看護：11名、医用量子：11名、検査：7名）が発表を行った。	保健学専攻 学年暦
令和6年2月25～26日	入学者選抜：個別学力検査（前期日程）	290名（看護：141名、放射：68名、検査：81名）が志願した。	学生係 資料
令和6年3月25日	卒業式・学位記授与式	学士132名（看護：65名、放射：33名、検査：34名） 修士 28名（看護：4名、助産：7名、医用量子：11名、検査：6名） 博士 6名（看護：1名、医療技術：5名）	保健学科 学年暦 保健学専攻 学年暦

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	学生受入	看護：タイから学部生3名2週間、台湾から学部生3名2週間、香港から学部生3名2週間 放射：タイから学部生5名1ヵ月、インドネシアから学部生1名約3ヵ月、インドネシアから大学院生1名約3ヵ月、韓国から学部生2名約2か月半	
令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	学生派遣	看護：台湾へ学部生1名約1週間、アメリカ（グアム）へ学部生3名12日間、タイのマヒドン大学へ大学院生2名約1ヵ月および4名12日間、モンゴルのモンゴル国立医科大学へ大学院生1名約1週間、香港へ大学院生1名学会参加 放射：オーストラリアへ学部生1名約1ヵ月、オーストラリアへ大学院生1名4日間、オーストラリアへ大学院生2名学会参加、インドネシアへ大学院生2名学会参加 検査：ニュージーランドへ学部生1名1ヵ月、オーストラリアへ学部生1名1ヵ月、オーストラリアへ学部生1名約6ヵ月、台湾へ学部生1名約3週間	
令和5年4月1日～ 令和6年3月31日	SGU（スーパーグローバル大学創成支援）	(1) 学部：国際医療人材育成に向けた看護教育プログラムの構築（看護） 予算 469,000円 (2) 学府：留学生の多様化を目指した医学物理国際ワークショップ推進プログラム（医用量子線） 予算：570,000円	

令和5年11月24日	第18回九州大学保健学国際フォーラム開催	第1部 Special Lecture “The international exchange activities of Mahidol University” Dr. Supapak Phetrasuwan, Ph.D., RN Faculty of Nursing, Mahidol University Bangkok, Thailand “Working as a laboratory technician at JICA - Experience in Gabon, Africa” Ms. Minatsu Ose Former Overseas Cooperation Volunteer Clinical Laboratory Technician in Gabon “An Overview of International Academic Collaboration in Faculty of Mathematics and Natural Sciences ITB” Dr. Freddy Haryanto, Ph.D. Physics Department Faculty of Mathematics and Natural Sciences Institut Teknologi Bandung Jawa Barat, Indonesia 第2部 Student Meeting 各分野にて、海外講師よりオンライン講演や各国の学生と九州大学の学生間で英語による発表と討論を行った。	
令和5年9月23日	第19回保健学公開講座	会場：医学部保健学科棟 3階 第5番講義室 テーマ：健康を科学する医療と保健の世界 講演-1「途上国での保健・医療支援に研究能力は必要か？」 疋田 直子 教授 講演-2「臨床検査技師の仕事と医療への貢献」 内海 健 教授 講演-3「時代を生き抜くアクティブ・ラーナーとしての診療放射線技師」 近藤 雅敏 講師 受講者 127名（一般参加者 100名、本学教員 27名）	広報委員会資料

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年6月	大学院入試説明会	保健学専攻大学院受験希望者を対象に大学院の概要についての説明会を対面及びオンライン配信で開催した。54名から参加申し込みがあった。	保健学部門会議議事録 入試実施委員会議事録
令和5年7月8日	高校への出前講義	福岡県立城南高等学校（安田 洋子 助教）	
令和5年8月7日	オープンキャンパス	保健学科の受験を考えている高校生ならびに一般の方を対象にオープンキャンパスを開催した。 参加者：約1300名 全体説明会場：百年講堂 専攻別企画：保健学科本館で展示	学生委員会議事録

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 主な人事異動

年月日	事項	活動の概要	資料

7. 大型設備・機器の整備

年月日	分野	物品・事項	資料

2. 各分野の活動

❖ 看護学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月24日 令和5年5月22日 令和5年6月26日 令和5年7月24日 令和5年9月25日 令和5年10月30日 令和5年11月27日 令和5年12月25日 令和6年1月22日 令和6年2月26日 令和6年3月25日	看護学分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録

2. 教育活動 1) 学生・教員

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月7日	学部生（第21期）の入学	担任:寺岡佐和教授、植木慎悟准教授、酒井久美子助教、吉田恵美助教	分野会議議事録
令和6年2月21日	看護学分野FD	「学生の海外派遣における危機管理」のテーマでグループワークを行った（母性看護学・助産学・小児看護学領域担当）	令和5年度看護学分野FD報告書

2. 教育活動 2) 実習関係

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月17日 令和5年5月15日 令和5年6月27日 令和5年7月31日 令和5年9月19日 令和5年10月23日 令和5年11月20日 令和5年12月18日 令和6年1月23日 令和6年2月21日 令和6年3月18日	実習委員会	各看護領域の実習科目責任教員による、臨地実習の運営等に関する討論会を開催した。	実習委員会議事録
令和5年5月12日 令和5年7月14日 令和5年11月10日 令和6年3月8日 (R5.9月、R6.1月は中止)	看護キャリアセンター会議	九州大学病院で行われる看護学実習に関して、九州大学病院看護部と看護学分野の連携を中心に検討した。実習に関する教育、研究に関する検討を行った。	看護キャリアセンター会議議事録
令和5年度 通年	臨地実習に関する説明(九大病院以外)	老年、小児、在宅、地域、助産領域の臨地実習に関して、各実習施設において、実習指導者に説明会を行った。 老年看護学実習は、2つの外部施設と電話やメールで打ち合わせを行った。 小児看護学実習Ⅰは、4月21日に1箇所の実習施設と打ち合わせを行ったが、その直後で外部施設の実習中止が決定された。 在宅看護論実習は、4～8月と12月～3月に、13ヶ所の実習施設と打ち合わせを行った。 公衆衛生看護学実習は、5月に4ヶ所の自治体を訪問し、打ち合わせを行った。 助産学実習は、9～10月に3ヶ所、12～2月に2ヶ所の実習施設を訪問し、打ち合わせを行った。	実習要項

令和5年9月4日	3校合同九州大学病院 臨地実習打ち合わせ 会議（オンライン）	九州大学病院で実習予定の他校（福岡女学院看護 大学、福岡看護大学）と九州大学病院看護部と で、令和6年以降の実習予定について相互に確認、 検討を行った。	3校合同会議議事 録
令和5年度 4月～7月	総合実習に関する 実習説明会	看護学専攻4年生の総合実習に関して、各実習施設 において、実習指導者に説明会を行った。	実習要項
令和5年8月1日	福岡県公衆衛生看護 学実習連絡協議会	公衆衛生看護学実習を円滑かつ適正に実施するため、 保健師課程を置く県内大学等が加盟する協議 会に出席した。各大学の次年度各自自治体実習配置 と、宿泊を伴う遠隔地実習配置について協議し た。	福岡県公衆衛生看護 学実習連絡協議 会議事録
令和5年12月6日	在宅看護実習指導者 連絡会議	看護学専攻3年生～4年生の在宅看護論実習に関し て、実習施設（訪問看護ステーション）の実習指 導者に、オンラインにて説明を行った。	実習指導者連絡会 議資料

2. 教育活動 3) 選抜試験

年月日	事項	活動の概要	資料
令和6年2月20日	保健師課程選抜試験	看護学専攻2年生の保健師選択課程志願者につい て、筆記試験(小論文)と面接試験を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 4) 研究発表会

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年9月～11月	講座卒業研究中間発 表会	看護学専攻4年生が各講座において、卒業研究の 中間発表会を行った。	講座会議議事録
令和5年11月21日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生が卒業研究の成果 発表を行った。	卒業研究抄録集
令和6年1月29日	修士課程 看護学特 別研究の最終試験	修士課程大学院生の研究の最終試験を行った。	分野会議議事録
令和6年1月29日	博士後期課程 特別研究の中間発表	博士後期課程大学院生の研究の進捗状況につい て、中間発表会を行った。	分野会議議事録
令和6年1月30日	修士課程 看護学特 別研究の中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中 間発表会を行った。	分野会議議事録

2. 教育活動 5) 国家試験

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年度 通年	国家試験学内模擬試 験(看護師、保健師)	4年生を対象に国家試験の学内模擬試験を行った。看 護師国家試験模試計6回、保健師国家試験模試計3回	分野会議議事録
令和6年2月8日 令和6年2月9日 令和6年2月11日	第107回助産師国家試 験 第110回保健師国家試 験 第113回看護師国家試 験	3日間にわたって国家試験が行われた。看護師国家試 験100%、保健師国家試験100%、助産師国家試験 100%の合格率であった。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年7月9日～7月23日	学生派遣	タイのマヒドン大学のサマーコース（Cultural Diversity in Health Care for Interprofessional Education）に、修士課程研究コース1年生4名が参加した。	
令和5年7月16日～7月29日	留学生受入れ	タイのマヒドン大学から3名、台湾の台北医学大学から3名、香港の香港大学から3名、計9名を14日間受入れした。	2023 Exchange Program (Inbound) Overseas Nursing Program
令和5年11月24日	保健学国際フォーラム	九州大学教員・学生は5番講義室から、他大学者はオンラインによる参加のハイブリッド制で開催した。 第1部はタイ・マヒドン大学のSupapak Phetrasuwan先生、ガボン元青年海外協力隊のMinatsu Ose先生、インドネシア・バンドン工科大学のFreddy Haryanto先生による特別講演、第2部はタイ・マヒドン大学のSupapak Phetrasuwan先生による特別講義、および本学学生とマヒドン大学学生による学生発表・意見交換が行われた。	第18回九州大学保健学国際フォーラム報告書, 2023
令和6年3月1日～4月5日	学生派遣	タイのマヒドン大学へ、修士課程助産学コース1年生2名を36日間派遣した。	JASSO海外留学支援制度
令和6年3月20日～3月22日	教員派遣	台湾の台北医科大学へ、宮田潤子講師を派遣した。	

4. 社会連携 1) 人材育成

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年6月9日 令和5年7月5日 令和5年9月7日	九州大学病院臨地実習指導者研修（新規+アドバンス）	九州大学病院看護部の新たな臨地実習指導者48名アドバンス21名を対象に実施した。 ＜研修講師＞ ①藤田君支：看護基礎教育課程、実習指導の原理 ②橋口暢子：看護学生の動向、看護過程 ③青本さとみ：カンファレンスの指導方法	九州大学病院資料（令和5年度看護キャリアセンター報告書）

4. 社会連携 2) 看護教育協議会など

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年9月16日	全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会・研修会	地域におけるアクションリサーチや新カリキュラムへの対応について、加盟校間で意見交換を行った。	全国保健師教育機関協議会九州ブロック定例会・研修会資料
令和5年6月17日 令和5年6月18日	全国助産師教育協議会定時社員総会（Web会議）	公益社団法人全国助産師教育協議会社員総会が開催された。	全国助産師教育協議会定時社員総会資料
令和5年7月14日	国立大学助産師教育専任教員会議（Web開催）	実習施設の確保に関する状況や助産師における共用試験について協議および意見交換を行った。	国立大学助産師教育専任教員会議資料
令和5年8月5日	九州・沖縄地区助産師教育協議会（Web開催）	九州・沖縄地区の加盟校により、助産師国家試験プール問題作成・登録協力員選出方法や、各学校でのチャットGPTの使用方針、分娩介助実習施設確保について協議および意見交換を行った。	九州・沖縄地区助産師教育協議会資料

4. 社会連携 3) 公開講座

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年9月23日	第19回九州大学医学部保健学科公開講座講演	地域住民の方を対象に講演会を実施した。 テーマ：健康を科学する医療と保健の世界 講師：疋田直子教授 参加者：127名 (内訳：一般参加者：100名、本学教員：27名)	公開講座資料
令和6年3月21日	九州大学看護共創・実装研究拠点キックオフシンポジウム	九州大学病院看護部と共同し、研究と臨床を連携・共創しながら質の高い看護実践への寄与および研究力向上を目指し拠点を創設した。学内・院内に限らず学外・企業の方も対象に、拠点について紹介し、シンポジウムを開催した。 テーマ：九州大学発 看護ケアサイエンスの実装推進を目指して ＜シンポジウム発表者＞ 臨床看護ケア開発ユニット：藤田君支教授 母子・家族健康支援開発ユニット：疋田直子教授 コミュニティ健康支援開発ユニット：寺岡佐和教授 看護マネジメント開発ユニット：橋口暢子教授 ＜参加者＞ 120名 (内訳：本学：46名、九州大学病院：39名、その他：35名)	

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 医用量子線科学分野の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月10日	医用量子線科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する 検討会を開催した。	分野会議議事録
令和5年5月17日			
令和5年6月12日			
令和5年7月12日			
令和5年9月12日			
令和5年10月11日			
令和5年11月9日			
令和5年12月20日			
令和6年1月17日			
令和6年2月14日			
令和6年3月8日			

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月7日	学部生(第21期)の入学	主担任:馬場教授 副担任:田中助教 オリエンテーション実施	分野会議議事録 学生便覧
令和5年4月6日	大学院生(第17期)の入学	オリエンテーション実施	分野会議議事録
令和5年4月10日 令和5年6月5日 令和5年7月18日 令和5年9月12日 令和5年11月20日 令和6年1月11日 令和6年1月29日	国家試験学内模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試 国家試験外部模試 国家試験外部模試 国家試験学内模試	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生を対象に 国家試験の学内模擬試験を行った。	
令和5年6月26日, 7月3日	修士および博士課程 中間発表会		
令和5年7月6日, 7月20日	先端技術セミナーの開催	医学部保健学科放射線技術科学専攻学生、医学系学 府保健学専攻修士課程大学院生を対象に、最新医療 機器の先端技術に関する紹介を行った。	分野会議議事録 先端技術セミナー プログラム
令和5年9月23日	2023年度医学物理士 認定試験	大学院生3名中1名が合格	http://www.jbm p.org/certific ation/passers/
令和5年9月25, 26日	九重研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生30名を対 象に卒業研究紹介の説明会と進路相談を九重山の家 で実施した。	分野会議議事録 R5九重研修しおり
令和5年12月7, 8日	卒業研究発表会	医学部保健学科放射線技術科学専攻4年生33名が卒 業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 卒業研究発表会プ ログラム

令和5年11月3, 4日	第18回九州放射線医療技術学術大会	学部4年生が参加して講演を聴講した。教員2名、大学院生3名、学部生20名が筆頭発表者として学術研究発表を行った。	第17回 九州放射線医療技術学術大会プログラム
令和6年2月2日	修士研究発表会	医学系学府保健学専攻医用量子線科学分野修士2年生18名が修士研究の成果発表を行った。	分野会議議事録 修士研究発表会プログラム
令和6年2月16日	第75回診療放射線技師国家試験	30名が受験し28名が合格した。 合格者は93% (28/30名) であった。	厚生労働省

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年5月31日	ルント大学・ロニー教授による特別講演会	"Medical physics education and research in Sweden: Examples of scientific MRI projects at Lund University" 参加者：合計78名（九大院生約20、九大教員12名） 講演後に懇親会を開催し、学術的な国際交流を推進した。	分野会議議事録
令和5年11月19日	保健学科国際フォーラム	Dr. Freddy Haryanto 氏 (Physics Department Faculty of Mathematics and Natural Sciences Institut Teknologi Bandung Jawa Barat, Indonesia) を講師に迎え講演会を開催。講演会後の student meeting では、Bandung University から参加の学生1名が大学での研究について、当分野の大学院4名が大学での研究を紹介し、学生間の国際交流を推進した。	2023（令和5）年度スーパーグローバル大学創成支援（SHARE-Q）報告書

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年6月9日	第23回国立大学診療放射線技師教育施設協議会	Webにて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。（有村秀孝教授、藤淵俊王教授）	分野会議議事録 会議報告書
令和5年6月10日	第67回全国診療放射線技師教育施設協議会	Webにて開催された協議会に出席し、診療放射線技師に関する教育、国家試験の内容、就職等について協議した。（有村秀孝教授、藤淵俊王教授）	開催プログラム
令和5年9月23日	令和5年度 保健学部 門公開講座	近藤雅敏講師が放射線技術科学専攻、および診療放射線技師を紹介した。	開催プログラム

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年8月23, 24日	放射線取扱主任者試験第1種国家試験	合格者 学部1年生1名、学部2年生1名、学部3年生15名、学部4年生2名、大学院生1名	官報
令和5年7月1日	令和5年度第1回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 (Zoom)	臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会をオンライン開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒後教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 ●岡山大学 学術研究院保健学域 田辺悦章 先生 「協奏と共創による臨床放射線治療技術研究」 ●北海道大学大学院保健科学研究院 杉森博行 先生 「医療AIー画像系AIの現状と課題ー」 ●大阪大学大学院医学系研究科 山崎明日美 先生 「AIによる別アングル画像生成技術を用いた乳がん診断へのアプローチ ～放射線治療への応用も見据えて～」 参加者93名	http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/
令和6年2月17日	令和5年度第2回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン 先端医用量子線技術科学コース講演会 (Zoom)	臨床現場で物理的かつ技術的な面で指導的役割を果たし、様々ながん治療を対象とした臨床研究を推進する先端医用量子線技術科学の医療人養成を目的とした講演会を開催した。 本講演会は、九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定済。卒後教育として学外からの参加も受入れ、認定証を発行した。 ●福島県立医科大学 保健科学部 山品博子 先生 「マンモグラフィを始めとするがん対策における放射線診療の専門家育成と国際化」 ●熊本大学 大学院先端科学研究部 諸岡健一 先生 「がん治療における先端医用画像処理」 ●九州大学病院 医療技術部 廣瀬貴章 先生 「放射線治療の臨床研究に必要なデータサイエンス」 参加者123名	http://web.shs.kyushu-u.ac.jp/~mp/

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

❖ 検査技術科学分野の活動 — — — — —

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月26日	検査技術科学分野 分野会議	分野の全教員の参加による、分野の運営等に関する検討会を開催した。	分野会議議事録
令和5年5月24日			
令和5年6月28日			
令和5年8月30日			
令和5年9月27日			
令和5年10月25日			
令和5年11月22日			
令和5年12月20日			
令和6年1月31日			
令和6年2月28日			
令和6年3月27日			

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年4月7日	新入生オリエンテーション	新入生に対し入学時ガイダンスおよび研修を実施した。	分野会議議事録
令和5年12月8日	九大病院検査部との臨地実習反省会	九州大学病院検査部部长、技師長、副技師長、臨地実習担当の臨床検査技師の部署責任者と、保健学部門検査技術科学分野教員間で、令和5年度臨地実習の実施状況報告と令和6年度の実施計画および新カリキュラムにおける変更点などについて討議した。	分野会議議事録
令和5年9月27日	大学院博士課程・修士課程中間発表会	修士課程大学院生の研究の進捗状況について、中間発表を行った。	分野会議議事録
令和5年12月18日、20日	卒業研究発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生が卒業研究の成果発表を行った。	分野会議議事録
令和5年4月23日 令和5年7月28日 令和5年9月8日 令和5年11月10日 令和5年1月11日	国家試験模擬試験	検査技術科学専攻4年生の臨床検査技師国家試験対策として、2回の校内模試と3回の国試業者模試(医歯薬出版社)を実施した。	分野会議議事録
令和5年8月21日 令和5年8月25日 令和5年11月20日 令和5年11月27日 令和5年12月11日 令和5年12月14日 令和5年12月21日 令和5年12月25日	国家試験対策	検査技術科学専攻4年生の希望者を対象に、臨床検査技師国家試験対策として、国家試験過去問を使った解説を行った。	分野会議議事録 Moodleコース (https://moodle.s.kyushu-u.ac.jp/course/view.php?id=48996)
令和6年2月7日	修士課程論文審査会	修士課程大学院生の修士論文審査会が行われた。	分野会議議事録

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年11月24日	The 18th International Forum of Health Sciences	検査技師の合瀬美夏氏を招聘して“Working as a laboratory technician at JICA - Experience in Gabon, Africa”の講演を依頼した。Student meetingでは“Former Overseas Cooperation Volunteer Clinical Laboratory Technician in Gabon”の講演を依頼し、その後意見交換を行った。	地域国際連携・FD委員会議事録

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
令和5年7月21日	就職支援セミナー	株式会社麻生飯塚病院で勤務する卒業生による病院説明および学部4年生との対話を行った。	分野会議議事録

6. 特筆すべき実績受賞・特許など

年月日	事項	活動の概要	資料

3-1. 教員の活動：看護学分野

看護学分野

《統合基礎看護学》

教授	後藤 健一
教授	橋口 暢子
教授	藤田 君支
講師	丸山 マサ美
講師	松尾 和枝
講師	松永 由理子
講師	能登 裕子
講師	青本 さとみ
助教	吉田 恵美
助教	木原 深雪
助教	松本 美晴
助教	牟田 真美
助教	田中 さとみ
助教	相星 香
助教	薬師寺 佳菜子
助教	道面 千恵子

1. 教育活動

1. 大学院講義

国際社会とチーム医療(分担)	後藤	前期
ヘルスサイエンス論(分担)	後藤	前期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	後藤	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	後藤	通年
健康支援ケアシステム論Ⅰ	後藤	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	後藤	後期
看護教育方法開発学Ⅰ	橋口	通年
看護教育論	橋口	前期
基礎看護学特論Ⅰ	橋口	前期
基礎看護学特論Ⅱ	橋口	後期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	橋口	春学期
看護組織・マネジメント論(分担)	橋口	後期
Health Science Research (分担)	藤田(君)	前期
保健学研究論(分担)	藤田(君)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	藤田(君)	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ	藤田(君)	後期
臨床看護学特論Ⅰ	藤田(君)	通年
臨床看護学特論Ⅱ	藤田(君)	通年
生命倫理学	丸山	前期

医療と生命倫理	丸山	後期
看護教育論(分担)	松尾	前期
看護組織・マネジメント論	松尾	後期
臨床看護学特論Ⅰ(分担)	松永	通年
臨床看護学特論Ⅱ(分担)	松永	通年
看護研究方法論Ⅱ	松永	夏学期
健康支援ケアシステム論Ⅰ(分担)	松永	前期
健康支援ケアシステム論Ⅱ(分担)	松永	後期
看護教育論(分担)	能登	前期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	能登	夏学期
看護組織・マネジメント論(分担)	能登	後期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	田中	夏学期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

国際プレゼンテーション	後藤	通年
健康支援ケアシステム論Ⅱ	後藤	後期
看護学特別研究	後藤	通年
看護学特別研究	橋口	通年
保健学特別研究	橋口	通年
国際プレゼンテーション	橋口	通年
看護教育方法開発学Ⅱ	橋口	後期
看護学特別研究	藤田(君)	通年

4. 大学院修士課程修了者

久保 葵	周術期口腔ケアによる食道がんの術後感染に関する後ろ向きコホート研究
甲斐 梓	術期口腔ケアによる頭頸部癌の術後感染症に対する予防効果－新型コロナウイルス感染症流行前後における後ろ向き調査－

5. 大学院博士課程修了者

松尾里香	Relationship between oral health, quality of life, and comprehensive health literacy in community-dwelling older adults
------	---

6. 学部講義

医学総論Ⅰ(分担)	後藤	秋学期
臨床病態学	後藤	後期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	後藤	秋学期
公衆衛生学	後藤	春学期
人体の構造と機能Ⅰ	後藤	前期
国際保健と医療(分担)	橋口	後期

臨床倫理(分担)	橋口	後期
看護教育論	橋口	秋学期
看護過程論(分担)	橋口	冬学期
看護理論(分担)	橋口	夏学期
看護学概論	橋口	春学期
がん看護論(分担)	藤田(君)	夏学期
成人看護学概論	藤田(君)	秋学期
成人慢性期看護論Ⅰ	藤田(君)	春学期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	藤田(君)	前期
医療倫理・看護倫理	藤田(君)	夏学期
インフォームド・コンセント(分担)	丸山	前期
バイオエシックス入門(春学期)集中講義(分担)	丸山	前期
バイオエシックス入門(夏学期)(分担)	丸山	前期
課題協学	丸山	後期
医療倫理学Ⅰ(分担)	丸山	後期
医療倫理学Ⅱ(分担)	丸山	後期
看護学概論(分担)	松尾	春学期
公衆衛生看護管理論(分担)	松尾	秋学期
看護管理	松尾	秋学期
看護過程論(分担)	松尾	冬学期
成人急性期看護論Ⅰ	松永	春学期
成人急性期看護論Ⅱ(分担)	松永	前期
クリティカルケア論	松永	秋学期
看護研究Ⅰ(分担)	能登	春学期
看護情報論	能登	秋学期
看護過程論	能登	冬学期
看護理論(分担)	能登	夏学期
精神看護学各論Ⅰ	青本	秋学期
精神疾病論(分担)	青本	夏学期
精神看護学概論(分担)	青本	春学期
精神看護学各論(分担)	青本	前期
クリティカルケア論(分担)	吉田	秋学期
成人急性期看護論Ⅰ(分担)	吉田	春学期
成人急性期看護論Ⅱ	吉田	前期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	吉田	前期
看護過程論(分担)	松本	冬学期
看護管理(分担)	松本	秋学期
看護研究Ⅰ(分担)	松本	春学期
看護理論	松本	夏学期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	田中	前期

成人急性期看護論Ⅱ(分担)	田中	前期
がん看護論	田中	夏学期
成人看護学概論(分担)	田中	秋学期
成人慢性期看護論Ⅱ(分担)	相星	前期
がん看護論(分担)	相星	夏学期
成人慢性期看護論Ⅰ(分担)	薬師寺	春学期
成人慢性期看護論Ⅱ	薬師寺	夏学期
看護学概論(分担)	道面	春学期
看護理論(分担)	道面	夏学期
看護過程論(分担)	道面	冬学期
看護研究Ⅰ(分担)	道面	春学期

7. 学部の実験・実習・演習

看護研究Ⅲ(分担)	後藤	通年
看護研究Ⅳ(分担)	後藤	通年
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	橋口	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	橋口	後期
基礎看護学実習Ⅰ	橋口	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	橋口	後期
看護研究Ⅲ(分担)	橋口	通年
看護研究Ⅳ(分担)	橋口	通年
老年看護学実習(分担)	藤田(君)	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ	藤田(君)	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	藤田(君)	後期
看護研究Ⅲ(分担)	藤田(君)	通年
基幹教育セミナー・インフォームドコンセント(分担)	丸山	前期
課題協学	丸山	後期
医療倫理学Ⅰ(分担)	丸山	後期
医療倫理学Ⅱ(分担)	丸山	後期
看護研究Ⅲ(分担)	丸山	通年
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	松尾	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	松尾	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	松尾	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	松尾	後期
総合実習(分担)	松尾	前期
看護研究Ⅲ(分担)	松尾	通年
老年看護学実習(分担)	松永	前期
総合実習(分担)	松永	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	松永	前期

成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	松永	後期
看護研究Ⅲ(分担)	松永	通年
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	能登	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	能登	後期
総合実習(分担)	能登	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	能登	後期
看護研究Ⅲ(分担)	能登	通年
総合実習(分担)	青本	前期
精神看護学実習	青本	後期
看護研究Ⅲ(分担)	青本	通年
老年看護学実習(分担)	吉田	前期
総合実習(分担)	吉田	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	吉田	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	吉田	後期
看護研究Ⅲ(分担)	吉田	通年
基礎看護技術学Ⅰ	松本	前期
基礎看護技術学Ⅱ(分担)	松本	後期
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	松本	前期
基礎看護学実習Ⅱ(分担)	松本	後期
総合実習(分担)	松本	前期
看護研究Ⅲ(分担)	松本	通年
総合実習(分担)	牟田	前期
老年看護学実習(分担)	田中	前期
総合実習(分担)	田中	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	田中	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	田中	後期
看護研究Ⅲ(分担)	田中	通年
老年看護学実習(分担)	相星	前期
総合実習(分担)	相星	前期
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	相星	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	相星	後期
看護研究Ⅲ(分担)	相星	通年
老年看護学実習(分担)	薬師寺	前期
総合実習(分担)	薬師寺	前期
成人老年看護学実習Ⅰ(分担)	薬師寺	後期
成人老年看護学実習Ⅱ(分担)	薬師寺	後期
看護研究Ⅱ	薬師寺	通年
基礎看護学実習Ⅰ(分担)	道面	前期
基礎看護学実習Ⅱ	道面	後期
基礎看護技術学Ⅰ(分担)	道面	前期

基礎看護技術学Ⅱ	道面	後期
総合実習(分担)	道面	前期
看護研究Ⅲ(分担)	道面	通年

8. 卒業論文作成者

永岡 功太郎	高血圧管理の向上に向けた看護支援に関する文献検討
有木 尋	慢性心不全患者の再入院の要因と患者教育について
合田 侑里香	安全・安楽な清拭方法に関する文献研究
赤木 理沙子	静脈穿刺困難に影響する個人要因に関する研究
佐伯 美結	胃切除術後患者が周術期に抱える思いや体験に関する文献研究
坂梨 紗綾	心不全患者の自己管理における eHealth 介入の効果に関する文献研究
内田 妃奈子	臓器移植における代理意思決定場面の看護に関する文献研究—脳死下・心停止下・生体間の臓器移植に着目して—
俣江 遥貴	チーム医療における看護集団に関する文献研究—グループダイナミクス構成要素に着目して—
天野 春菜	看護における Therapeutic Communication に関する文献研究—がん患者への Therapeutic Touch に焦点を当てて
田中 紗亜矢	重症心身障害児と暮らしている親の困難について
古相 こゆき	病棟から手術室に部署異動した看護師の体験
柿本 理湖	交代制勤務看護師の睡眠に対する介入研究の文献検討
林田 実准	術後せん妄予防のための介入の有効性に関する文献
山口 純加	手術室看護師による術前の看護に対する不安軽減のための関わりについて
首藤 朋紀	Apfel score による PONV リスク評価の有用性に関する文献研究
原 美沙紀	乳がん患者の身体像の変化による日常生活での困難とそれに対する思いについて
本田 萌恵	外来で抗がん剤治療を行っている患者の身体的・精神的・社会的苦痛に関する文献検討
小幡 ジュミナ	神経性食欲不振症の発症要因における文献検討
中村 愛佳	発達に障がいのある人のきょうだいの思いについての文献検討
山本 菜月	統合失調症患者のリハビリと就労支援に関する文献検討
田中 里奈	新人看護師が直面する困難と必要な支援についての文献検討
小島 悠華	救急看護領域のシミュレーション教育に関する文献研究
牛尾 美空	高齢者における術後せん妄の危険因子に関する文献検討
西村 涼花	発達障害児の受療場面における非侵襲的な工夫に関する文献検討
稲月 佑衣	がん患者の在宅移行支援において医療者が感じる困難
末岡 彩希	臓器移植患者における患者教育と効果に関する文献検討
今井 未桜	生体間臓器移植ドナーの体験と思いに関する文献検討
福永 桃香	心臓リハビリテーションにおける患者の思いと必要な看護援助についての文献検討
小野 つくし	成人期の周術期乳がん患者のボディーイメージに関する文献検討
山田 茉優	腎移植患者の服薬行動に影響を与える因子についての文献検討
石川 寧々	人工股関節全置換術を受けた患者の QOL に関する文献検討
竹永 実桜	長期入院している精神障害者のストレングスに着目した看護師の関わりの有用性
渡邊 翔大	在宅で 2 型糖尿病を療養している高齢患者の困難と支援について

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

道面 顧問 バスケットボール(保健学科)

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	高血圧予防のためのデータベース利活用研究	後藤
2	家庭血圧と臓器障害に関する研究	後藤
3	心血管疾患発症予防につながる危険因子・防御因子の同定に関する研究	後藤
4	医療従事者における個人防護衣着用と熱ストレス	橋口
5	医薬品添付文書の活用における実態とその要因	橋口
6	女性の下肢疲労、むくみ発生に関する研究	橋口
7	周術期口腔ケアと感染制御	藤田(君)
8	低強度身体活動量の尺度開発	藤田(君)
9	人工股・膝関節全置換術患者における身体活動量	藤田(君)
10	認知症高齢者の介護者の研究	藤田(君)
11	コミュニケーション研究ー日本におけるインフォームド・コンセントを中心にー	丸山
12	告知に関する死生観研究ー高校生を対象としてー	丸山
13	コミュニケーション教育・研究ー看護のためのマイクロカウンセリングー	丸山
14	古医書・貴重書の書誌的研究ー史料を活用した倫理教育・研究ー（九州大学医学部における史料研究ー新しい「医の倫理」教育方法論の構築ー）	丸山
15	死生観の国際比較研究	丸山
16	生殖補助医療における生命倫理研究	丸山
17	新人看護職員の離職防止に関する研究	松尾
18	緑内障患者の視線動向に関する研究	松尾
19	看護職のキャリアディベロップメントに向けた支援の検討	松尾
20	認知症と視覚情報との関連についての研究	松尾
21	緑内障患者の点眼アドヒアランス向上に関する研究	松尾
22	婦人科がん治療後で下肢リンパ浮腫のある患者の低強度を含む身体活動量と睡眠、および健康関連 QoL の評価	松永
23	座位行動・軽強度活動に関する研究	松永
24	医療従事者(看護職)が抱えるヘルスニーズに対する新たな実装策と人間工学	能登
25	Based Ergonomics によるセンサーデバイスを用いた看護場面の測定・検証・評価	能登
26	高齢者の転倒予防に向けた運動感覚・日常生活動作モニターによる運動機能評価	能登
27	精神障がい者と生活する家族員と共に行う心理教育プログラムの開発ー診断後間もない時期の単家族に焦点を当ててー	青本
28	糖尿病性腎症患者における身体活動量の介入支援	吉田
29	依存症中間施設通所者の回復促進方法の検討	木原
30	アルコール依存症者の感情体験	木原

31	末梢静脈穿刺の穿刺難易度の予測に向けた触動作の定量化に関する研究	松本
32	末梢静脈カテーテル留置における効果的な静脈怒張を促すための研究	松本
33	へき地医療を取り巻く現状とその地で活動する看護師のレジリエンス。へき地の地域住民のソーシャルキャピタルに注目し、法学の視点から行政との関連と人々の生活とメンタルヘルスの向上を目指す。	牟田
34	消化器がん患者の周手術期の身体活動量、QOL に関する研究	田中
35	肝移植患者の身体活動量と QOL に関する研究	田中
36	家族看護学全般に関する研究難治性疾患患者・家族の支援臨床看護師の教育・研究活動に関する研究	相星
37	日本語版 15D 尺度の信頼性・妥当性の検証	薬師寺
38	人工関節全置換術患者におけるデジタルヘルスを活用した看護支援モデルの構築	薬師寺
39	人工関節患者における術前の期待とその到達度、QOL に関する調査	薬師寺
40	看護の教育的関わりモデル	道面

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

後藤健一

- 「基盤研究(B)」心房細動における脳心血管病予防のための降圧目標を解明する国際共同大規模臨床試験，後藤(分担)
- 「基盤研究(C)」炎症性腸疾患患者の病状と身体活動量の関連－生活習慣病に着目した患者・家族支援－，後藤(分担)
- 「基盤研究(C)」多職種連携による高血圧発症予防に関する研究，後藤(代表)
- 「基盤研究(B)」心房細動患者の至適降圧レベルを検討する無作為化比較試験，後藤(分担)
- 「基盤研究(C)」若年高血圧に関連する口腔内・腸内細菌を探索し予防と治療につなげる研究，後藤(分担)

橋口暢子

- 「基盤研究(C)」末梢静脈穿刺の穿刺難易度の予測に向けた触動作の定量化手法の開発と検証，橋口(分担)
- 「基盤研究(B)」社会実装を目指した看護師を熱ストレスから守るための個人防護具着用指針の開発，橋口(代表)
- 「基盤研究(C)」成人女性のライフサイクルにおける下肢のむくみと月経周期の関連，橋口(分担)
- 「挑戦的研究(萌芽)」人間工学的アプローチによる看護師の情報取得向上を目指した医薬品情報のデザイン展開，橋口(代表)

藤田君支

- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発，藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証，藤田(君)(代表)
- 「基盤研究(C)」人工関節術後高齢者における身体不活動ライフスタイル予防の包括的看護モデルの開発，藤田(君)(代表)

- 「基盤研究(C)」働き盛り世代の仕事と認知症介護の両立への備えを促す VR 学習プログラムの開発と検証, 藤田(君)(分担)
- 「基盤研究(C)」日常生活におけるノンエクササイズアクティビティを測定する尺度の開発と検証, 藤田(君)(分担)

松尾和枝

- 「挑戦的研究(萌芽)」人間工学的アプローチによる看護師の情報取得向上を目指した医薬品情報のデザイン展開, 松尾(分担)

松永由理子

- 「基盤研究(C)」COPD 患者の身体活動性向上に向けた集団参加型遠隔医療プログラムの構築, 松永(分担)
- 「基盤研究(C)」日常生活におけるノンエクササイズアクティビティを測定する尺度の開発と検証, 松永(代表)
- 「基盤研究(C)」慢性閉塞性肺疾患患者の自己管理能力における精神・心理的特性の実践的分析, 松永(分担)
- 「基盤研究(C)」慢性閉塞性肺疾患管理に特化した自己効力感尺度の開発とその臨床応用可能性の検討, 松永(分担)
- 「基盤研究(C)」人工関節術後高齢者における身体不活動ライフスタイル予防の包括的看護モデルの開発, 松永(分担)

能登裕子

- 「基盤研究(C)」リスクゼロ段階からの転倒予防介入指針の開発-身体感覚と運動機能のズレによる層別化, 能登(代表)

吉田恵美

- 「研究活動スタート支援」糖尿病透析予防指導外来における低活動患者への身体活動量の介入支援, 吉田(代表)

木原深雪

- 「基盤研究(C)」アルコール依存症者の感情活用能力育成プログラムの開発と有効性の検討, 木原(代表)

松本美晴

- 「基盤研究(C)」末梢静脈穿刺の穿刺難易度の予測に向けた触動作の定量化手法の開発と検証, 松本(代表)

田中さとみ

- 「若手研究」消化器がん高齢者の座位中心ライフスタイルを予防する術前包括的プログラムの開発, 田中(代表)
- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証, 田中(分担)

- 「基盤研究(C)」肝移植後の低活動ライフスタイルを変容する看護介入プログラムの開発，田中(分担)

相星香

- 「基盤研究(C)」炎症性腸疾患患者の病状と身体活動量の関連－生活習慣病に着目した患者・家族支援－，相星(代表)
- 「基盤研究(C)」子どもを亡くした家族のグリーフケアと人材育成プログラムの開発，相星(分担)

薬師寺佳菜子

- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証，薬師寺(分担)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

後藤健一:日本医療研究開発機構(AMED), 高血圧発症予防に向けた先制保健介入モデルの開発. (分担)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Minako Inoue, Satoko Sakata, Hisatomi Arima, Ikumi Yamato, Emi Oishi, Ai Ibaraki, Kenichi Goto, Takanari Kitazono: Sleep-related breathing disorder in a Japanese occupational population and its association with hypertension – Stratified analysis by obesity status –, *Hypertens Res.*, 2024 年 03 月.
- Kumi Sagara, Kenichi Goto, Megumi Maeda, Fumiko Murata, Haruhisa Fukuda: Medication adherence and associated factors in newly diagnosed hypertensive patients in Japan: the LIFE study, *J Hypertens.*, 42, 718 – 726, 2024 年 01 月.
- Yu Yamaguchi, Yuriko Matsunaga-Myoji, Kimie Fujita: Advanced practice nurse competencies to practice in emergency and critical care settings: A scoping review, *International Journal of Nursing Practice*, 1 – 16, 2023 年 09 月.
- Kimie Fujita, Kiyoko Makimoto, Yasuko Tabuchi, Yuriko Matsunaga-Myoji, Masaaki Mawatari: Oxford hip scores, floor-sitting score trajectories, and postoperative satisfaction rates at 10 years after primary total hip arthroplasty, *J Arthroplasty*. 1 – 7, 2023 年 07 月.
- Miyuki Ushio, Kiyoko Makimoto, Kimie Fujita, Satomi Tanaka, Maki Kanaoka, Yukiko Kosai, Noboru Harada: Validation of the LPA-SQUASH in post-liver-transplant patients, *Japan Journal of Nursing Science*. 1 – 14, 2023 年 05 月.

- Kanako Yakushiji, Kimie Fujita, Yasuko Tabuchi, Yuriko Matsunaga-Myoji, Satomi Tanaka, Masaaki Mawatari: Long-term health-related quality of life of total hiparthroplasty patients and cost-effectiveness analysis in the Japanese universal health insurance system, *Japan Journal of Nursing Science*, 1 - 14, 2023 年 04 月.
- Rika Matsuo, Kimie Fujita, Kanako Yakushiji, Tae Gondo, Rumi Tanaka, Atsushi Nagai: Relationship between oral health, quality of life, and comprehensive health literacy in community-dwelling older adults, *Research and Theory for Nursing Practice*, 1 - 20, 2023 年 04 月.
- Sayori Sakanashi, Kimie Fujita, Midori Nishio, Shinji Ouma, Kumiko Ogata: Learning needs of family caregivers in the Japanese working generation who care for community-dwelling people with dementia: A qualitative research study, *Journal of International Nursing Research*, 1 - 10, 2023 年 04 月.
- Yuriko Matsunaga-Myoji, Kimie Fujita, Yasuko Tabuchi, Masaaki Mawatari: Propensity score-matched comparison of physical activity and quality of life between revision total hip arthroplasty and primary total hip arthroplasty, *Journal of Orthopaedics*, 40, 23 - 28, 2023 年 04 月.
- 松尾和枝: 原発開放隅角緑内障患者が点眼治療中断に至る理由の質的記述的研究, *日本視機能看護学会誌*, 8, 15 - 19, 2023 年 11 月.
- 森園久美、田淵康子、室屋和子、武富由美子、松永由理子、鈴鹿綾子: 特別養護老人ホーム入所者の睡眠・覚醒リズムに対するアロマセラピーの効果, *保健の科学*, 65, 9, 641-646, 2023 年 07 月.
- 能登裕子、藤田香奈恵、橋口暢子、戸上英憲、佐藤幸志郎、野呂影勇: 体位変換時の接触圧力推移の評価と計測システムの有効性, *人間工学*, 59, 2, 78 - 84, 2023 年 04 月.
- Satoshi Ikeda, Makoto Masumitsu, Satomi Aomoto, Masanori Yamashita, Haruka Kakeda, Eri Nagatomo, Yukiko Kiyota, Michiko Matsueda, Hikaru Hori: Association between Organizational Justice and Serious Psychological Distress among Hospital Nursing Staff during the COVID-19 Pandemic: A Cross-Sectional Study, *the Japan Journal of Nursing Science*, 2024 年 03 月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kimie Fujita, Noriko Watanabe, Mika Nagafuchi, Miho Shikasho, Ayaka Ono, Daisaku Ikeda, Mina Matsumura, Aoi Kubo, Satomi Tanaka, Kumiko Sakai, Asako Okadome, Ayaka Kayano, Teppei Jinno: Development of a perioperative oral assessment tool for head and neck cancer, EAFONS2024, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- Satomi Tanaka, Kanako Yakushiji, Kimie Fujita: Relationship between depression and COVID-19-related fear, awareness, and prevention behaviors, and quality of life among liver and kidney transplant recipients, EAFONS2024, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- Megumi Yoshida, Kimie Fujita: Relationship between physical activity level and exercise self-efficacy scale in patients with diabetic Nephropathy, EAFONS2024, 2024 年 03 月, Hong Kong.

- Aoi Kubo, Kimie Fujita, Satomi Tanaka, Noriko Watanabe, Azusa Kai: The effect of perioperative oral care on postoperative infections in patients with esophageal cancer: A retrospective cohort study, EAFONS2024, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- Mayumi Morisaki-Nakamura, Kaori Aihoshi, Seigo Suzuki, Taketo Watsuji, Mari Ikeda: Surrogate decision-making among Japanese families: A scoping review, 16th International Family Nursing Conference (IFNC16), 2023 年 06 月, Ireland.
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- **調査研究報告** なし
- **国内学会での講演, 発表**
 - 川端潤, 後藤健一, 前田恵, 村田典子, 福田治久: 重症 COVID-19 サバイバーの退院 180 日以内死亡率と総医療費の比較検証:LIFE Study, 第 34 回日本疫学会学術総会, 2024 年 02 月, 滋賀.
 - 相良空美, 後藤健一, 福田治久, 村田典子, 前田恵: 介護認定調査による高齢高血圧患者の服薬アドヒアランスとその関連要因の検討:LIFE Study, 第 82 回日本公衆衛生学会総会, 2023 年 11 月, つくば国際会議場.
 - 寒水康雄, 松村潔, 大森将, 坂田智子, 大坪俊夫, 富永光裕, 鍵山俊太郎, 川崎純也, 赤崎卓, 藤島八重, 阿部功, 二宮利治, 後藤健一, 土橋卓也, 北園孝成: 1 機会に測定した 1 回目と 2 回目の家庭血圧の変化に影響する因子の検討:福岡高血圧コホート(FHC)研究, 第 45 回日本高血圧学会総会, 2023 年 09 月, 大阪国際会議場.
 - 相良空美, 後藤健一, 福田治久: 国保加入者における新規高血圧患者の服薬アドヒアランスの実態とその要因の分析:LIFE Study, 第 45 回日本高血圧学会総会, 2023 年 09 月, 大阪国際会議場.
 - 井上美奈子, 坂田智子, 有馬久富, 大石絵美, 大和いくみ, 茨木愛, 後藤健一, 北園孝成: 日本人職域集団における睡眠関連呼吸障害の実態と高血圧との関連一肥満の有無による検討一, 第 45 回日本高血圧学会総会, 2023 年 09 月, 大阪国際会議場.
 - 橋口暢子, 鳩野洋子, 藤田君支, 諸隈誠一, 後藤健一, 寺岡佐和, 疋田直子 濱田正美, 渡邊則子: 九州大学看護共創・実装研究拠点設置による九大看護のブランディングの構築, 未来社会デザイン統括本部&データ駆動イノベーション推進本部合同シンポジウム 2023, 2023 年 09 月, 福岡.
 - 濱田正美, 橋口 暢子, 渡邊 則子, 安永 幸枝, 平岩 ひろみ, 桃坂 真由美, 稲田 明美, 永渕 美佳, 森 日登美, 江口 恭世: 臨床看護研究の推進から実装研究へ ～臨床と学部の連携を通じて～, 第 27 回日本看護管理学会学術集会, 2023 年 08 月, 東京国際フォーラム.
 - 立石 礼望, 松尾 和枝, 橋口 暢子: 看護学生が医薬品添付文書から情報取得する時の困難, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口 海峡メッセ下関、下関市生涯学習プラザ、下関市民会館.
 - 中島紀江, 橋口暢子: 女子大学生の日常生活における下肢のむくみの発生状況とその個人背景の関連, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口.

- 橋口 暢子,若林 斉, Titis WIJAYANTO: 看護師の感染症個人防護着用時の身体不調の出現の有無と関連要因, 第 47 回人間生活環境系学会シンポジウム, 2023 年 11 月, 福岡女子大学.
- 前田ひとみ,岡田淳子,大橋久美子,岡田忍,加藤木真央,篠崎恵美子,塚越みどり,長坂猛,橋口暢子,樋之津淳子: 質の高い論文を目指した編集委員会の活動の紹介～投稿規定及び審査制度の変更について～, 日本看護技術学会 第 21 回学術集会 講演抄録集 P113, 2023 年 10 月, 市民会館シアーズホーム夢ホール 熊本市国際交流会館.
- 森下怜美,橋口暢子,松本美晴: 末梢静脈穿刺における穿刺困難の影響要因に関する文献検討, 日本看護技術学会 第 21 回学術集会 講演抄録集 P130, 2023 年 10 月, 市民会館シアーズホーム夢ホール 熊本市国際交流会館.
- 前野里子, 藤田君支、田中るみ: 2型糖尿病患者の身体活動セルフモニタリングの効果と課題, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口.
- 坂梨左織、太田博、藤理絵、藤田君支: 認知症の人と認知症介護に関わる人たちの学習用 VR コンテンツに対応するニーズ, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口.
- 渡邊則子、藤田君支、酒井久美子、久保葵、松村美奈: 頭頸部がん患者における術後感染症予防のための周術期口腔ケアのアセスメントシートの開発, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口.
- 久保葵、酒井久美子、植木慎悟、藤田君支: がん患者の術後肺炎に対する周術期口腔ケアの効果: 観察研究におけるシステマティックレビューとメタ分析, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口.
- 丸山マサ美、木村利人、鈴木美香、川勝和哉: バイオエシックス教育の課題と展望ー高校生に対するバイオエシックス教育ー, 日本生命倫理学会第 35 回年次大会, 2023 年 12 月, 明治学院大学.
- 丸山マサ美、中山杏、菊地君与、佐賀県立西高等学校(一ノ瀬なな): 告知に関する死生観の比較研究ー高校生調査に関する一考察ー, 日本生命倫理学会第 35 回年次大会, 2023 年 12 月, 明治学院大学.
- 松永由理子、田中さとみ、藤田君支: 婦人科がん治療後で続発性リンパ浮腫がある患者の加速度計による身体活動量、睡眠と健康関連 QoL との関連, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口.
- 能登裕子、村木里志: 地域高齢者の運動感覚と日常生活動作モニターによる運動機能評価ー第 2 報ー, 日本人間工学会第 64 回大会, 2023 年 09 月, 千葉.
- 能登裕子: 気軽に実験しませんか Part IV (教育講演) Session2 圧力測定シートと EMG を用いた測定と分析例, 第 5 回看護人間工学会学術集会, 2023 年 09 月, ウイング愛知.
- 松本美晴, 橋口暢子, 加温範囲の違いが加温後の静脈断面積に及ぼす影響, 日本看護研究学会第 49 回学術集会, 2023.08, オンライン.
- 田中さとみ, 藤田君支, 薬師寺佳菜子, 小川智子, 津々浦康, 戸島剛男, 岡部安博, 吉住朋晴: 新型コロナウイルス感染症流行禍における肝移植・腎移植後患者の身体活動量と恐怖、感染予防行動との関連, 第 59 回日本移植学会総会, 2023 年 09 月, 京都.

- 井上智恵、林優子、近藤ふさえ、滝口成美、河口てる子、大池美也子、安酸史子、小平京子、太田美帆、伊波早苗、横山悦子、東めぐみ、伊藤ひろみ、小林貴子、小田和美、道面千恵子、岡美智代、長谷川直人、小長谷百絵、恩幣宏美：生活背景十人十色：病気との付き合い方を患者とともに考えよう！～看護の教育的関わりモデル「生活者としての事実とその意味」～，第28回日本糖尿病教育・看護学会学術集会，2023年09月，岡山。
- 林田菜穂，能登裕子，橋口暢子：医療従事者の個人防護具着用が熱ストレス及び作業パフォーマンスに及ぼす影響，日本看護技術学会第21回学術集会 講演抄録集 P130, 2023年10月，市民会館シアーズホール夢ホール 熊本市国際交流会館。

○ 学会以外での講演，発表 なし

著作

1. 単行本

- Kenichi Goto: (単著) Polyphenols: A promising nutritional strategy for the prevention and treatment of hypertension, Studies in natural products chemistry, ed. by ATT-UR-RAHMAN, Vol.80, 2024年03月，Elsevier.
- 中山正敏・綾部広則編、丸山マサ美執筆、他多数：(共著) 吉岡斉を語る/吉岡斉が語る，2023年05月，花書院。

2. 総説

- 後藤健一：血管収縮と抵抗，レシピプラス Vol.23 No1 降圧薬はこう扱う！，2024年01月。
- Kenichi Goto: Triglyceride, an Independent Risk Factor for New-Onset Hypertension: A perspective, Endocrine, Metabolic & Immune Disorders – Drug Targets, 2023年06月。

3. 解説，書評など

- Kenichi Goto: Vascular Smooth Muscle TRPV4 Channel: A promising therapeutic target for salt-induced hypertension? , Hypertension research, 2023年08月。
- 坂下玲子，松尾和枝：看護実践モデルの構築・評価・改善のステップ，看護研究，56，2023年08月。
- 広瀬会里，能登裕子，田丸朋子，野呂影勇：第5回 看護人間工学会学術集会 教育講演 気軽に実験しませんか Part IV (分担執筆) Session2 圧力測定シートとEMGを用いた測定と分析例，看護人間工学会誌，2024年03月。

受賞

- 橋口他：「九州大学看護共創・実装研究拠点設置による九大看護のブランの構築」，九州大学未来社会デザイン統括本部&データ駆動イノベーション推進本部合同シンポジウム 発表奨励賞，九州大学，2023年09月。

報道

- 後藤：KBC九州朝日放送，「とっても健康ランド 高血圧」，2023年08月。

- 丸山:NHK 総合 ETV 特集『膨張と忘却～理の人が見た原子力政策～』, 2024 年 3 月 2 日
放送(3 月 7 日再放送), 2024 年 03 月. 本特集は第 50 回放送文化基金賞ドキュメンタリー
部門最優秀賞受賞

4. 産学連携活動

1. 共同研究 なし
2. 受託研究 なし
3. 取得特許 なし
4. 兼業 なし
5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張
 - 藤田(君), 香港大学(Hong Kong), 国際会議, 2024 年 3 月.
 - 田中, 香港大学(Hong Kong), 国際会議, 2024 年 3 月.
 - 吉田, 香港大学(Hong Kong), 国際会議, 2024 年 3 月.
2. 外国人研究者の受入れ
 - 訪問教授・研究員
 - 訪問研究者 なし
3. 留学生の受入れ なし
4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員
 - 橋口, 基幹 CHC 倫理専門委員会
 - 丸山, QFC-SP
2. 部局委員
 - 丸山, 安全・衛生員会
 - 能登, 百人部会委員

3. 部門・コース内委員

- 後藤, 保健学部門広報委員会副委員長
- 後藤, 保健学部門大学院委員会委員
- 橋口, 人事委員会
- 橋口, 将来計画点検評価年報委員会委員
- 橋口, 総務委員会委員
- 橋口, 分野長
- 橋口, 入試実施委員
- 橋口, 財務委員会
- 橋口, 実習委員
- 橋口, 模擬患者養成部会委員
- 藤田(君), 看護キャリアセンター会議委員
- 藤田(君), 統合基礎看護学講座長
- 藤田(君), 実習委員長
- 藤田(君), 財務委員会委員
- 藤田(君), 施設・環境委員長
- 丸山, 保健学科看護学専攻 19 期担任
- 松尾, 地域国際・FD 連携委員会
- 松永, 保健学科実習委員
- 能登, 卒業研究委員
- 青本, 実習委員
- 田中, 卒業研究委員
- 吉田, 地域国際・FD 連携委員会
- 吉田, 看護キャリアセンター会議委員
- 相星, 大学院院生係 図書委員
- 相星, 統合基礎看護学講座 会計
- 薬師寺, 将来計画、点検・評価・年報委員会
- 薬師寺, Kite Net・LAN 管理担当
- 道面, 広報委員
- 道面, 実習委員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 橋口, 放送大学, 客員教員.
- 橋口, 放送大学, 面接授業講師
- 藤田(君), 京都大学大学院, 非常勤講師
- 丸山, 聖マリア学院大学大学院修士課程, 非常勤講師.
- 丸山, 純真学園大学, 非常勤講師.
- 松尾, 放送大学, 非常勤講師.
- 松尾, 公益社団法人福岡県看護協会「認定看護管理者教育課程」, 講師.

- 松尾，福岡県保健医療介護部医療指導課医師・看護職員確保室/福岡県専任教員養成講習会，講師。
- 松永，福岡県専任教員養成講習会，集中講義。
- 能登，福岡県看護協会 新人看護職員教育担当者研修，講師
- 青本，福岡看護高等専修学校，非常勤講師。
- 青本，福岡市立こども病院，非常勤講師。

2. 学協会

- 後藤，日本高血圧学会，JHS2025 執筆委員，国内。
- 後藤，日本高血圧学会，専門医資格・施設認定・カリキュラム小委員会委員，国内。
- 後藤，日本高血圧学会，専門医制度委員会委員，国内。
- 後藤，日本高血圧学会，診療・保険委員会委員，国内。
- 後藤，Frontiers in Physiology，編集委員（Editorial board of Vascular Physiology as Review Editor），国際。
- 橋口，公益社団法人日本看護科学学会，和文誌専任査読委員，国内。
- 橋口，日本看護科学学会学術集会，企画委員，国内。
- 橋口，日本看護科学学会，代議員，国内。
- 橋口，人間一生活環境系学会，評議員，国内。
- 橋口，福岡県看護協会 WOC 入試委員会副委員長，国内。
- 橋口，日本看護技術学会，編集委員，国内。
- 橋口，Journal of Human-Environment System，編集委員，国際。
- 藤田(君)，Japan Journal of Nursing Science，subjective editor，国際。
- 藤田(君)，日本看護科学学会，表彰委員，代議員，国内。
- 藤田(君)，日本看護研究学会，評議員，国内。
- 藤田(君)，日本糖尿病教育・看護学会，編集委員，代議員，国内。
- 藤田(君)，日本老年看護学会，評議員，国内。
- 藤田(君)，日本慢性看護学会，評議員，国内。
- 丸山，日本看護研究学会，査読委員，国内。
- 丸山，日本看護歴史学会，編集委員，査読委員，国内。
- 丸山，Journal of Philosophy and Ethics in Health Care and Medicine，編集委員・査読委員，国際。
- 丸山，日本医学哲学倫理学会，評議員・学術誌査読委員，国内。
- 丸山，日本生命倫理学会，評議員・学術誌査読委員，国内。
- 丸山，日本看護歴史学会，監事，国内。
- 松尾，福岡県看護協会，認定看護管理者教育運営委員会，運営委員，国内。
- 能登，看護人間工学会，評議員，国内。
- 能登，バイオメディカル・ファジィ・システム学会，評議員，国内。
- 能登，日本人間工学会，理事，国内。
- 能登，日本人間工学会九州・沖縄支部，評議員，国内。
- 能登，日本人間工学学会誌，査読委員，国内。
- 吉田，日本腎不全看護学会，認定委員，国内。

- 吉田，日本腎不全看護学会，研究委員，国内.
- 吉田，日本腎不全看護学会，代議員，国内.
- 吉田，日本腎不全看護学会，災害対策委員，国内.
- 田中，日本看護科学学会，若手の会九州・沖縄エリアコーディネータ
- 薬師寺，日本糖尿病教育・看護学会，専任査読者，国内.
- 道面，日本糖尿病教育・看護学会，査読委員，国内.

3. 官界

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会

- 後藤，「産業医として健康講話を行った」，西日本鉄道株式会社，講演会・公開討論.
- 橋口，「福津市郷育カレッジ 公開講座「家庭内でも気をつけよう 意外と多い不慮の事故」」，福津市教育部郷育推進課，福津市中央公民館，公開講座.
- 青本，「演習講師」，福岡県実習指導者講習会.

6. 初等中等教育への貢献

- 丸山，「QFC-SP」，講演・セミナー.
- 丸山，「令和5年度『ふくおか高校生知の創造塾』ファシリテータ」.
- 丸山，「令和5年度兵庫県立姫路東高等学校 SSH 運営指導委員会委員」.

看護学分野

《広域生涯看護学》

教授	寺岡 佐和
教授	疋田 直子
教授	諸隈 誠一
教授	鳩野 洋子
准教授	前野 有佳里
准教授	植木 慎悟
講師	宮田 潤子
講師	岩木 三保
講師	末次 美子
講師	菊地 君与
助教	佐藤 洋子
助教	杉浦 圭子
助教	松藤 尋幹
助教	藤田 貴子
助教	酒井 久美子
助教	長友 恵莉
助教	田代 恵理

1. 教育活動

1. 大学院講義

ヘルスサイエンス論(分担)	寺岡	前期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	寺岡	春学期
地域母子保健Ⅰ	疋田	秋学期
助産管理Ⅰ	疋田	秋学期
助産管理Ⅱ(分担)	疋田	冬学期
周産期の薬理学	疋田	冬学期
基礎助産学Ⅰ	疋田	前期
基礎助産学Ⅲ	疋田	後期
国際社会とチーム医療(分担)	疋田	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ	諸隈	前期
基礎助産学Ⅱ	諸隈	前期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	諸隈	春学期
先端医療論	諸隈	前期
発達看護学特論Ⅱ	諸隈	後期
看護研究方法論Ⅰ	鳩野	前期
地域母子保健Ⅰ(分担)	鳩野	後期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	前野	春学期
看護研究方法論Ⅰ(分担)	植木	春学期
発達看護学特論Ⅰ	植木	前期

発達看護学特論Ⅱ(分担)	植木	後期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	植木	前期
母子発達ケアシステム論Ⅰ(分担)	宮田	前期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	宮田	前期
先端医療論(分担)	宮田	前期
基礎助産学Ⅰ(分担)	宮田	前期
周産期の薬理学	宮田	冬学期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	岩木	前期
地域母子保健Ⅰ(分担)	末次	秋学期
地域母子保健Ⅱ(分担)	末次	後期
助産管理Ⅰ(分担)	末次	後期
助産管理Ⅱ(分担)	末次	後期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	菊地	夏学期
地域母子保健Ⅱ(分担)	菊地	春学期
基礎助産学Ⅲ(分担)	佐藤	後期
地域母子保健Ⅱ(分担)	佐藤	春学期
看護研究方法論Ⅱ(分担)	杉浦	夏学期
発達看護学特論Ⅰ(分担)	長友	前期

2. 大学院実験・実習

助産学実習Ⅰ(分担)	疋田	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	疋田	後期
助産学実習Ⅲ(分担)	疋田	前期
助産学実習Ⅳ(分担)	疋田	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	末次	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	末次	後期
助産学実習Ⅲ(分担)	末次	前期
助産学実習Ⅳ(分担)	末次	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	佐藤	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	佐藤	後期
助産学実習Ⅲ(分担)	佐藤	前期
助産学実習Ⅳ(分担)	佐藤	前期
助産学実習Ⅰ(分担)	松藤	後期
助産学実習Ⅱ(分担)	松藤	後期
助産学実習Ⅲ(分担)	松藤	前期
助産学実習Ⅳ(分担)	松藤	前期

3. 大学院演習

助産診断・技術学Ⅰ(分担)	疋田	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	疋田	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	疋田	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	疋田	前期
看護学特別研究	寺岡	通年
看護学特別研究	諸隈	通年
保健学特別研究	諸隈	通年

国際プレゼンテーション	諸隈	通年
母子発達ケアシステム論Ⅱ	諸隈	後期
助産診断・技術学Ⅴ(分担)	諸隈	秋学期
国際プレゼンテーション	鳩野	通年
看護学特別研究	前野	通年
看護研究方法論Ⅱ(分担)	岩木	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	末次	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	末次	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	末次	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	末次	前期
看護学特別研究	末次	通年
看護学特別研究	菊地	通年
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	佐藤	前期
助産診断・技術学Ⅰ(分担)	松藤	前期
助産診断・技術学Ⅱ(分担)	松藤	前期
助産診断・技術学Ⅲ(分担)	松藤	前期
助産診断・技術学Ⅳ(分担)	松藤	前期
助産診断・技術学Ⅴ(分担)	松藤	秋学期

4. 大学院修士課程修了者

村上 直子	認知症高齢者を在宅介護する高齢介護者の経験ー長期在宅介護から施設入所に至るまでー
伊藤 七海	国際協力に携わる日本人女性のキャリアとライフイベント(結婚・妊娠・出産・育児)の実態:質的記述的研究
古野 真優子	乳児の Excessive Crying と母親のボンディングとの関連:前向き観察研究
羽賀 友佳	児の1か月時の睡眠状況と3か月時の睡眠覚醒リズムとの関連
手嶋 千珠	自閉スペクトラム症傾向と産後1か月における心的外傷後ストレス障害との関連について
原田 明佳	日本人母親における母乳代用品マーケティングの曝露と母乳育児実施との関連
橋本 奈津希	母親の被虐待歴と妊娠中の母乳育児の希望および産後6か月の完全母乳育児実施との関連
林田 彩希	新任期の行政保健師によるデータヘルスの実践状況とその関連要因
山下 遥	妊娠出産を経験した女性の心理的成長の関連要因

5. 大学院博士課程修了者

王丸 真知子	Impact of intrapartum oxytocin administration on neonatal sucking behavior and breastfeeding
阿部 朱美	Developing a scale for Japanese public health nurses supporting resident groups toward community-building

6. 学部講義

老年看護学各論Ⅰ(分担)	寺岡	冬学期
老年看護学各論Ⅱ(分担)	寺岡	前期

老年保健・疾病論 (分担)	寺岡	秋学期
老年看護学概論(分担)	寺岡	夏学期
公衆衛生看護学概論(分担)	寺岡	後期
公衆衛生看護管理論(分担)	寺岡	秋学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	寺岡	前期
国際保健と医療(分担)	寺岡	後期
終末期医療・ターミナルケア論 (分担)	寺岡	秋学期
薬理学概論(分担)	寺岡	後期
母性看護学概論	疋田	夏学期
国際保健と医療(分担)	疋田	後期
母性疾病論	諸隈	春学期
人体の構造と機能Ⅱ	諸隈	前期
臨床病態学(分担)	諸隈	後期
臨床医学論Ⅰ	諸隈	後期
国際保健と医療(分担)	諸隈	後期
疫学	鳩野	秋学期
公衆衛生看護学概論	鳩野	後期
公衆衛生看護管理論	鳩野	秋学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	鳩野	夏学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	鳩野	前期
在宅看護論各論(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ	鳩野	前期
国際保健と医療(分担)	鳩野	後期
公衆衛生看護支援論Ⅰ(分担)	前野	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	前野	前期
保健医療福祉行政論Ⅰ	前野	春学期
保健医療福祉行政論Ⅱ	前野	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	前野	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ	前野	前期
看護研究Ⅰ	前野	春学期
公衆衛生看護管理論(分担)	前野	秋学期
看護研究Ⅱ(分担)	植木	夏学期
小児看護学各論Ⅰ	植木	冬学期
小児看護学各論Ⅱ	植木	前期
小児看護学概論	植木	秋学期
終末期医療・ターミナルケア論(分担)	植木	秋学期
医療倫理・看護倫理(分担)	植木	夏学期
漢方医薬学	宮田	春学期
看護研究Ⅱ	宮田	夏学期
小児疾病論	宮田	前期
人体の構造と機能Ⅱ	宮田	前期
臨床病態学(分担)	宮田	後期
臨床医学論Ⅱ	宮田	後期
総合診療・地域医療・性差医学入門 (分担)	宮田	前期

終末期医療・ターミナルケア論(分担)	宮田	秋学期
総合医学Ⅲ 漢方診断学演習 (分担)	宮田	後期
医学総論Ⅰ(分担)	宮田	秋学期
医学総論Ⅱ(分担)	宮田	冬学期
看護研究Ⅰ(分担)	岩木	春学期
在宅看護概論	岩木	秋学期
在宅看護論各論(分担)	岩木	前期
終末期医療・ターミナルケア(分担)	岩木	秋学期
医療倫理・看護倫理(分担)	岩木	夏学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	岩木	前期
公衆衛生看護支援論Ⅲ(分担)	岩木	前期
母性看護学各論Ⅰ(分担)	末次	後期
看護研究Ⅱ(分担)	末次	夏学期
国際保健と医療(分担)	菊地	後期
疫学 (分担)	杉浦	秋学期
保健医療福祉行政論Ⅱ (分担)	杉浦	前期
公衆衛生看護支援論Ⅱ (分担)	杉浦	前期
在宅看護論各論 (分担)	杉浦	前期
公衆衛生看護学概論(分担)	藤田	後期
公衆衛生看護支援論Ⅰ	藤田	春学期
公衆衛生看護支援論Ⅱ(分担)	藤田	前期
看護研究Ⅰ(分担)	藤田	春学期
公衆衛生看護活動展開論Ⅱ(分担)	藤田	前期
公衆衛生看護活動展開論Ⅲ(分担)	藤田	前期
保健医療福祉行政論Ⅱ(分担)	藤田	前期
在宅看護論各論(分担)	酒井	前期
老年保健・疾病論(分担)	酒井	後期
老年看護学各論Ⅰ(分担)	酒井	前期
老年看護学各論Ⅱ(分担)	酒井	前期
老年看護学概論(分担)	酒井	前期
小児看護学各論Ⅱ(分担)	長友	前期
小児看護学概論(分担)	田代	秋学期
小児看護学各論Ⅰ(分担)	田代	冬学期

7. 学部の実験・実習・演習

老年看護学実習(分担)	寺岡	前期
在宅看護論各論(分担)	寺岡	前期
総合実習(分担)	寺岡	前期
在宅看護論実習(分担)	寺岡	通年
成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	寺岡	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	寺岡	後期
看護研究Ⅲ(分担)	寺岡	通年
母性看護学実習(分担)	疋田	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	疋田	春学期

総合実習(分担)	疋田	前期
看護研究Ⅲ(分担)	疋田	通年
看護研究Ⅳ(分担)	疋田	通年
看護研究Ⅲ(分担)	諸隈	通年
看護研究Ⅳ(分担)	諸隈	通年
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	鳩野	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	鳩野	前期
総合実習(分担)	鳩野	前期
看護研究Ⅲ(分担)	鳩野	通年
看護研究Ⅲ(分担)	前野	通年
公衆衛生看護学実習Ⅰ(分担)	前野	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ(分担)	前野	前期
総合実習(分担)	前野	前期
総合実習(分担)	植木	前期
小児看護学実習Ⅰ	植木	通年
小児看護学実習Ⅱ	植木	後期
看護研究Ⅲ(分担)	植木	通年
看護研究Ⅳ(分担)	植木	通年
看護研究Ⅲ(分担)	宮田	通年
総合医学Ⅲ 漢方診断学演習(分担)	宮田	後期
在宅看護論実習(分担)	岩木	通年
総合実習(在宅看護論)	岩木	前期
在宅看護論各論(分担)	岩木	前期
看護研究Ⅲ(分担)	岩木	通年
母性看護学各論Ⅰ(分担)	末次	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	末次	春学期
総合実習(分担)	末次	前期
看護研究Ⅲ(分担)	末次	通年
看護研究Ⅳ(分担)	末次	通年
母性看護学実習(分担)	佐藤	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	佐藤	春学期
総合実習(分担)	佐藤	前期
看護研究Ⅲ(分担)	佐藤	通年
在宅看護論実習(分担)	杉浦	通年
看護研究Ⅲ(分担)	杉浦	通年
母性看護学実習(分担)	松藤	後期
母性看護学各論Ⅱ(分担)	松藤	春学期
総合実習(分担)	松藤	前期
看護研究Ⅲ(分担)	松藤	通年
在宅看護論実習(分担)	藤田	通年
総合実習(分担)	藤田	前期
公衆衛生看護学実習Ⅰ	藤田	前期
公衆衛生看護学実習Ⅱ	藤田	前期
看護研究Ⅲ(分担)	藤田	通年

成人・老年看護学実習Ⅰ(分担)	酒井	後期
成人・老年看護学実習Ⅱ(分担)	酒井	後期
看護研究Ⅲ(分担)	酒井	通年
老年看護学実習(分担)	酒井	前期
総合実習(分担)	酒井	前期
小児看護学実習Ⅰ(分担)	長友	前期
小児看護学実習Ⅱ(分担)	長友	後期
看護研究Ⅲ(分担)	長友	通年
小児看護学実習Ⅱ(分担)	田代	後期
看護研究Ⅲ(分担)	田代	通年

8. 卒業論文作成者

伊藤 賀美	高齢者の家族介護者の介護と就労の両立に及ぼす要因に関する文献検討
田崎 裕奈	在留外国人の妊娠に伴い生じる生活上の困難に関する文献検討
杉尾 彩香	認知症高齢者の在宅介護を行う家族介護者が抱く否定的な思いに関する文献検討
福原 愛梨	妊娠中期・後期の体型満足度に関連する要因:二次データ分析
福谷 佳子	帝王切開の関連要因:二次データ分析
長田 小町子	産後ケア事業における課題に関する文献研究
江口 芽衣	第一子の父親の妊娠・育児の不安に関する文献研究
堺屋 七菜子	高齢者におけるヘルスリテラシーの影響についての文献検討
上野 真穂	ロコモティブシンドローム予防に向けた効果的な介入方法の検討
川崎 玲緒奈	特定保健指導の介入方法とその効果
築地原 百音	家庭訪問において保健師が感じる困難に関する文献検討
長井 美沙	産後うつ病に対する妊娠期からの予防的介入の効果
藤井 杏奈	口唇口蓋裂児をもつ母親の心情と有効な看護援助に関する文献検討
東藤 未来	思春期の小児がん患児のストレス要因と看護支援ーエリクソンの発達課題の視点からー
水戸 悠夏	プレパレーションの課題と阻害要因に関する文献検討ープレパレーションの研究の動向を踏まえてー
福田 陽菜	小児がん患児のきょうだいが抱える思いと看護支援
末廣 凜	発達障害児の就学前後における保護者の思いに関する文献検討
小泉 菜々美	精神障害者の地域生活開始時に向けた各職種の支援について
都 咲希	筋萎縮性側索硬化症患者と家族介護者の苦痛ー人工呼吸器装着前後に焦点を当ててー
石川 千絵里	乳児期のベビーマッサージが母親と児へ与える効果
前里 和来	低出生体重児の母親における母親役割獲得過程の関連因子
近藤 彩綾	日本における外国人女性の妊娠から育児期までの体験
中尾 陽	エジンバラ産後うつ病質問票のカットオフ値に関する文献研究
木戸 舞香	新生児集中治療室における家族支援実践に関する文献研究
石井 美帆	先進国における母親による乳幼児虐待の関連要因についての文献研究
鳥辺 あかり	初産婦の出産満足度に影響する看護職の関わりについての文献研究
木村 日南里	糖尿病重症化予防を目的とした効果的な保健指導の検討

山口 夏歩	入院中に禁煙した患者の退院後の再喫煙要因と医療職による効果的な禁煙維持支援に関する文献検討
堂 蘭 美結	在宅緩和ケア継続に向けた支援に関する文献検討
石田 彩衣	看取りの場所による家族の思いに関する文献検討
横町 果音	小児がん患児・家族の退院に向けた病棟看護師が行う支援に関する文献検討
森野 菜々美	小児がんの子どもと家族へのターミナルケアに関する文献検討—看護師の実践と今後の課題—

9. 研究生

安坂優汰: 指導教員 植木慎吾

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	小規模多機能居宅介護を活用した認知症共生プラットフォームの形成と展開に関する研究	寺岡
2	住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解に関する研究	寺岡
3	モンゴル国妊婦の喫煙・受動喫煙が周産期アウトカムに与える影響	疋田
4	母体の生活習慣が妊娠合併症、胎児および生後発達に及ぼす影響に関する研究	諸隈
5	胎児行動学	諸隈
6	地方自治体の統括保健師の役割	鳩野
7	動作解析で検証する口唇口蓋裂児への効果的な哺乳技術の確立と習得	植木
8	総排泄腔異常症患者と家族に対する継続的包括的ケアシステムの構築	宮田
9	難病医療に携わるコーディネーターの学習ニーズとプログラム作成	岩木
10	訪問看護師の難病ケアコンピテンシー	岩木
11	周産期メンタルヘルスとボンディング障害の包括的アプローチ	末次
12	グローバルヘルス・国際保健に関する研究・バングラデシュにおける母子の遠隔健診に関する研究・カンボジアにおける子供の HIV に関するクラスターランダム化比較試験	菊地
13	バングラデシュ農村部の妊婦に対する遠隔健診	佐藤
14	妊娠糖尿病妊婦のセルフケアに関する研究	佐藤
15	複合的課題を有する高齢者の社会的孤立解消の効果的・効率的支援の構築に関する研究	杉浦
16	助産学母乳育児支援	松藤
17	パーキンソン病患者の生活習慣・併存疾患・訪問看護利用が予後に与える影響の解明	藤田
18	パーキンソン病患者の医療・介護サービス利用が与える影響に関する定量的評価	藤田
19	レセプトデータを使用した健康指標への評価	藤田
20	喫煙が健康に与える影響	藤田
21	口腔癌患者の口腔ケアと QOL	酒井
22	予防接種時の子どもの抑制に関する小児看護師の判断基準	長友

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

寺岡佐和

- 「基盤研究(C)」小規模多機能居宅介護を活用した認知症共生プラットフォームの形成と展開に関する研究, 寺岡(代表)
- 「基盤研究(C)」住民ボランティアの認知症予防と認知症者理解を目的とした園芸活動プログラムの開発, 寺岡(代表)

疋田直子

- 「若手研究」モンゴル人妊婦と助産師の妊娠中の体重増加に関する認識と周産期アウトカムへの影響, 疋田(代表)
- 「基盤研究(B)」周産期コホートネットワークの基盤拡大とデータ利活用プラットフォームの構築, 疋田(分担)
- 「基盤研究(C)」助産師が行っている産痛緩和法の実態把握とエビデンスの再検証, 疋田(分担)

諸隈誠一

- 「基盤研究(C)」 Demonstrate the effectiveness of the new Japanese gestational weight gain growth charts in the prevention of low birth weight, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」乳児の睡眠問題に対する予防的親教育プログラムの開発と有効性の検証, 諸隈(分担)
- 「挑戦的研究(萌芽)」新しいがん予防行動支援モデル構築への挑戦:がんサバイバー家族へのアプローチ法探索, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(B)」成分や粒径別粒子状物質の妊娠への影響をバイオマーカーでとらえる環境影響評価研究, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」『生体リズムに着目した発達障害の解析—胎児期から幼児期までの縦断研究—』, 諸隈(分担)
- 「基盤研究(C)」周産期の抑うつに影響を及ぼす要因:夫婦のコミュニケーションスタイルとの関連, 諸隈(分担)

鳩野洋子

- 「基盤研究(C)」公衆衛生看護におけるアバボカシーの明確化および関連要因に関する研究, 鳩野(代表)
- 「基盤研究(C)」組織変容を伴うプリセプター保健師教育支援プログラムの実装, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」乳幼児をもつがんサバイバーである母親のコミュニティ・エンパワメントモデルの開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」若年性認知症患者を支える家族介護者のニーズ評価尺度の開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(C)」外国人結核患者の服薬継続支援における保健師のコンピテンシー自己評価尺度の開発, 鳩野(分担)
- 「基盤研究(B)」パーキンソン病患者の生活習慣・併存疾患・訪問看護利用が予後に与える影響の解明, 鳩野(分担)

- 「基盤研究(C)」都道府県および市町村における統括保健師の役割の明確化とその推進に関する研究，嶋野(代表)
- 「基盤研究(C)」地域共生社会における発達障害児家族を支える地域高齢者による支援モデルの検討，嶋野(分担)

前野有佳里

- 「基盤研究(C)」介護サービス事業者の成長を可能にする保健師の実地指導技術指標の開発，前野(代表)

植木慎悟

- 「基盤研究(C)」予防接種時の子どもの抑制に関する小児看護師の判断基準，植木(分担)
- 「若手研究」動作解析で検証する口唇口蓋裂児への効果的な哺乳技術の確立と習得，植木(代表)
- 「基盤研究(C)」感染対策と子どもの権利擁護、親の負担軽減の両立を目指した入院ガイドラインの開発，植木(分担)
- 「基盤研究(C)」排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る，植木(分担)
- 「特別推進研究」子どもを亡くした家族のビリーブメントプログラム開発，植木(分担)

宮田潤子

- 「基盤研究(C)」女性医師のワークモチベーションを上昇させる動機づけモデルの樹立，宮田(分担)
- 「基盤研究(C)」排泄障害をもつ女性患者の女性としての生き方を知る，宮田(代表)

岩木三保

- 「基盤研究(B)」パーキンソン病患者の生活習慣・併存疾患・訪問看護利用が予後に与える影響の解明，岩木(分担)
- 「若手研究」難病療養者の在宅看護に必要なコンピテンシーモデルの作成，岩木(代表)

末次美子

- 「基盤研究(C)」ボンディング障害の全容解明を目指した周産期総合的アプローチ，末次(代表)

菊地君与

- 「基盤研究(C)」バングラデシュ人妊婦のライフスタイルと妊娠糖尿病に関する研究，菊地(分担)
- 「基盤研究(C)」SDGs のための母子継続ケア予測モデルの構築，菊地(代表)「基盤研究(C)」乳幼児栄養を改善するためのコミュニティー・ヘルス・ワーカーへのスーパービジョン，菊地(分担)
- 「国際共同研究強化(B)」母子継続ケアのためのICTを活用した遠隔健診の展開について，菊地(代表)
- 「基盤研究(C)」乳幼児栄養を改善するためのコミュニティー・ヘルス・ワーカーへのスーパービジョン，菊地(分担)

佐藤洋子

- 「基盤研究(C)」バングラデシュ人妊婦のライフスタイルと妊娠糖尿病に関する研究，佐藤(代表)

- 「若手研究」妊娠糖尿病発症および周産期合併症に関連する生活因子調査，佐藤(代表)
- 「国際共同研究強化(B)」母子継続ケアのためのICTを活用した遠隔健診の展開について，佐藤(分担)

杉浦圭子

- 「基盤研究(C)」痛みやしびれに対するケア技術の開発と循環型情報提供システムの構築に関する研究，杉浦(分担)
- 「基盤研究(C)」複合的課題を有する高齢者の社会的孤立解消の効果的・効率的支援の構築に関する研究，杉浦(代表)

藤田貴子

- 「基盤研究(B)」パーキンソン病患者の生活習慣・併存疾患・訪問看護利用が予後に与える影響の解明，藤田(代表)
- 「若手研究」パーキンソン病患者の医療・介護サービス利用と予後に関する定量的評価，藤田(代表)

酒井久美子

- 「基盤研究(C)」寝たきり非経口摂取高齢者に対する口腔ケア;継続効果の検証と実装研究，酒井(代表)
- 「基盤研究(B)」頭頸部がん術後を中心とした RCT による周術期口腔ケアの感染制御効果の検証，酒井(分担)

長友恵莉

- 「基盤研究(C)」予防接種時の子どもの抑制に関する小児看護師の判断基準，長友(代表)

3. 学内研究経費の受入れ

- 「国立大学改革強化推進補助金」アジア地域における周産期保健医療開発及びグローバル人材育成，諸隈(代表)
- 「外国語論文校閲経費支援」Effectiveness of a short instructional video to learn the Kumagai method for Long Nipple bottle-feeding children with cleft lip and palate，植木(代表)
- 「外国語論文校閲経費支援」Development of a feeding method for children with cleft lip and/or palate using the Pigeon feeder bottle with a long nipple，植木(代表)
- 「令和 5 年度 研究補助者雇用支援[短期]」ボンディング障害の全容解明を目指した周産期総合的アプローチ，末次(代表)

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「研究調査助成」電気通信普及財団，菊地(代表)

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「富山大学 アクティブラーニングによる症例検討モデル授業ガイド開発研究」宮田

- 「ICT 海外展開パッケージ支援事業の地方枠に係る募集」総務省, 菊地(分担)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

○ 学会誌・学術専門誌

- Seto Natsuki, Emi Tahara-Sasagawa, Kaori Yonezawa, Hikita Naoko, Yuriko Usui, Megumi Haruna: The association between fear of childbirth and social support through the Internet and Social Networking Services in pregnant women: A cross-sectional study, *Nursing & Health Sciences*, 26, 1, 2024 年 01 月.
- Rikako KANAI, Emi TAHARA-SASAGAWA, Kaori YONEZAWA, Naoko HIKITA, Yuriko USUI, Mariko MAEJIMA, Megumi HARUNA: Association of work engagement with job resources and perceived symptoms among working pregnant women: A cross-sectional study, *Journal of Japan Academy of Midwifery*, 2023 年 08 月.
- Naoko Hikita, Enkhtungalag Batsaikhan, Satoshi Sasaki, Megumi Haruna, Ariunaa Yura, Otgontogoo Oidovsuren: Evaluation of salt intake estimated from 24-h urinary sodium excretion in medical professionals in Darkhan-Uul Province, Mongolia: a cross-sectional study, *Scientific Reports*, 13, 1, 2023 年 06 月.
- Nao Nishihara, Megumi Haruna, Yuriko Usui, Kaori Yonezawa, Naoko Hikita, Emi Sasagawa, Keiko Nakano, Moeko Tanaka, Riko Ohori, Satoko Aoyama, Satoshi Sasaki, Megumi Fujita, Masayo Matsuzaki, Yoshiko Suetsugu, Yoko Sato: Dietary Intake and Its Association with Birth Outcomes in Women with Nausea and Vomiting during the Second Trimester of Pregnancy: A Prospective Cohort Study in Japan, *Nutrients*, 15, 15, 3383 – 3383, 2023 年 07 月.
- Mariko Maejima, Kaori Yonezawa, Emi Sasagawa, Naoko Hikita, Yuriko Usui, Megumi Haruna: Psychological factors of pregnant women associated with inadequate maternal weight gain in Japan, *The Journal of Maternal-Fetal & Neonatal Medicine*, 36, 1, 2217466 – 2217466, 2023 年 05 月.
- Matsunaka E, Ooshige N, Ueki S, Morokuma S: Effectiveness of preventive parental education delivered from pregnancy to 1 month postpartum on improving infant sleep and parental sleep and depression: a systematic review protocol, *JBIC Evid Synth*, 2024 年 02 月.
- Omaru M, Kajiwara S, Wakamatsu E, Kuroishi S, Ochiai Y, Oniki K, Kato K, Morokuma S.: Impact of intrapartum oxytocin administration on neonatal sucking behavior and breastfeeding, *Scientific reports*, 2024 年 03 月.
- Seiichi Morokuma, Toshinari Hayashi, Masatomo Kanegae, Yoshihiko Mizukami, Shinji Asano, Ichiro Kimura, Yuji Tateizumi, Hitoshi Ueno, Subaru Ikeda, Kyuichi Niizeki: Deep learning-based sleep stage classification with cardiorespiratory and body movement activities in individuals with suspected sleep disorders, *Scientific Reports*, 18;13(1):17730, 2023 年 10 月.

- Riko Mishima, Masaru Tanaka, Rie Momoda, Masafumi Sanefuji, Seiichi Morokuma, Masanobu Ogawa, Kiyoko Kato, Jiro Nakayama: Longitudinal gut mycobiota changes in Japanese infants during first three years of life., *Journal of bioscience and bioengineering*, 135, 4, 266 – 273, 2023 年 04 月.
- 川口賀津子, 鳩野洋子.: 看護師経験5年以上のジェネラリスト看護師におけるキャリア・プラトーの類型化とその特徴, *日本看護研究学会誌*, 46, 5, 746 – 747, 2024 年 01 月.
- 鶴田華恋, 鳩野洋子: COVID-19 対応の中で保健所保健師が着目した困難-「COVID-19 感染拡大下における保健所保健師のメンタルヘルスに関する調査」自由記載の内容の分析, *日本職業・災害医学会誌*, 71, 6, 212 – 223, 2023 年 11 月.
- Hitomi Matsuura, Yoko Hatono, Isao Saito: .Preventive role of community-level social capital in the need for long-term care and impairment in instrumental activities of daily living: a multilevel analysis, *Environmental Health and Preventive Medicine*, 28, 15, 2023 年 04 月.
- 西田 紀子, 植木 慎悟, 藤田 優一.: 小児アレルギーエデュケーターが認識する重症食物アレルギー児の幼児後期における心理社会的問題と支援, *日本看護研究学会雑誌*, 46, 5, 849 – 860, 2024 年 01 月.
- Ueki S, Kumagai Y, Hirai Y, Nagatomo E, Miyauchi S, Inoue T, An Q, Miyata J.: The Kumagai Method Utilizing the Pigeon Bottle Feeder with a Long Nipple: A Descriptive Study for the Development of Feeding Techniques for Children with Cleft Lip and/or Palate, *Children*, 11, 3, 365, 2024 年 03 月.
- Koto Y, Ueki S, Yamakawa M, Sakai N.: Experiences of patients with metachromatic leukodystrophy, adrenoleukodystrophy, or Krabbe disease and their family members: a qualitative systematic review., *JB I Evidence Synthesis*, 22, 7, 1262 – 1302, 2024 年 03 月.
- Ooshige N, Matsunaka E, Ueki S, Takuma S.: Pregnant nurses' experiences of working shifts: a qualitative systematic review., *JB I Evidence Synthesis*, Online ahead of print, 2023 年 09 月.
- Koto Y, Ueki S, Yamakawa M, Sakai N: Experiences of patients and their family members with metachromatic leukodystrophy, adrenoleukodystrophy, and Krabbe disease: a qualitative systematic review protocol, *JB I Evidence Synthesis*, 21, 5, 1027 – 1033, 2023 年 05 月.
- Kawakubo N, Takemoto J, Irie K, Souzaki R, Maniwa J, Obata S, Yoshimaru K, Nagata K, Miyata J, Matsuura T, Tajiri T.: Surgical outcome and prognosis of pediatric solid-pseudopapillary neoplasm., *Pediatr Int.*, 65, 1, 2023 年 12 月.
- Yoshimura M, Fujita M, Shibata A, Ohori R, Aoyama S, Yonezawa K, Sato Y, Sasaki S, Matsuzaki M, Suetsugu Y, Haruna M.: Association of Eicosapentaenoic and Docosahexaenoic Acid Intake with Low Birth Weight in the Second Trimester: The Japan Pregnancy Eating and Activity Cohort Study., *Nutrients*, 15, 22, 4831, 2023 年 11 月.
- Sarasa Habe, Megumi Haruna, Kaori Yonezawa, Yuriko Usui, Satoshi Sasaki, Takeshi Nagamatsu, Megumi Fujita, Yoshiko Suetsugu, Riko Ohori, Moeko Tanaka, Satoko

- Aoyama: Factors Associated with Anemia and Iron Deficiency during Pregnancy: A Prospective Observational Study in Japan., *Nutrients*, 16, 3, 418, 2024 年 01 月.
- Kikuchi K, Michikawa T, Morokuma S, Hamada N, Suetsugu Y, Ikeda S, Nakahara K, Kato K, Ochiai M, Shibata E, Tsuji M, Shimono M, Kawamoto T, Ohga S, Kusuhara K; Japan Environment and Children's Study Group.: Sleep quality and temperament in association with autism spectrum disorder among infants in Japan., *Commun Med (Lond)*, 3, 1, 82, 2023 年 06 月.
 - Islam R, Tou S, Izukura R, Sato Y, Nishikitani M, Kikuchi K, Yokota F, Ikeda S, Islam R, Ahmed A, Miyazaki M, Nakashima N. 2024. Performance evaluation of the commonly-used portable cholesterol sensors for telehealth services in the unreached communities. *Stud Health Technol Inform.* 310:309-313.
 - Islam R, Tou S, Yokota F, Izukura R, Sato Y, Nishikitani M, Kikuchi K, Yokota F, Ahmed A, Miyazaki M, Nakashima N.2024. An evaluation of the commonly used portable medical sensors performance in comparison to clinical test results for telehealth system. *Computer Methods and Programs in Biomedicine Update.* 5: 100147.
 - Yokota F, Anai A, Lazuardi L, Majid N, Wulandari H, Nishikitani M, Kikuchi K, Sato Y, Ikeda S, Ahmed A, Islam R, Nakashima N.2024. Mask-wearing behavior among individuals newly diagnosed with type 2 diabetes: insights from community health screenings during the COVID-19 pandemic in Indonesia. *Indonesian Journal of Community Engagement.* 10 (1): 30-37.
 - Kikuchi K, Tuot S, Yasuoka J, Murayama M, Okawa S, Shibamura A, Nanishi K, Eng S, Huot C, Yi S: Impact of oral intervention on the oral and overall health of children living with HIV in Cambodia: a randomized controlled trial, *BMC Medicine*, 21:162, 2023 年 04 月.
 - Tasuku Okui, Yoko Sato, Seiichi Morokuma, Naoki Nakashima: Association of maternal nationality with preterm birth and low birth weight rates: analysis of nationwide data in Japan from 2016 to 2020, *Matern Health Neonatol Perinatol*, 2023 年 09 月.
 - 中本五鈴, 杉浦圭子, 相良友哉, 高瀬麻以, 馬盼盼, 六藤陽子, 東憲太郎, 藤原佳典, 村山洋史: 高年齢介護助手が就労によって感じるメリットと情緒的消耗感との関連横断研究, *日本公衆衛生学会*, 70, 7, 425 - 432, 2023 年 07 月.
 - 馬盼盼, 相良友哉, 杉浦圭子, 高瀬麻以, 中本五鈴, 六藤陽子, 東憲太郎, 藤原佳典, 村山洋史: 高年齢介護助手における職業性ストレスおよびソーシャルサポートと情緒的消耗感の関連, *厚生の指標*, 70, 11, 9 - 15, 2023 年 11 月.
 - 相良友哉, 高瀬麻以, 杉浦圭子, 中本五鈴, 馬盼盼, 六藤陽子, 東憲太郎, 藤原佳典, 村山洋史, *日本公衆衛生学会*, 71, 3, 177-185. 2024 年 3 月.
 - 杉浦圭子, 相良友哉, 高瀬麻以, 中本五鈴, 馬盼盼, 六藤陽子, 東憲太郎, 藤原佳典, 村山洋史, *日本公衆衛生学会*, 71, 7, 337-348.
 - Murayama H, Nakamoto I, Takase M, Sagara T, Sugiura K, Higashi K, Fujiwara Y: Older assistant care workers as late-life employment in Japan: Perceived benefits from work and emotional exhaustion, *Geriatrics & Gerontology International*: 2023 年 9 月.

- Rin Yoshizato, Yoshitomo Motomura, Takako Fujita, Akira Babazono, Shouichi Ohga: Secondhand smoking and pediatric asthma after respiratory syncytial virus or human metapneumovirus infection., *Annals of Allergy, Asthma & Immunology*, 132, 2, 240 – 242, 2023 年 10 月.
- Takako Fujita, Akira Babazono, Yunfei Li, Aziz Jamal, Sung-a Kim: Hypnotics and injuries among older adults with Parkinson's disease: a nested case-control design, *BMC Geriatrics*, 23, 259, 259 – 259, 2023 年 05 月.
- Aziz Jamal, Akira Babazono, Ning Liu, Rieko Yamao, Takako Fujita, Sung-a Kim, Yunfei Li: Associating Liver Enzymes and Their Interactions with Metabolic Syndrome Prevalence in a Japanese Working Population, *Metabolic Syndrome and Related Disorders*, 22, 1, 27 – 38, 2024 年 02 月.
- Yumi Harano, Yasutaka Mitamura, Peng Jiang, Takako Fujita, Akira Babazono: Risk heterogeneity of bullous pemphigoid among dipeptidyl peptidase-4 inhibitors: A population-based cohort study using Japanese Latter-Stage Elderly Healthcare Database., *Journal of diabetes investigation*, 14, 6, 756 – 766, 2023 年 06 月.
- 長友恵莉, 村上京子: 検査・処置時における子どもの権利擁護に関する小児病棟看護師の働きかけ, *日本看護科学会誌*, 43, 242 – 251, 2023 年 09 月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Yoko Hatono, Hiroko Suzuki, Taeko Shimazu: Developing a Scale of Public Health Nurses' Advocacy Practice in Groups and Communities in Japan, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- Akiko Nitta, Yoko Hatono: Needs of Family Caregivers of Patients with Early-Onset Dementia Prior to Accessing Services in Japan, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- Ayako Ogata, Yoko Hatono: Changes in Dietary Intake and Exercise Habits of Newly Hired Employees Started Working Night Shifts for Five Consecutive Days, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- Taeko Shimazu, Yoko Hatono, Junko Yoshino, Mayumi Yamaya, Kiyomi Asahara, Naoko Endo, Hiromi Konno, Masako Shimizu: Evaluation of a Model Programme in Preceptor Public Health Nurse Training – Qualitative Text Analysis from the 2022 Initiative, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- Yukari Maeno,: Exploring the Health States of Recipients with the Public Assistance in a City of Japan: BMI, Hypertension, and Dental Health., 27th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- Nagata K, Fukuta A, Kondo T, Toriigahara Y, Maniwa J, Kawakubo N, Miyata J, Matsuura T, Tajiri T: What's the difference between Giant Omphalocele and omphalocele with smaller defect? —A longitudinal perspectives from a single center experience—, PAPS2023, 2023 年 09 月, Indonesia.

- Kumiko Nonaka, Mai Takase, Keiko Sugiura, Sachiko Murayama, Ikuma Saga, Yasuko Kawai, Hiroshi Murayama: The association between Pro Bono experience and participation in community activity among those who were not interested in community activities prior to their Pro Bono experience, IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 2023 年 06 月, Japan.
- Takako Fujita, Miho Iwaki, Yoko Hatono: The role of nurses in the care of patients with Parkinson's disease at home: A scoping review, 27th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2024 年 03 月, Hong Kong.
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- **調査研究報告** なし
- **国内学会での講演, 発表**
 - 鳩野洋子、島田美喜、弓場英嗣、尾島俊之、増田和茂: 新型コロナウイルス感染症拡大時の市町村の保健所業務への支援状況, 第 82 回日本公衆衛生学会総会, 2023 年 10 月, 筑波.
 - 鳩野洋子、鈴木浩子、嶋津多恵子: 市町村保健師がアドボカシーの必要性を認識した集団・コミュニティ, 日本地域看護学会第 26 回学術集会, 2023 年 08 月, 川崎.
 - 江藤麻奈、松田京子、鳩野洋子、嶋津多恵子: 福岡県における地域保健従事者プリセプター研修を通じた新人育成のあり方の検討(第一報), 第 13 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2024 年 01 月, 北九州.
 - 松浦仁美、鳩野洋子: 高齢者の特定健診受診の有無と投票区単位でみたソーシャルキャピタルとの関連, 第 13 回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2024 年 01 月, 北九州.
 - 嶋津多恵子、鳩野洋子、麻原きよみ、吉野純子、遠藤直子: 離島を含む N 県におけるプリセプター保健師研修モデルプログラムの評価, 第 82 回日本公衆衛生学会総会, 2023 年 10 月, 筑波.
 - 草野恵美子、鳩野洋子、合田加代子、中山貴美子、小倉加恵子.: シニア世代における障害児・家族に対する地域子育て支援意欲者と一般的子育て支援意欲者の背景比較, 第 70 回小児保健協会学術集会, 2023 年 06 月, 川崎.
 - 植木慎悟、熊谷由加里、平井優美、長友恵莉、宮田潤子.: 口唇口蓋裂をもつ子どもへの哺乳技術ー細口乳首の使用手順「熊谷メソッド」の解明ー, 日本小児看護学会学術集会, 2023 年 7 月, 神奈川.
 - 植木慎悟、熊谷由加里、平井優美、長友恵莉.: 口唇口蓋裂の児の哺乳が改善する飲ませ方教えます!ー細口乳首を使った「熊谷メソッド」の詳細と伝授ー, 日本小児看護学会学術集会, 2023 年 7 月, 神奈川.
 - 植木慎悟.: Joanna Briggs Institute (JBI) 連携センター合同企画「根拠に基づく看護実践」, 第 54 回日本看護学会学術集会, 2023 年 11 月, 神奈川.
 - 植木慎悟: 家族内の関係性をめぐる研究方法を探るー研究デザインとデータ収集の工夫から学ぶー口唇口蓋裂をもつこどもの親の、夫婦間の強みを生かした家族看護の方向性, 日本家族看護学会学術集会, 2023 年 09 月, 大阪.

- 藤田 優一、植木 慎悟、北尾 美香、福井 美苗、小笠原 史士.: コロナ禍で入院する子どもとその親に対する看護師の実践ー子どもの権利擁護と付き添いや面会に関する親の負担軽減への工夫ー. 日本小児看護学会学術集会, 2023 年 7 月, 神奈川.
- 宮田潤子、小幡聡、永田公二、日野祐子、木下義晶、田口智章、田尻達郎: 総排泄腔遺残・総排泄腔外反症のピアサポートに関する患者・家族へのアンケート調査, 第 60 回日本小児外科学会学術集会, 2023 年 06 月, 大阪.
- 永田公二、福田知夏、山下さきの、近藤琢也、福田篤久、玉城昭彦、馬庭淳之介、川久保尚徳、宮田潤子、松浦俊治、田尻達郎: SBS 患者への GLP-2 アナログ製剤投与に伴う多職種連携の工夫, PSJM2023, 2023 年 10 月, 福岡.
- 永田公二、河野淳、川久保尚徳、福田篤久、近藤琢也、玉城昭彦、馬庭淳之介、賀来典之、大藺慶吾、藤田智、宮田潤子、松浦俊治、田尻達郎: 高エネルギー外傷による深在性肺損傷に対して緊急開胸下右下葉切除により救命した 1 例, PSJM2023, 2023 年 10 月, 福岡.
- 福田篤久、永田公二、近藤琢也、玉城昭彦、馬庭淳之介、川久保尚徳、宮田潤子、松浦俊治、田尻達郎: 当科における胎便性腸閉塞に対するアプローチーガストログラフィン注腸の有用性に関する検討ー, 第 59 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2023 年 07 月, 愛知.
- 福田篤久、永田公二、近藤琢也、馬庭淳之介、小幡聡、川久保尚徳、柳佑典、宮田潤子、松浦俊治、田尻達郎: 未熟児腸管機能障害における肛門側腸管リハビリテーションとしての Rectal Feeding の有用性に関する検討, 第 37 回日本小児ストーマ・排泄・創傷管理研究会, 2023 年 06 月, 神奈川.
- 福田篤久、永田公二、近藤琢也、馬庭淳之介、小幡聡、川久保尚徳、柳佑典、宮田潤子、松浦俊治、田尻達郎: 未熟児関連消化管機能障害児における腸管リハビリテーション戦略ーRectal Feeding, 第 60 回日本小児外科学会学術集会, 2023 年 06 月, 大阪.
- 福田篤久、永田公二、近藤琢也、馬庭淳之介、小幡聡、川久保尚徳、柳佑典、宮田潤子、松浦俊治、田尻達郎: 小児難治性食道疾患に対する gastric transposition の 6 例, 第 123 回日本外科学会定期学術集会, 2023 年 04 月, 東京.
- 岩木三保、野正佳余、中井三智子、原田幸子、関本聖子、川田明広、下畑享良、望月秀樹: 難病医療に携わるコーディネーターの学習ニーズの検討, 第 11 回日本難病医療ネットワーク学会 学術集会, 2023 年 11 月, 愛知.
- 岩倉真由美、梅本直子、岩木三保、楠葉洋子: 高齢血液透析患者のヘルスリテラシーの特徴, 第 3 回日本ヘルスリテラシー学術集会, 2023 年 09 月, 東京.
- 三浦美希、阿部智美、松永弘子、佐藤洋子: コロナ禍に入職した新人看護職者の患者対応場面における困難程度とコミュニケーションスキルの関連, 第 54 回日本看護学会学術集会, 2023 年 11 月, 横浜.
- 杉浦圭子、野中久美子、村山幸子、高瀬麻以、齋藤みほ、村山洋史: プロボノ活動が本業に及ぼす影響とウェルビーイングとの関連, 第 82 回日本公衆衛生学会大会, 2023 年 10 月, つくば市.
- 野中久美子、高瀬麻衣、杉浦圭子、村山幸子、齋藤みほ、渡邊彩、嵯峨生馬、村山洋史: 地域づくりの新たな担い手「プロボノワーカー」の活動状況とその促進要因の検討: 勤労者

プロボノワーカーへのインタビュー調査と質問紙調査より, 第 65 回日本老年社会学会,
2023 年 6 月, 横浜.

- 藤田貴子、馬場園明、嶋野洋子、岩木三保: 高齢パーキンソン病患者における脂質異常症治療薬と予後の関連, 第 82 回日本公衆衛生学会総会, 2023 年 10 月, 茨城県つくば市.
- 渡邊則子、藤田君支、酒井久美子、久保葵、松村美奈: 頭頸部がん患者における術後感染症予防のための周術期口腔ケアアセスメントシートの開発, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口.
- 久保葵、酒井久美子、植木慎悟、藤田君支.: がん患者の術後肺炎に対する周術期口腔ケアの効果: 観察研究におけるシステマティックレビューとメタ分析, 第 43 回日本看護科学学会学術集会, 2023 年 12 月, 山口.
- 長友恵莉、植木 慎悟、宮田 潤子.: 小児がん患者・家族に対する小児病棟看護師の復学支援の実態, 日本小児看護学会学術集会, 2023 年 7 月, 神奈川.

○ 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 嶋野洋子・前野有佳里 他,: (共著)編集 川本理恵子「尺度」を使った看護研究のキホンとコツ 第 2 版, 2023 年 10 月, 日本看護協会出版会.
- 小俣直人, 近田真美子, 北川明 編集, 前野有佳里他: (共著) 看護学専門分野教科書シリーズ 精神看護学概論, 2024 年 01 月, 理工図書.
- 小俣直人, 近田真美子, 北川明 編集, 前野有佳里他: (共著) 看護学専門分野教科書シリーズ 精神看護学援助論, 2024 年 01 月, 理工図書.
- 岩木三保:監修 日本神経学会 編集 筋萎縮性側索硬化症診療ガイドライン作成委員会: 筋萎縮性側索硬化症(ALS)診療ガイドライン 2023, 2023 年 05 月, 南江堂.

2. 総説

- Kikuchi K, Nanishi K, Yi S, Yasuoka J: Editorial: challenges in maternal and child health after the COVID-19 pandemic, Frontiers in Public Health, 2023 年 05 月. (公開)

3. 解説, 書評など

- 寺岡佐和, 前野有佳里他: (共著) 2024 年版 保健師国家試験問題集, 2023 年 04 月, 医学書院.
- 植木慎悟: 若手研究者による若手研究者のための英語論文執筆の Tips 特別編 連載の振り返りとまとめ, 看護研究, 2023 年 10 月.
- 植木慎悟, 山本瀬奈, 古藤雄大, 山上優紀, 大村優華: 若手研究者による若手研究者のための英語論文執筆の Tips(vol.11)(最終回) 語り合おう 英語論文執筆のリアルと本音, 看護研究, 2023 年 08 月.
- 植木慎悟, 山上優紀, 中山祐一: 若手研究者による若手研究者のための英語論文執筆の Tips(Vol.9) 国際学術集会に参加する醍醐味, 看護研究, 2023 年 04 月.

- 岩木三保：難病医療に携わるコーディネーターに必要なスキル，日本難病医療ネットワーク学会機関誌，第9巻2号，p15－20，2023年05月．

受賞

- 鳩野，松浦仁美・鳩野洋子「高齢者の特定健診受診の有無と投票区単位で見たソーシャルキャピタルとの関連」第10回日本公衆衛生看護学会学術集会企画委員賞，第12回日本公衆衛生看護学会学術集会審査員賞，日本公衆衛生看護学会，2024年01月．
- 菊地，「国際的なチャレンジに関するロールモデルとして表彰」，女性のチャレンジ賞 特別部門賞，内閣府，2023年06月．
- 菊地，「フルブライト奨学金の授与」，フルブライト奨学生(研究員プログラム)，日米教育委員会，2023年04月．

報道

- 宮田，毎日新聞，「第4回クロアカ net プロジェクト市民公開講座の様子が記事に掲載された。」，2024年03月．
- 宮田，西日本新聞，「第4回クロアカ net プロジェクト市民公開講座の様子が記事に掲載された。」，2024年03月．
- 宮田，KBC，「難病の日を前に理解深めて「闘病思い」伝える：第4回クロアカ net プロジェクト市民公開講座の様子が放映」，2024年02月．
- 宮田，西日本新聞，「小児がん治療後の晩期合併症に関する記事」，2023年05月．
- 菊地，西日本新聞，「内閣府特命担当大臣より女性のチャレンジ賞の表彰」，2023年6月．

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 諸隈，母体への薬剤投与と新生児・乳児の哺乳との関連に関する研究，ピジョン株式会社，2022年4月1日～2026年3月31日
- 諸隈，妊婦の生活習慣と胎児発育・発達との関連に関する研究，株式会社 ACCELStars，2023年8月10日～2026年6月30日
- 宮田，アクティブラーニングによる症例検討モデル授業ガイド開発研，富山大学，2021年11月～2023年10月

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 疋田, Darkhan-Uul Medical School, Mongolian National University of Medical Sciences (Mongolia), 2024 年 03 月
- 疋田, Darkhan-Uul Medical School, Mongolian National University of Medical Sciences (Mongolia), 2024 年 08 月
- 宮田, 台北医学大学(台湾), 2024 年 3 月
- 佐藤, Grameen Caledonian College of Nursing (Bangladesh), 大学・研究所訪問, 2024 年 03 月
- 佐藤, NPO 法人ロシナンテス ザンビア事務局 (Zambia), 2023 年 09 月

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者
疋田: Lancaster University より Dr. Rachael Eastham が来校し、修士課程助産学コース学生および教員を対象に、「Addressing inequalities in sexual and reproductive health and rights – a UK perspective」の講義を開催した。2024 年 1 月 17 日

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 寺岡, 教育における安全管理専門委員会委員.
- 寺岡, 基幹教育実施会議構成員.
- 寺岡, 教育企画委員会委員.
- 鳩野, 入学試験実施委員会委員.
- 菊地, データ駆動イノベーション推進本部兼務.
- 佐藤, データ駆動イノベーション推進本部兼務.

2. 部局委員

- 寺岡, 医療系統合教育研究センター副センター長.
- 寺岡, 医系地区部局観察研究倫理審査委員会委員.
- 宮田, 医療系統合教育委員会.
- 宮田, 九州大学病院臨床教育研修センターきらめきプロジェクト副プログラム責任者.

3. 部門・コース内委員

- 寺岡, 学生支援会運営委員
- 寺岡, 財務委員会委員
- 寺岡, 教務委員会委員長
- 寺岡, 広域生涯看護学講座長
- 寺岡, 担任
- 疋田, 地域国際連携推進・FD 委員会
- 疋田, 大学院委員会
- 諸隈, 学生委員会
- 諸隈, 年報委員会
- 諸隈, 将来計画、点検・評価委員会
- 鳩野, 入学試験実施委員会委員長
- 鳩野, 人事委員会・教育活動評価委員会
- 鳩野, 看護学専攻卒業研究委員会オブザーバー
- 鳩野, 副分野長
- 鳩野, 担任
- 前野, 卒業研究委員会
- 植木, 広報委員会
- 植木, 実習委員会
- 宮田, 学生委員会
- 宮田, 看護学分野国際 WG
- 宮田, FD 実行委員
- 宮田, 地域・国際連携委員
- 宮田, 担任
- 岩木, 施設・環境委員会委員
- 岩木, 実習委員会委員
- 岩木, 担任
- 末次, 看護学分野教務委員
- 末次, FD 実行委員会
- 末次, 担任
- 菊地, 地域国際連携推進・FD 委員会
- 菊地, 看護学分野国際 WG
- 佐藤, 実習委員会
- 佐藤, 分野支線 LAN 管理者、Kite 委員
- 杉浦, 大学院院生係
- 松藤, 看護学専攻卒業研究委員会委員
- 松藤, 担任
- 藤田, 実習委員会
- 藤田, 担任
- 酒井, 担任

- 酒井, 地域国際 FD 委員会
- 酒井, 実習委員会
- 長友, 看護学専攻卒業研究委員会委員
- 長友, 大学院院生係

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 諸隈, 同志社大学・赤ちゃん学研究センター, 非常勤講師.
- 前野, 福岡国際医療福祉大学生涯教育センター, 集中講義.
- 植木, 横浜市立大学大学院医学研究科小児看護学分野, 非常勤講師.
- 植木, 長崎県立大学, FD 研修会講師.
- 植木, 関西医科大学, FD 研修会講師.
- 岩木, 福岡国際医療福祉大学, 非常勤講師.

2. 学協会

- 寺岡, 一般社団法人日本認知症ケア学会, 運営委員 (一般社団法人日本認知症ケア学会九州1地域部会 副部会長), 国内.
- 寺岡, 日本看護科学学会和文誌, 査読委員, 国内.
- 寺岡, 日本公衆衛生看護学会誌, 査読委員, 国内.
- 疋田, 日本助産学会誌, 編集委員, 国内.
- 疋田, 福岡県看護協会, 倫理審査委員, 国内.
- 疋田, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 日本産科婦人科学会, 代議員, 国内.
- 諸隈, 日本母性衛生学会, 代議員, 国内.
- 諸隈, 日本周産期・新生児医学会, 評議員, 国内.
- 諸隈, 日本発達神経科学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 日本あかちゃん学会, 理事, 国内.
- 諸隈, 福岡母性衛生学会, 理事, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 表彰論文選考委員会委員長, 国内.
- 鳩野, 全国保健師教育機関協議会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 倫理委員会副委員長, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 理事, 国内.
- 鳩野, 第12回日本公衆衛生看護学会学術集会, 企画委員, 国内.
- 鳩野, 保健師教育, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護科学学会和文誌, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本地域看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内.
- 鳩野, 日本看護研究学会誌, 査読委員, 国内.
- 前野, 日本公衆衛生看護学会, 査読委員, 国内.
- 植木, 国際口蓋裂学会, 運営委員 (国際・国際学会準備委員会), 国際.

- 植木, 日本看護科学学会, 運営委員 (和文誌編集委員会), 国内.
- 植木, 日本小児看護学会, 理事 (総務委員会会計), 国内.
- 植木, The Japan Centre for Evidence Based Practice, 監事, 国内.
- 宮田, 日本小児外科学会, 評議員, 国内.
- 宮田, 日本小児外科学会, NCD 連絡委員会委員, Q&A WG 部長, 国内.
- 宮田, 日本小児外科学会, ワーク・ライフ・バランス検討委員会委員, 国内.
- 宮田, 日本東洋医学会九州支部, 事務局長, 国内.
- 宮田, 日本小児外科漢方研究会, 幹事, 国内.
- 宮田, 看護学系漢方教育研究会, 幹事, 国内.
- 岩木, 日本難病看護学会, 日本難病看護学会「学会認定難病看護師」認定制度運営委員会委員・実行委員会 委員, 評議員, 査読委員, 国内.
- 岩木, 日本難病医療ネットワーク学会, 理事, 国内.
- 末次, 福岡母性衛生学会, 幹事, 国内.
- 菊地, Scientific Reports, Maternal health and mortality collection, その他 (Guest Editor), 国際.
- 菊地, BMC Medicine, Associate Editor, 国際.
- 菊地, 日本国際保健医療学会, 代議員.
- 藤田, 医療福祉経営マーケティング研究会, 編集委員, 国内.
- 酒井, 日本老年看護学会, 生涯学習支援委員会委員, 国内.

3. 官界

- 鳩野, 「令和5年度保健師の管理者能力育成の推進に向けたアドバイザー支援事業委員」, 厚生労働省.
- 鳩野, 「国立大学協議会看護部会大学院委員会委員長」, 国立看護系大学協議会.
- 宮田, 「医療ニーズの高い医療機器等の早期導入に関する検討会委員」, 厚生労働省.
- 宮田, 「子どもとICT、子どもたちの健やかな成長を願って委員会委員」, 日本小児保健協会.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 菊地, 「九州大学 定例記者会見 内閣府女性のチャレンジ賞にかかる研究報告」.
- 藤田, 福岡県看護協会 1 地区支部施設代表者.

5. 公開講座・公開講演会

- 寺岡, 「令和 5 年度福岡県保健師協議会研修会「学会発表に向けて～抄録のまとめ方と発表のポイント～」」, 福岡県保健師協議会, クローバープラザ (春日市), セミナー・研修会.
- 疋田, 「途上国での保健・医療支援に研究能力は必要か?」, 第 19 回九州大学医学部保健学科公開講座, 福岡市.
- 諸隈, 「第7回日本眠育推進協議会シンポジウム」, 日本眠育推進協議会, オンライン開催, セミナー・研修会.
- 鳩野, 「保健師のワークエンゲイジメントを高める組織の在り方」, 岡山県保健師長会, セミナー・研修会.

- 嶋野,「ワークエンゲイジメントと保健師の能力開発」, 和歌山県, セミナー・研修会.
- 嶋野,「保健師中堅後期研修(ケアシステム構築に向けて)」, 福岡市, セミナー・研修会.
- 嶋野,「地域保健従事者プリセプター研修」, 福岡県, セミナー・研修会.
- 嶋野,「保健師プリセプター研修」, 長崎県, セミナー・研修会.
- 嶋野,「福岡市保健師管理者研修」, 福岡市, セミナー・研修会.
- 嶋野,「福岡市保健師中堅後期研修」, 福岡市, セミナー・研修会.
- 嶋野,「神奈川県中堅保健師研修」, 神奈川県, セミナー・研修会.
- 前野,「福岡県地域保健従事者中堅期研修」, 福岡県, セミナー・研修会.
- 前野,「福岡県地域保健従事者新任期研修」, 福岡県, セミナー・研修会.
- 宮田,「第4回総排泄腔疾患オンライン市民公開講座」, 九州大学大学院医学研究院小児外科学分野九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野, 九州大学馬出キャンパス & web 開催, 公開講座.

6. 初等中等教育への貢献

- 宮田, 第4回クロアカ net プロジェクト市民公開講座を開催するにあたり、福岡市教育委員会の名義後援を取得し、福岡市内小学校および中学校、福岡県内高等学校、全国の特別支援学校に開催案内を配布して周知を行った。

3-2. 教員の活動：医用量子線科学分野

医用量子線科学分野

《基礎放射線科学》

教授	有村 秀孝
教授	藤淵 俊王
准教授	納富 昭弘
准教授	高橋 昭彦
講師	近藤 雅敏
助教	河窪 正照

1. 教育活動

1. 大学院講義

保健医療とデータ科学	藤淵	夏学期
放射線防護学	藤淵	夏学期
量子線理工科学 I	藤淵	前期
Practice in Quantum Radiation Technology	藤淵	前期
Radiological Protection	藤淵	夏学期
Data Sciences in Health and Medicine	藤淵	夏学期
量子線理工科学 I	納富	前期
基礎量子力学	納富	後期
医用線量計測学	納富	秋学期
国際社会とチーム医療	河窪	前期
International Society and Multidisciplinary Care	河窪	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

国際プレゼンテーション(有村教授)	有村	通年
保健学特別研究(有村教授)	有村	通年
量子線理工科学 II	藤淵	後期
Quantum Radiation Science and Technology II	藤淵	後期
国際プレゼンテーション(藤淵教授)	藤淵	通年
保健学特別研究(藤淵教授)	藤淵	通年
量子線治療科学演習	藤淵	前期
医用量子線理工学演習	藤淵	前期
放射線防護学演習	藤淵	前期
医用量子線科学特別研究(藤淵教授)	藤淵	通年
Practice in Quantum Radiation Therapy	藤淵	前期
Practice in Radiological Protection	藤淵	前期
医用量子線科学特別研究(納富准教授) (分担)	納富	通年
医用量子線理工学演習 (分担)	納富	前期

4. 大学院修士課程修了者

TONG YIZHI (China)	Automated measurement of consolidation-tumor ratio on treatment planning CT images of patients with non-small cell lung cancer (非小細胞肺癌患者の治療計画 CT 画像における consolidation tumor ratio の自動計測法)
Jin Yu(China)	CT image radiogenomic signatures for prediction of HOPX expression status for patients with non-small cell lung cancer (非小細胞肺癌患者の HOPX 遺伝子発現状態を予測するための CT 画像レディオゲノミックシグネチャー)
本井 健太	深度カメラを利用したボディトラッキングによる X 線透視時の職業被ばく推定システムの開発
小嶋悠斗	ホウケイ酸ガラスを用いた中性子入射によるホウ素線量分布観測の試み Fundamental study of optical observation of boron dose distribution by neutron irradiation using borosilicate glass
山根崇史	異なる種類のガラス容器、異なる種類の液体シンチレータを用いたホウ素線量分布の光学的測定と比較 Comparison of optical measurements of boron dose distributions using different types of glass containers and different types of liquid scintillators.
古田 凜太郎	分子標的薬治療を投与した非小細胞肺癌患者における腫瘍の治療効果予測 Prediction of Treatment Response in Non-Small Cell Lung Cancer Patients Treated with Molecularly-Targeted Drugs

5. 大学院博士課程修了者

幾嶋 宏二郎	Topology-based radiomic features for prediction of parotid gland cancer malignancy grading magnetic resonance images 耳下腺がんの悪性度推定のためのトポロジーに基づく MR 画像レディオミクス特徴量
濱田 圭介	バイス確率に基づく頭頸部がん患者の急性放射線皮膚炎予測法の開発

6. 学部講義

基礎医療統計	有村	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	有村	前期
物理数学Ⅰ	有村	春学期
物理数学Ⅱ	有村	夏学期
放射線物理学	有村	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	藤淵	後期
放射線管理学Ⅰ	藤淵	秋学期
放射線管理学Ⅱ	藤淵	冬学期
臨床解剖薬理学	藤淵	冬学期
基礎医療統計	藤淵	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	藤淵	前期
放射線画像技術学Ⅰ	藤淵	前期
放射線治療技術学Ⅰ	藤淵	前期
原子核物理学	納富	後期
放射線技術科学入門Ⅱ(分担)	納富	後期
放射線治療計測学	納富	後期
放射線医学技術学概論(分担)	納富	夏学期
放射線治療・核医学機器学(分担)	納富	前期
放射線計測学(分担)	納富	前期
放射性同位元素検査学・実習(分担)	納富	前期

放射線技術科学入門Ⅰ(分担)	納富	前期
放射線物理学(分担)	納富	前期
X線CT画像技術学	近藤	春学期
放射線技術科学入門Ⅰ	近藤	前期
基礎医療統計	近藤	夏学期
品質管理論	近藤	後期
医用画像評価学	近藤	後期
医療安全学	近藤	秋学期
臨床解剖薬理学	近藤	冬学期
放射線診断機器学Ⅱ	近藤	冬学期
放射線診断機器学Ⅰ	近藤	秋学期
生理機能検査学Ⅰ	河窪	前期
生理機能検査学Ⅱ	河窪	前期
生理機能検査学Ⅲ	河窪	前期
放射線技術科学入門Ⅱ	河窪	後期
臨床解剖薬理学	河窪	冬学期
品質管理論	河窪	後期

7. 学部の実験・実習・演習

医用画像情報学実習	有村	夏学期
放射線機器学実験	有村	春学期
放射線画像技術学実習	藤淵	後期
放射線治療技術学実習	藤淵	後期
放射線管理学実験	藤淵	春学期
臨地実習	藤淵	通年
放射線機器学実験	近藤	春学期
放射線計測学実験(分担)	納富	前期
放射線画像技術学実習	河窪	後期
放射線治療技術学実習	河窪	後期

8. 卒業論文作成者

淵脇 尚哉	分子標的薬治療における非小細胞肺がんの腫瘍成長モデルの開発と評価
深野 拓登	レディオミクス解析を用いた非小細胞肺がん患者における術後進行リスクの予測
中垣 真優	ダイナミック造影 MR 画像特徴量を用いたトリプルネガティブ乳がんの識別モデル
矢野 祐二	放射線防護具の防護性能の比較と適切な防護素材の検討
野口 昂生	AR 技術による散乱線の可視化を利用した血管造影時の放射線防護教材の作成
境 真由	放射線可視化カメラによる X 線透視での散乱線源のイメージングの検討
宇都宮 史子	血管造影における放射線防護教育用 Web アプリケーションの作成
葛貫千絵	Dual-energy CT の方式とヨード密度が仮想単色 X 線画像を用いたヨード密度の逆推定に与える影響
林真優	Dual-energy CT における 2 組の仮想単色 X 線画像を用いた実効原子番号の逆推定
岡野広暉	偏光カメラで撮影したチェレンコフ光画像の治療用 X 線線量分布測定への応用の検討
蒲地夏実	ホウ素添加液体シンチレータによる BNCT 場でのホウ素線量分布の光学観測
飯隈吏子	ヨウ素含有シンチレータ自己放射化法による光中性子の連続測定～近畿大学原子炉(UTR-KINKI)での測定～

徳田 花奈	アンモニア PET 心筋ストレインの収縮時間差解析と位相解析の心筋同期不全評価値の関連
中間 小百合	半導体アンモニア PET による心筋ストレイン解析の再現性:標準 PET 解析との比較

9. 研究生

Vepy Asyana (インドネシア)	研究生	留学生
Lin Qijing (中国)	研究生	留学生
Alya Rusdiana (インドネシア)	研究生	留学生
Han Ruotong (中国)	研究生	留学生
Nafise Hasoomi (イラン)	研究生	留学生

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導

有村	大会運営	放射線の教員と学生を対象とした懇親ソフトボール大会
近藤	大会運営	放射線の教員と学生を対象とした懇親ソフトボール大会
藤淵	当日引率	放射線 3 年生を対象とした九重研修
納富	当日引率	放射線 3 年生を対象とした九重研修
近藤	当日引率	放射線 3 年生を対象とした九重研修
藤淵	当日引率	放射線 3 年生を対象とした玄海町次世代エネルギーパーク・あすびあ
納富	当日引率	放射線 3 年生を対象とした玄海町次世代エネルギーパーク・あすびあ
近藤	申請書類作成、 当日引率	放射線 3 年生を対象とした玄海町次世代エネルギーパーク・あすびあ

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	がん治療のレディオミクス(肺がん, 頭頸部癌, 前立腺がん)	有村 (公開)
2	多次元データ支援放射線治療法の開発(肺がん, 前立腺がん, 子宮頸がん)	有村 (公開)
3	類似症例に基づく放射線治療自動立案法の開発	有村 (公開)
4	無症候性未破裂脳動脈瘤の検出支援システムの開発	有村 (公開)
5	放射線治療のための類似症例自動検索方法の開発	有村 (公開)
6	高精度放射線治療計画支援システムの開発	有村 (公開)
7	多発性硬化症のためのコンピューター支援診断システムの開発	有村 (公開)
8	アルツハイマー病検出のためのコンピュータ支援診断システムの開発	有村 (公開)
9	硼素中性子捕捉療法(BNCT)の物理工学的研究	納富 (公開)
10	モンテカルロシミュレーションを用いた核医学画像評価に関する研究	高橋 (公開)
11	ヒストグラム解析を用いた Synthetic MRI における定量値の検討	近藤 (公開)
12	Dual Energy CT における仮想単色 X 線画像を用いた逆問題の検討	近藤 (公開)
13	医用画像解析	河窪 (公開)

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「特別研究員奨励費」「早期肺癌治療選択に向けた治療効果の経時的予測法の開発」(日本学術振興会特別研究員 DC1 兒玉拓巳), 有村(代表), 900 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」遺伝子変異検出から予後予測へつなぐ画像生検の開発, 有村(代表), 900 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」深層学習を応用した肺癌放射線治療後の肺臓炎重症度予測と治療法最適化システムの開発(代表:塩山 善之, 九州大学, 医学研究院), 有村(分担). (公開)
- 「基盤研究(B)」放射線教育の STEAM 化による EBPM 支援プログラムの開発, 藤淵(分担). (公開)
- 「基盤研究(C)」XR 技術を活用した医療放射線技術教育教材の開発と実践, 藤淵(代表), 800 千円. (公開)
- 「若手研究」次世代医療基盤法が目指す医療情報利活用のための Dual-energy CT の解析法開発, 近藤(代表), 500 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」ホウ素中性子捕捉療法の品質保証の為のホウ素線量分布直接測定法の開発, 納富(代表), 1300 千円. (公開)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「半導体心筋分子イメージング解析による右室心筋血流の定量法開発のための後方視的臨床研究」公益財団法人福田記念医療技術振興財団, 河窪, 1000 千円. (公開)

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「株式会社千代田テクノル 放射線診療における散乱線分布画像の表示」藤淵, 98 千円. (公開)
- 「清水建設株式会社 医療用 X 線の高精度遮蔽評価と防護技術」藤淵, 1000 千円. (公開)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

- 学会誌・学術専門誌
 - Yuko Isoyama-Shirakawa, Tadamasa Yoshitake, Kenta Ninomiya, Kaori Asa, Keiji Matsumoto, Yoshiyuki Shioyama, Takumi Kodama, Kousei Ishigami, Hidetaka Arimura: Combination of Clinical Factors and Radiomics Can Predict Local Recurrence and Metastasis After Stereotactic Body Radiotherapy for Non-small Cell Lung Cancer, *Anticancer Res.* 2023;43(11):5003-5013., 2023 年 11 月. (査読あり)(公開)
 - Mai Egashira, Hidetada Arimura, Kazuma Kobayashi, Kazutoshi Moriyama, Takumi Kodama, Tomoki Tokuda, Kenta Ninomiya, Hiroyuki Okamoto, Hiroshi Igaki: Magnetic Resonance-Based Imaging Biopsy with Signatures Including Topological Betti Number Features for Prediction of Primary Brain Metastatic Sites, *Physical and Engineering Sciences in Medicine* (Published: 21 August 2023), 2023 年 08 月. (査読あり)(公開)

- Yunhao Cui, Hidetaka Arimura, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hidetake Yabuuchi: Deep learning model fusion improves lung tumor segmentation accuracy across variable training-to-test dataset ratios, *Physical and Engineering Sciences in Medicine* (Published: 07 August 2023), 2023 年 08 月. (査読あり)(公開)
- Kenta Ninomiya, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka, Wai Yee Chan, Yutaro Kabata, Shinichi Mizuno, Nadia Fareeda Muhammad Gowdh, Nur Adura Yaakup, Chong-Kin Liam, Chee-Shee Chai, Kwan Hoong Ng: Three-dimensional topological radiogenomics of epidermal growth factor receptor Del19 and L858R mutation subtypes on computed tomography images of lung cancer patients, *Computer Methods and Programs in Biomedicine* (Volume 236, June 2023, 107544), 2023 年 06 月. (査読あり)(公開)
- Yu Jin, Hidetaka Arimura, YunHao Cui, Takumi Kodama, Shinichi Mizuno, Satoshi Ansai: CT image-based biopsy to aid prediction of HOPX expression status and prognosis for non-small cell lung cancer patients, *Cancers* 2023, 15(8), 2220 (Published:10 April 2022), 2023 年 04 月. (査読あり)(公開)
- Kojiro Ikushima, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Hidemi Kamezawa, Kenta Ninomiya: Topology-based radiomic features for prediction of parotid gland cancer malignancy grade in magnetic resonance images, *Magnetic Resonance Materials in Physics, Biology and Medicine*, Published: 20 April 2023, 2023 年 04 月. (査読あり)(公開)
- Choirul Anam, Arij Naufal, Yanurita Dwihapsari, Toshioh Fujibuchi, Geoff Dougherty: A practical method for slice spacing measurement using AAPM CT performance phantom, *Journal of Medical Physics*, 49, 103 – 109, 2024 年 03 月. (査読あり)(公開)
- Hiroyuki Arakawa, Toshioh Fujibuchi, Kosuke Kaneko, Yoshihiro Okada, Toshiko Tomisawa: Radiation-Training System with a Custom Survey-Meter Mock-up in a Browser-based Mixed Reality Environment, *Nuclear Engineering and Technology*, 2024 年 02 月. (査読あり)(公開)
- Kyoko Hizukuri, Toshioh Fujibuchi, Hiroyuki Arakawa: Directional Vector Visualization of Scattered Rays in Mobile C-arm Fluoroscopy, *Radiological Physics and Technology*, 2024 年 01 月. (査読あり)(公開)
- Keisuke Hamada, Toshioh Fujibuchi, Hiroyuki Arakawa, Yuichi Yokoyama, Naoki Yoshida, Hiroki Ohura, Naonobu Kunitake, Muneyuki Masuda, Takeo Honda, Satoru Tokuda, Makoto Sasaki: A novel approach to predict acute radiation dermatitis in patients with head and neck cancer using a model based on Bayesian probability, *Physica Medica*, 116, 103181, 2023 年 12 月. (査読あり)(公開)
- Choirul Anam, Riska Amilia, Arij Naufal, Heri Sutanto, Yanurita Dwihapsari, Toshioh Fujibuchi, Geoff Dougherty: Impact of Noise Level on the Accuracy of Automated Measurement of CT Number Linearity on ACR CT and Computational Phantoms, *Journal of Biomedical Physics and Engineering*, 13, 4, 353 – 362, 2023 年 07 月. (査読あり)(公開)
- Choirul Anam, Arij Naufal, Kosuke Matsubara, Toshioh Fujibuchi, Geoff Dougherty: A method for quantification of noise non-uniformity in computed tomography images: A computational study, *Journal of Physics and Its Applications*, 5, 2, 48 – 57, 2023 年 05 月. (査読あり)(公開)

- Tsukasa Kojima, Yuza Yamasaki, Yuko Matsuura, Ryoji Mikayama, Takashi Shirasaka, Masatoshi Kondo, Takeshi Kamitani, Toyoyuki Kato, Kousei Ishigami, Hidetake Yabuuchi: The Feasibility of Deep Learning-Based Reconstruction for Low-Tube-Voltage CT Angiography for Transcatheter Aortic Valve Implantation., *Journal of computer assisted tomography*, 2023 年 08 月. (公開)
- Hideya Maeda, Akihiro Nohtomi, Naonori Hu, Ryo Kakino, Kazuhiko Akita, Koji Ono: Feasibility study of optical imaging of the boron-dose distribution by a liquid scintillator in a clinical boron neutron capture therapy field, *Medical Physics*, 1 – 13, 2023 年 08 月. (査読あり)(公開)
- Kawakubo M, Nagao M, Kaimoto Y, Nakao R, Yamamoto A, Kawasaki H, Iwaguchi T, Matsuo Y, Kaneko K, Sakai A, Sakai S. Corresponding author.: Deep learning approach using SPECT-to-PET translation for attenuation correction in CT-less myocardial perfusion SPECT imaging., *Annals of Nuclear Medicine*, 38, 3, 199 – 209, 2024 年 03 月. (査読あり)(公開)
- Arai H, Kawakubo M, Sanui K, Nishimura H, Kadokami T.: Differentiation between mild and severe myocarditis using multiparametric cardiac magnetic resonance, *Radiology Case Reports*, 18, 10, 3710 – 3715, 2023 年 08 月. (査読あり)(公開)

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hidetaka Arimura: Medical AI for Cancer(Sep.14), 4th SNU-KYU Joint Symposium, 2023 年 09 月, Korea. (公開)
- Hidetaka Arimura: Issues in AI (Parallel Workshop: ACOMP Series, Artificial Intelligent, Aug. 12), SEACOMP & PITFMB 2023, Aug. 10-13, Lombok, 2023 年 08 月, Indonesia. (公開)
- Hidetaka Arimura: Topological Radiomics of Explainable AI (Plenary Session 7, Aug. 12), SEACOMP & PITFMB 2023, Aug. 10-13, Lombok, 2023 年 08 月, Indonesia. (公開)
- Rintaro Furuta, Hidetaka Arimura, Kentaro Tanaka, Yutaro Kabata, Mai Egashira: Prediction Model for the Time Variant Trajectories of Lung Tumor Growths After Tyrosine Kinase Inhibitor Therapy(Oral, Aug. 12), SEACOMP & PITFMB 2023, Aug. 10-13, 2023 年 08 月, Indonesia. (公開)
- Takumi Kodama, Hidetaka Arimura, Yuko Shirakawa, Kenta Ninomiya, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Prediction of Locoregional Recurrence in Non-Small Cell Lung Cancer Patients Prior to Stereotactic Ablative Radiotherapy Using Betti Number Imaging Signatures (Oral, Aug. 12), SEACOMP & PITFMB 2023, Aug. 10-13, 2023 年 08 月, Indonesia. (公開)
- Quoc Cuong Le, Hidetaka Arimura: Prediction of Intracranial aneurysm rupture using Image features of unruptured intracranial aneurysm Magnetic Resonance Angiography images using the Radiomics method (Oral, April 14), 2nd International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT), April 13-16, 2023 年 04 月, Japan. (公開)

- Jyunya Eda, Hidetaka Arimura, Takumi Kodama, Tadamasa Yoshitake: Comparison between Planning CT Image and Dose Distribution Signatures for Prediction of Radiation Pneumonitis in Patients with NSCLC before SABR (Oral, April 13), 2nd International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT), April 13-16, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- Kazuki Mitsushima, Hidetaka Arimura, Yuko Shirakawa, Tadamasa Yoshitake, Mai Egashira: Prediction of tumor growth trajectories in patients with stage I Non-small Cell Lung Cancer receiving Stereotactic Body Radiotherapy (Oral, April 15), 2nd International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT), April 13-16, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- Yu Jin, Hidetaka Arimura, YunHao Cui, Takumi Kodama, Shinichi Mizuno: Prognoses Prediction of NSCLC Patients with CT Image Feature Linked with Gene Expression (Oral, April 16), 2nd International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT), April 13-16, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- Takumi Kodama, Hidetaka Arimura, Yuko Shirakawa, Kenta Ninomiya, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama: Topological radiomics prediction of distant metastasis after stereotactic ablative radiotherapy for stage I non-small cell lung cancer patients (Oral, April 13), 2nd International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT), April 13-16, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- Noriyuki Nagami, Hidetaka Arimura, Junichi Nojiri, Cui Yunhao, Kenta Ninomiya, Manabu Ogata, Mitsutoshi Oishi, Keiichi Ohira, Shigetoshi Kitamura, Hiroyuki Irie: Novel segmentation model for well-differentiated hepatocellular carcinoma regions using dense V-net with three phase images of dynamic contrast-enhanced CT (Oral, April 14), 2nd International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT), April 13-16, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- Hideya Maeda, Akihiro Nohtomi, Naonori Hu, Ryo Kakino, Kazuhiko Akita, Koji Ono: Feasibility Study of Optical Imaging of the Boron-dose Distribution by a Liquid Scintillator in a Clinical BNCT field, 2023 IEEE NSS MIC RTSD, 2023 年 11 月, Canada. (公開)
- Hideya Maeda, Akihiro Nohtomi, Naonori Ko, Ryo Kakino, Kazuhiko Akita, Koji Ono: Feasibility Study of Optical Observation of the boron dose distribution as a quality assurance tool for boron neutron capture therapy, 第 125 回日本医学物理学会学術大会 2nd ICRPT, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- Kawakubo M, Nagao M, Yamamoto A, Kaimoto Y, Kawasaki H, Iwaguchi T, Nakao R, Matsuo Y, Kaneko K, Sakai A, Sakai S.: Virtual myocardial PET generated from SPECT-to-PET translation model corrects false high resting score in SPECT due to photon attenuation, The 109th Scientific Assembly & Annual Meeting of the RSNA, 2023 年 11 月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- Kawakubo, Nagao M, Kaimoto Y, Nakao R, Yamamoto A, Kawasaki H, Iwaguchi T, Matsuo Y, Kaneko K, Sakai A, Sakai S.: DEEP LEARNING ATTENUATION CORRECTION FOR MYOCARDIAL PERFUSION SCINTIGRAPHY BASED ON SPECT-TO-PET IMAGE TRANSLATION, The Asian Society of Cardiovascular Imaging (ASCI 2023), 2023 年 08 月, Indonesia. (公開)

- Kenji Fukushima, Masataka Katahira, Keiichiro Endo, Masateru Kawakubo, Ryo Yamakuni, Takatoyo Kiko, Katsuyuki Kikori, Naoyuki Ukon, Shiro Ishii, Michinobu Nagao, Hiroshi Ito, Yasuchika Takeishi: Novel analysis for endocardial wall strain with ¹³N ammonia PET feature tracking –Comparison with CMR–feature tracking using integrated PETMR system–, SNMMI 2023 Annual Meeting, 2023 年 06 月, UnitedStatesofAmerica. (公開)
- **大学・研究機関などの刊行誌** なし
- **調査研究報告**
 - 秋吉 優史, 藤淵 俊王, 橋本 周, 松田 尚樹, 榎本 敦, 大谷 浩樹, 古田 琢哉, 伊藤 照生: 「教育現場における低エネルギーX線を対象とした放射線安全管理に関する専門研究会」活動報告書, 日本保健物理学会, 2023 年 04 月. (公開)
 - 岡崎龍史、立石清一郎、後藤元秀、渡部浩司、大野和子、藤淵俊王、吉村崇、百瀬琢磨、青木隆敏: 放射線業務従事者に対する健康診断の期間別実態調査, 厚生労働省労災疾病臨床研究事業費補助金、令和 4 年度 総括・分担研究報告書, 2023 年 04 月. (公開)
- **国内学会での講演, 発表**
 - Jin Yu, Hidetaka Arimura, Takeshi Iwasaki, Takumi Kodama, YunHao Cui, Yoshinao Oda: Pathological image features for prediction of disease progression of lung cancer patients who received radiation therapy(March.4), IEICE Technical Committee on Medical Imaging (MI), 2024 年 03 月, Okinawa. (公開)
 - Yunhao Cui, Hidetaka Arimura, Tadamasa Yoshitake, Yoshiyuki Shioyama, Hidetake Yabuuchi: Robust segmentation approach across various training-to-test ratios for gross tumor volume of lung tumor based on voting-fused deep learning(March.4), IEICE Technical Committee on Medical Imaging (MI), 2024 年 03 月, Okinawa. (公開)
 - 兒玉拓巳, 有村秀孝, 白川友子, 二宮健太, 吉武忠正, 塩山善之: 体幹部定位放射線治療前の臨床特徴量と画像特徴量を用いた非小細胞肺癌患者の再発予測(March.4), 電子情報通信学会・医用画像研究会(MI), 2024 年 03 月, 沖縄県青年会館. (公開)
 - Yu Jin, Hidetaka Arimura, YunHao Cui, Takumi Kodama, Shinichi Mizuno, Satoshi Ansai: CT image radiogenomic signatures for prediction of HOPX expression status for patients with non-small cell lung cancer (Feb.3), 医用画像情報学会 令和5年度春期(第 198 回)大会, 九大病院キャンパス, 2024 年 02 月, 九州大学医学部保健学科. (公開)
 - 兒玉拓巳, 有村秀孝, 白川友子, 二宮健太, 吉武忠正, 塩山善之: 期非小細胞肺癌患者の放射線治療前 CT 画像における欠解析を用いた再発予測 (Feb.3), 医用画像情報学会 令和5年度春期(第 198 回)大会, 九大病院キャンパス, 2024 年 02 月, 九州大学医学部保健学科. (公開)
 - 濱崎洋志, 有村秀孝, 山崎誘三, 深田光敬, 的場哲哉, 加藤豊幸: 冠動脈 CT 画像を用いた安定狭心症患者における病変特異的虚血の非侵襲的検出モデル (Feb.3), 医用画像情報学会 令和5年度春期(第 198 回)大会, 九大病院キャンパス, 2024 年 02 月, 九州大学医学部保健学科. (公開)

- 中垣 真優、有村 秀孝、Jin Yu、藪内 英剛：術前造影ダイナミック MRI を用いたトリプルネガティブ乳がん患者の識別(Nov.4)，第 18 回九州放射線医療技術学術大会，大分，2023 年 11 月，J:COM ホルトホール大分．（公開）
- 深野 拓登、有村 秀孝、白川 友子、兒玉 巧巳、吉武 忠正、塩山 善之：外科治療を受けた早期非小細胞肺癌患者の予後予測モデルの開発(Nov.4)，第 18 回九州放射線医療技術学術大会，大分，2023 年 11 月，J:COM ホルトホール大分．（公開）
- 淵脇 尚哉、有村 秀孝、田中 謙太郎、古田 凜太郎：EGFR-TKI 治療を受けた非小細胞肺癌患者の腫瘍細胞数経時変化予測モデルの開発(Nov.4)，第 18 回九州放射線医療技術学術大会，大分，2023 年 11 月，J:COM ホルトホール大分．（公開）
- 兒玉 拓巳、有村 秀孝、白川 友子、二宮 健太、吉武 忠正、塩山 善之：体幹部定位放射線治療前のベッチ数特徴量を用いた非小細胞肺癌患者における局所領域再発予測(Sep. 30)，JAMIT 若手医用画像工学シンポジウム: SAMIT2023，つくば，2023 年 09 月，筑波大学．（公開）
- 有村 秀孝：高精度放射線治療における AI 応用研究の現状と未来—AI は理由を説明すべきか？—(Sep.17)，第 2 回日本医用画像電子情報・人工知能研究会，徳島，2023 年 09 月，あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)．（公開）
- 岩崎貴大、有村秀孝、幾嶋宏二郎、二宮健太、岩永秀幸：Harmonization 補正の Radiomics 特徴量を用いた CT 画像上での COVID-19 肺炎の重症度分類モデルの構築，第 126 回日本医学物理学会学術大会，広島，2023 年 09 月，広島コンベンションホール．（公開）
- 崔 雲昊、有村秀孝、吉武忠正、塩山善之、藪内英剛：「肺がん定位体放射線治療における 3 次元計画 CT 画像上の GTV に対する深層学習ネットワークのセグメンテーション性能への訓練対テスト比の影響(口頭 7/28)」，第 42 回日本医用画像工学会，大阪，2023 年 07 月，大阪大学中之島センター．（公開）
- 古田凜太郎、有村秀孝、田中 謙太郎、加葉田雄太郎、江頭 舞：TKI 治療後における肺腫瘍成長の経時変化予測モデル(口頭 7/28)，第 42 回日本医用画像工学会，大阪，2023 年 07 月，大阪大学中之島センター．（公開）
- Kojiro Ikushima, Hidetaka Arimura, Ryuji Yasumatsu, Hidemi Kamezawa, Kenta Ninomiya：Magnetic resonance imaging-based approach with topological radiomic features for prediction of malignancy grade in parotid gland cancer (Oral, June3)，医用画像情報学会令和 5 年度年次(第 196 回)大会，広島，2023 年 06 月，広島大学病院．（公開）
- Hidetaka Arimura：癌治療における AI の展開 —レディオミクスから未来予測—（特別講演 5/27），日本歯科放射線学会第 63 回学術大会，2023 年 5 月 26-28 日，百年講堂，2023 年 05 月，九州大学百年講堂．（公開）
- 山之内雅幸、有村秀孝：レディオミクス手法を用いた未破裂脳動脈瘤 Magnetic Resonance Angiography 画像の画像特徴量を使用した脳動脈瘤破裂予測手法の検討(4/16)，第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会，2023 年 4 月 13-16 日，2023 年 04 月，パシフィコ横浜．（公開）
- Hidetaka Arimura：画像診断技術の覧古考新:x2ai2x（招待講演・4/15 合同シンポジウム），第 125 回日本医学物理学会学術大会，2023 年 4 月 13-16 日，2023 年 04 月，パシフィコ横浜．（公開）

- 前田英哉、納富昭弘、山根崇史、呼尚徳、柿野諒、秋田和彦、小野公二、櫻井良憲：ホウ素添加液体シンチレータとデジタルカメラを用いた臨床 BNCT 場におけるホウ素線量分布の光学イメージング：ガラス容器の形状と液体シンチレータの組成の検討，第 38 回 研究会「放射線検出器とその応用」，2024 年 01 月，高エネルギー加速気研究機構、つくば、茨城．（公開）
- 飯隈吏子、森口光、前田英哉、納富昭弘、若林源一郎：ヨウ素含有シンチレータの自己放射化法による光中性子の連続測定 ～近畿大学原子炉(UTR-KINKI)での測定～，第 18 回九州放射線医療技術学会学術大会 in 大分，2023 年 11 月，J:COM ホルトホール大分．（公開）
- 蒲地夏実、納富昭弘、前田英哉、守口碧仁、呼尚徳、柿野諒、秋田和彦、小野公二：ホウ素添加液体シンチレータによる BNCT 場でのホウ素線量分布の光学観測，第 18 回九州放射線医療技術学会学術大会 in 大分，2023 年 11 月，J:COM ホルトホール大分．（公開）
- 納富昭弘：いまさら聞いてみたい核物理学・量子力学～放射線とどう関係あるの?～，第 126 回日本医学物理学会学術大会(広島)，2023 年 09 月，広島コンベンションセンター．（公開）
- Takafumi Yamane, Akihiro Nohtomi, Hideya Maeda, Genichiro Wakabayashi, Takushi Takata, Yoshinori Sakurai: Comparison of optical measurements of boron dose distribution using different types of glass containers, 第 126 回日本医学物理学会学術大会(広島)，2023 年 09 月，広島コンベンションセンター．（公開）
- Yuto Kojima, Akihiro Nohtomi, Hideya Maeda, Takafumi Yamane, Yoshinori Sakurai, Takushi Takata, Genichiro Wakabayashi: Fundamental study of optical observation of boron dose distribution by neutron irradiation using borosilicate glass, 第 126 回日本医学物理学会学術大会(広島)，2023 年 09 月，広島コンベンションセンター．（公開）
- 守口碧仁、納富昭弘、福永淳一、前田英哉、岡野広暉、塩山善之：偏光カメラを用いた高エネルギー X 線照射で生じる水チェレンコフ光の光学的観測，次世代放射線シンポジウム 2023，2023 年 08 月，福島県富岡町．（公開）
- 森口 光、納富 昭弘、栗原 凌佑、小野 薫：CsI シンチレータの自己放射化法を用いた医療用 Linac 場における光中性子の連続測定システムの検討，次世代放射線シンポジウム 2023，2023 年 08 月，福島県富岡町．（公開）
- 前田英哉、納富昭弘、守口碧仁、呼尚徳、柿野諒、秋田和彦、小野公二：ホウ素添加液体シンチレータとデジタルカメラを用いた臨床 BNCT 場でのホウ素線量分布の光学的観測：細管状容器による撮影時間短縮化の検討，次世代放射線シンポジウム 2023，2023 年 08 月，福島県富岡町．（公開）
- 小嶋悠斗、納富昭弘、前田英哉、山根崇史、櫻井良憲、高田卓志、若林源一郎：ホウケイ酸ガラスを用いた中性子入射によるホウ素線量分布観測の試み，第 19 回日本中性子捕捉療法学会学術大会，2023 年 07 月，横浜シンポジア．（公開）
- 赤坂玲河 関川祐矢 高橋昭彦：モンテカルロシミュレーションによる吸収線量計算の比較研究，第 51 回放射線技術学会秋季学術大会，2023 年 10 月，〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号 名古屋国際会議場．（公開）
- 江口範士郎 高橋昭彦：Monte Carlo Simulation Study of Thorium-227 SPECT Imaging，第 37 回 日本核医学技術学会 九州地方会学術大会，2023 年 07 月，宮崎県立 宮崎病院 〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200．（公開）

- 江口範士朗 高橋昭彦 馬場眞吾 佐々木雅之: Th-227 SPECT 画像化における Ra-223 の影響について:モンテカルロシミュレーション研究, 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2023 年 04 月, パシフィコ横浜. (公開)
- 近藤雅敏, 本松晃, 葛貫千絵, 林真優, 舩津亮平, 白坂崇, 加藤豊幸: デュアルエネルギーCT の仮想単色 X 線画像によるヨード密度値の逆推定, 第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会, 2023 年 10 月, 名古屋国際会議場. (公開)
- 近藤雅敏, 本松晃, 葛貫千絵, 林真優, 舩津亮平, 白坂崇, 加藤豊幸: 実効原子番号の算出と基準物質密度画像のノイズ低減との関係, 第 18 回九州放射線医療技術学術大会, 2023 年 11 月, J:COM ホルトホール大分. (公開)
- 中尾 梨沙子, 長尾 充展, 河窪 正照, 山本 篤志, 今門 理紗, 坂井 晶子, 百瀬 満, 坂井 修二, 山口 淳一.: SPECT-to-PET Image Translation Model Based on Deep Learning to Improve the Diagnostic Accuracy of SPECT for Myocardial Ischemia and INOCA, 第 88 回日本循環器学会学術集会, 2024 年 03 月, 神戸コンベンションセンター. (公開)
- 河窪 正照, 長尾 充展, 中尾 梨沙子, 貝本 葉子, 山本 篤志, 川崎 洋, 松尾 有香, 金子 恒一郎, 坂井 晶子, 坂井 修二.: 深層学習を用いた仮想 PET 生成技術による SPECT 心筋シンチグラフィの光子減衰補正, 第 33 回日本心臓核医学会総会・学術大会, 2023 年 06 月, 出島メッセ長崎 (長崎市). (公開)
- 筒井 悠治, 河窪 正照, 他.: 心電図同期 FDG-PET の位相解析による心サルコイドーシス活動性病変の評価, 第 33 回日本心臓核医学会総会・学術大会, 2023 年 06 月, 出島メッセ長崎 (長崎市). (公開)
- 山本 篤志, 河窪 正照, 他.: 心筋 Ammonia PET から得られる左室ストレインによる冠動脈バイパスグラフト術前後の評価, 第 33 回日本心臓核医学会総会・学術大会, 2023 年 06 月, 出島メッセ長崎 (長崎市). (公開)
- 片平 正隆, 河窪 正照, 他.: Hybrid PETMR を用いたアンモニア PET Feature Tracking による心内膜ストレインの臨床的有用性の検討, 第 33 回日本心臓核医学会総会・学術大会, 2023 年 06 月, 出島メッセ長崎 (長崎市). (公開)

○ 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 藤淵 俊王: (共著) 診療放射線技師 スリム・ベーシック 医療安全管理学, 2023 年 12 月, メジカルビュー社. (公開)
- 長畑 智政, 菊地 透, 大野 和子, 小林 剛, 坂本 肇, 作田 裕美, 大高 祐聖, 藤淵 俊王, 山口 一郎: (共著) 医療領域の放射線管理マニュアル -Q&A・医療関係法令- (2023 年版), 2023 年 09 月, 医療放射線防護連絡協議会. (公開)

2. 総説

- Yamasaki Y, Kamitani T, Sagiyama K, Hino T, Kisanuki M, Tabata K, Isoda T, Kitamura Y, Abe K, Hosokawa K, Toyomura D, Moriyama S, Kawakubo M, Yabuuchi H, Ishigami K.: Dynamic chest radiography for pulmonary vascular diseases: clinical applications and correlation with other imaging modalities, Japanese Journal of Radiology, 2023 年 08 月. (公開)

3. 解説, 書評など

- 有村 秀孝、兒玉 拓巳、二宮 健太、徳田 智紀: トポロジーでがんの特徴を数に変えるー穴解析ー, 医用画像情報学会雑誌 2023;40(4):79-84., 2023 年 12 月. (公開)
- 有村 秀孝、兒玉拓巳、金焜: Radiomics, Radiogenomics 解析に必要な知識, 臨床放射線 2023;68:845-851. 2023 年 9 月号, 2023 年 09 月. (公開)
- 藤淵 俊王: IVR における放射線防護教育について, 九州循環器撮影研究会誌, No.34, 30-33, 2024 年 03 月. (公開)
- 藤淵 俊王: RI 法改正に伴う放射線の量等の測定の信頼性の確保について, 線量校正ニュース, Vol.13, 6-9, 2023 年 11 月. (公開)
- 藤淵 俊王: JRC2023 印象記, 医療放射線防護, No.89, 23-25, 2023 年 10 月. (公開)
- 川下 郁生, 林 則夫, 富永 正英, 藤淵 俊王, 馬込 大貴, 谷川原 綾子, 奥田 光一, 篠原 範充: 令和4年度 原子力規制庁委託成果報告書 国際放射線防護調査, 日本放射線技術学会雑誌, 第 79 巻, 第 8 号, 838-850, 2023 年 08 月.
- 川下 郁生, 林 則夫, 富永 正英, 藤淵 俊王, 馬込 大貴, 谷川原 綾子, 奥田 光一, 篠原 範充: JSRT における AI 技術活用研究の動向と将来展望ー取り組むべき課題と本学会に期待される役割とは!?ー, 日本放射線技術学会雑誌, 第 79 巻, 第 8 号, 838-850, 2023 年 08 月. (公開)
- 藤淵俊王: 第 4 回日本保健物理学会・日本放射線安全管理学会合同大会 日本保健物理学会第 55 回研究発表会, 放影協ニュース、No113, 8-11, 2023 年 04 月. (公開)
- 藤淵俊王, 岩岡和輝, 島田洋子, 青天目州晶: 「保健物理」に掲載された東京電力福島第一原子力発電所事故関連記事を振り返るー被ばく医療・廃棄物ー, 保健物理, 第 58 巻, 第 2 号, 73-75, 2023 年 06 月. (公開)

受賞

- 有村, 「"体幹部定位放射線治療前のベッチ数特徴量を用いた非小細胞肺癌患者における局所領域再発予測", SAMIT フロンティア賞 (兒玉拓巳、有村秀孝他) "体幹部定位放射線治療前のベッチ数特徴量を用いた非小細胞肺癌患者における局所領域再発予測", JAMIT 若手医用画像工学シンポジウム: SAMIT2023、2023/9/30-10/1, 2023 年 10 月.
- 有村, 「Outstanding Presentation Award, Jin Yu, Arimura H, et al. "Prognoses Prediction of NSCLC Patients with CT Image Feature Linked with Gene Expression" The 2nd ICRPT, Yokohama, April 16, 2023.」, Outstanding Presentation Award (Jin Yu, Arimura H, et al.) "Prognoses Prediction of NSCLC Patients with CT Image Feature Linked with Gene Expression",

The 2nd International Conference on Radiological Physics and Technology (ICRPT, Yokohama), 2023 年 04 月.

- 納富, 「(AFOMP Journal Prize for the best paper published in an AFOMP journal for 2023)“First Optical Observation of B10-neutron capture reactions using a boron-added liquid scintillator for quality assurance in boron neutron capture therapy”」, AFOMP Journal Prize for the best paper published in an AFOMP journal for 2023, AFOMP(Asia-Oceania Federation of Organizations for Medical Physics), 2023 年 10 月.
- 納富, 「CsI シンチレータの自己放射化法を用いた医療用 Linac 場における光中性子の連続測定システムの検討」, 次世代放射線シンポジウム優秀発表賞(共同受賞), 日本応用物理学会・放射線分科会, 2023 年 08 月.
- 納富, 「The 2nd International Conference of Radiological Physics and Technology: Brilliant Award”Feasibility study of optical observation of the boron dose distribution as a quality assurance tool for boron neutron capture therapy.」, The 2nd International Conference of Radiological Physics and Technology: Brilliant Award, JSMP/JSRT(ICRPT), 2023 年 04 月.
- 納富, 「(Best Paper Published in 2022)“First Optical Observation of B10-neutron capture reactions using a boron-added liquid scintillator for quality assurance in boron neutron capture therapy”」, Doi Award (土井賞) for the best paper in Radiation Therapy Physics, Radiological Physics and Technology, 2023 年 04 月.
- 近藤, 2022 年度 優秀査読者賞, 公益社団法人 日本医学物理学会, 2023 年 04 月.
- 河窪, 「DEEP LEARNING ATTENUATION CORRECTION FOR MYOCARDIAL PERFUSION SCINTIGRAPHY BASED ON SPECT-TO-PET IMAGE TRANSLATION.」, Best Young Presenter Award Finalist, The Asian Society of Cardiovascular Imaging (ASCI 2023), 2023 年 08 月.
- 河窪, 「13N-ammonia positron emission tomography-derived endocardial strain for the assessment of ischemia using feature-tracking in high-resolution cine imaging.」, William Strauss Best Technical Paper Award, Journal of Nuclear Cardiology (American Society of Nuclear Cardiology), 2023 年 06 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 藤淵, 医療用 X 線の高精度遮蔽評価と防護技術, 清水建設株式会社, 2023 年 04 月～2024 年 03 月, 公開.

2. 受託研究

- 藤淵, 放射線診療における散乱線分布画像の表示, 株式会社千代田テクノル, 2023 年 10 月～2023 年 12 月, 公開.

3. 取得特許

- 画像変換装置、画像変換方法及び画像変換プログラム，長尾充展、河窪正照，PCT/JP2024/000419. (公開)

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 有村，WORKSHOP ON MATHEMATICS FOR INDUSTRY, Warsaw University of Technology(Sep.26-Oct.1,2023)(Poland)，大学・研究所訪問，2023年09月～2023年09月(2週間未満)，(公開)
- 有村，The 4th SNU-KYUSHU JOINT SYMPOSIUM, Seoul National University(Sep.14-15,2023)(Korea)，大学・研究所訪問，2023年09月～2023年09月(2週間未満)，(公開)
- 有村，21th SEACOMP& 6th PIT-FMB, Lombok(Indonesia)，国際会議，2023年08月～2023年08月(2週間未満)，(公開)
- 藤淵，Istanbul University Oncology Institute(Turkey)，大学・研究所訪問，2023年12月～2023年12月(2週間未満)，(公開)
- 納富，2023 IEEE NSS/MIC (Vancouver)(Canada)，国際会議，2019年10月～2023年11月(2週間未満)，(公開)

2. 外国人研究者の受入れ

○ 訪問教授・研究員

- Prof. Ronnie Wirestam，訪問教授，Prof. Ronnie Wirestam from Lund University in Sweden (April/17-June17/2023), Sweden. (公開)
- Jeon Seongwon，その他，Dongseo University, Korea. (公開)
- Kim Hojin，その他，Dongseo University, Korea. (公開)
- YONGSU YOON，その他，Dongseo University, Korea. (公開)
- Kim Jangoh，その他，KANGWON NATIONAL UNIVERSITY, Korea. (公開)
- Kim Chang Gyu，その他，GIMCHEON UNIVERSITY, Korea. (公開)
- Baek Cheol-Ha，その他，KANGWON NATINAL UNIVERSITY, Korea. (公開)

○ 訪問研究者

- Dr. YEDEKÇİ FAZLI YAĞIZ，訪問研究員，Dr. YEDEKÇİ FAZLI YAĞIZ from Hacettepe University in Turkey (January/15-July16/2024), Turkey. (公開)
- Jeon Seongwon，その他，Dongseo University, Korea. (公開)
- Kim Hojin，その他，Dongseo University, Korea. (公開)
- YONGSU YOON，その他，Dongseo University, Korea. (公開)

- Kim Jangoh, その他, KANGWON NATIONAL UNIVERSITY, Korea. (公開)
- Kim Chang Gyu, その他, GIMCHEON UNIVERSITY, Korea. (公開)
- Baek Cheol-Ha, その他, KANGWON NATINAL UNIVERSITY, Korea. (公開)

3. 留学生の受入れ

TONG YIZHI	修士課程	
Jin Yu	修士課程	
武 錦岳	修士課程	
Lee Hyojin	修士課程	
Danc Quac Soai	博士課程	
Vepy Asyana (インドネシア)	研究生	留学生
Lin Qijing (中国)	研究生	留学生
Alya Rusdiana (インドネシア)	研究生	留学生
Han Ruotong (中国)	研究生	留学生
Nafise Hasoomi (イラン)	研究生	留学生

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 有村, マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム実施委員. (公開)
- 有村, 九州がんプロ養成基盤推進プラン医学物理士養成コース担当者. (公開)
- 藤淵, 学生支援委員会. (公開)
- 藤淵, 学生支援委員会. (公開)

2. 部局委員

- 河窪, 百人部会. (公開)

3. 部門・コース内委員

- 有村, 医用量子線科学分野 分野長. (公開)
- 有村, 年報委員会 委員. (公開)
- 有村, 財務委員会 委員. (公開)
- 有村, 人事委員会 委員. (公開)
- 藤淵, 大学院委員会 委員. (公開)
- 藤淵, 学生委員会 委員長. (公開)
- 藤淵, 人事委員会 委員. (公開)
- 藤淵, 教務委員会 委員. (公開)
- 納富, 学生委員会 委員. (公開)
- 近藤, 放射線安全委員会 委員. (公開)
- 近藤, 将来計画、点検・評価委員会、年報委員会 委員. (公開)
- 河窪, 施設・環境委員会 委員. (公開)

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 有村, 原田学園 鹿児島医療技術専門学校 診療放射線技術学科, 非常勤講師. (公開)
- 有村, 群馬大学大学院・医学研究科生命医科学専攻, 非常勤講師. (公開)
- 藤淵, 令和健康科学大学・看護学部, 非常勤講師. (公開)
- 納富, 福岡大学・医学部, 客員教員. (公開)
- 納富, 近畿大学 原子力研究所 客員准教授, 客員教員. (公開)
- 納富, 福岡市医師会看護学校, 客員教員. (公開)

2. 学協会

- 有村, 医用画像情報学会(MII), 会長, 国内.
- 藤淵, 大学等放射線施設連絡協議会, 常議員, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, Journal of Radiation Protection and Research 誌編集委員, 国内.
- 藤淵, 全国診療放射線技師教育施設協議会, 理事, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 第 56 回研究発表会 実行委員, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 医療被ばく国民線量評価委員会 委員, 国内.
- 藤淵, 日本核医学技術学会, 評議員, 国内.
- 藤淵, 日本保健物理学会, 連携協力 WG 委員, 国際.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 代議員, 国内.
- 藤淵, 日本放射線技術学会, 英語論文誌 編集委員, 国内.
- 藤淵, Radiological Physics and Technology, 編集委員, 国際.
- 藤淵, Journal of Radiation Protection and Research, 編集委員, 国際.
- 納富, 日本医学物理学会, 理事 (英文誌担当理事), 国内.
- 納富, Journal of Nuclear Science and Technology, 査読委員, 国内.
- 納富, Physics in Medicine and Biology, 査読委員, 国際.
- 納富, Proceedings of the Japan Academy, Series B, 査読委員, 国内.
- 納富, Medical Physics, 査読委員, 国際.
- 納富, 日本放射線技術学会誌, 査読委員, 国内.
- 納富, Journal of Radiation Research, 査読委員, 国際.
- 納富, Radiological Physics and Technology, 編集委員長, 国際.
- 河窪, Korean Society of Radiological Science (KSRS), Editor of the Journal of Radiological Science and Technology, 国際.
- 河窪, 日本放射線技術学会, 代議員, 国内.

3. 官界

- 藤淵, 「原子力規制庁「放射線対策委託費(国際放射線防護調査)事業」委員会委員」. (公開)

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

- 有村, 「＜令和 5 年度第 2 回次世代の九州がんプロ養成プラン医用量子線データサイエンティストコース講演会＞2024 年 2 月 17 日(土)13:00～17:00、ハイブリット講演会・参加者 123 名講演1 福

島県立医科大学 保健科学部・講師 山品 博子 先生「マンモグラフィを始めとするがん対策における放射線診療の専門家育成と国際化」講演 2 熊本大学 大学院先端科学研究部・教授 諸岡 健一 先生「がん治療における先端医用画像処理」講演3 九州大学病院 医療技術部 廣瀬 貴章 先生「放射線治療の臨床研究に必要なデータサイエンス」九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定」, 2023-01-01.

- 有村, 「＜令和 5 年度第 1 回新ニーズに対応する九州がんプロ養成プラン先端医用量子線技術科学コース講演会＞2023 年 7 月 1 日(土)13:00～17:00、オンライン講演会・参加者 93 名講演1 岡山大学 学術研究院保健学域 田辺 悦章 先生「協奏と共創による臨床放射線治療技術研究」講演 2 北海道大学大学院保健科学研究院 杉森 博行 先生「医療 AI－画像系 AI の現状と課題－」講演3 大阪大学大学院 医学系研究科 山崎 明日美 先生「AI による別アングル画像生成技術を用いた乳がん診断へのアプローチ ～放射線治療への応用も見据えて～」九州大学大学院医学系学府医学物理士・放射線治療品質管理士養成コースの医学物理教育として医学物理認定機構から認定」, 2023-01-01.

5. 公開講座・公開講演会

- 藤淵, 「令和 5 年度鹿児島県原子力防災訓練、放射線の基礎知識と原子力災害時の行動について」, 鹿児島県危機管理防災局原子力安全対策課、公益財団法人原子力安全技術センター, 朝陽地区コミュニティセンター、海陽高等学校体育館, セミナー・研修会.
- 近藤, 「時代を生き抜くアクティブ・ラーナーとしての診療放射線技師」令和 5 年度 保健学部門公開講座.

6. 初等中等教育への貢献 なし

医用量子線科学分野

《医用放射線科学》

教授	杜下 淳次
教授	藪内 英剛
教授	馬場 眞吾
准教授	井手口 忠光
准教授	渥美 和重
助教	田中 延和

1. 教育活動

1. 大学院講義

保健学研究論	杜下	前期
臨床量子線科学 I	杜下	前期
Health Science Research	杜下	前期
Clinical Quantum Science I	杜下	前期
保健医療とデータ科学	藪内	夏学期
臨床量子線科学 I	藪内	前期
Data Sciences in Health and Medicine	藪内	夏学期
Clinical Quantum Science I	藪内	前期
分子機能画像科学論	藪内	後期
Molecular & Functional Imaging Technology	藪内	後期
ヘルスサイエンス論	馬場	前期
臨床量子線科学 I	馬場	前期
Clinical Quantum Science I	馬場	前期
Molecular & Functional Imaging Technology	馬場	後期
International Society and Multidisciplinary Care	渥美	前期
Data Sciences in Health and Medicine	渥美	夏学期
臨床量子線科学 I	渥美	前期
国際社会とチーム医療	渥美	前期
保健医療とデータ科学	渥美	夏学期
先端医療論	渥美	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

国際プレゼンテーション	杜下	通年
保健学特別研究	杜下	通年
医用量子線科学特別研究	杜下	通年
分子機能画像科学演習	藪内	前期
医用量子線科学特別研究(藪内教授)	藪内	通年

Practice in Molecular & Functional Imaging Technology	藪内	前期
臨床量子線科学Ⅱ	馬場	後期
Clinical Quantum Science Ⅱ	藪内	後期
国際プレゼンテーション(藪内教授)	藪内	通年
保健学特別研究(藪内教授)	藪内	通年
分子機能画像科学演習	馬場	前期
Practice in Molecular & Functional Imaging Technology	馬場	前期
保健学特別研究(馬場教授)	馬場	通年
Clinical Quantum Science Ⅱ	馬場	後期
医用量子線科学特別研究(井手口准教授)	井手口	通年
Practice in Quantum Radiation Therapy	渥美	前期
医用量子線科学特別研究(渥美准教授)	渥美	通年
量子線治療科学演習	渥美	前期

4. 大学院修士課程修了者

稲富 輝	高速撮像非造影肺 MR Angiography: REACT と T1-FFE 法の至適撮像法の検討
亀川 飛勇馬	死後頭部 X 線 CT 画像を用いた擬似的な歯科パノラマ X 線画像の作成と有用性の検討
瀬尾 友之	頭蓋骨のシルエット画像を用いた深層学習による性別推定
立石 賢	X 線 CT 画像における SSIM(CW-SSIM)を用いた新たな画像評価法の検討
江口 範士朗	Th-227 SPECT 画像のモンテカルロシミュレーション研究
赤坂 玲河	モンテカルロシミュレーションによる吸収線量計算の比較研究
平田 裕大	肺腫瘍に対する VMAT-SBRT における O リング型放射線治療装置と C アーム型放射線治療装置のコリメータ角度の比較

5. 大学院博士課程修了者

幾嶋洋一郎	臨床 MR 画像の自動画質評価法に関する研究 Study on a novel algorithm for comprehensive quality assessment of clinical magnetic resonance images
和田 達弘	Grading of glioma using 3D CEST imaging with compressed sensing and sensitivity encoding

6. 学部講義

生理機能検査学Ⅱ	藪内	前期
生理機能検査学Ⅲ	藪内	前期
臨床イメージング	藪内	冬学期
放射線技術科学入門Ⅱ	藪内	後期
画像解剖学Ⅰ	藪内	後期
臨床解剖薬理学	藪内	冬学期
画像解剖学Ⅱ	藪内	後期
人体の構造と機能Ⅱ	藪内	前期
人体の構造と機能Ⅲ	藪内	前期
放射線医学技術学概論	藪内	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	藪内	前期
MR画像技術学	藪内	前期

生理機能検査学Ⅰ	藪内	前期
医学総論Ⅰ	馬場	秋学期
医学総論Ⅱ	馬場	冬学期
放射線医学技術学概論	馬場	夏学期
核医学検査学Ⅰ	馬場	前期
放射性同位元素検査技術学	馬場	春学期
放射線技術科学入門Ⅱ	井手口	後期
医用画像情報学Ⅰ	井手口	秋学期
医用画像情報学Ⅱ	井手口	冬学期
医療安全学	井手口	秋学期
医用画像評価学	井手口	後期
品質管理論	井手口	後期
放射線技術科学入門Ⅰ	井手口	前期
放射線画像技術学Ⅰ	井手口	前期
放射線画像技術学Ⅱ	井手口	前期
放射性同位元素検査技術学	井手口	春学期
人体の構造と機能Ⅱ	渥美	前期
医学総論Ⅰ	渥美	秋学期
医学総論Ⅱ	渥美	冬学期
放射線医学技術学概論	渥美	夏学期
放射線技術科学入門Ⅰ	渥美	前期
放射線治療技術学Ⅰ	渥美	前期
放射線生物学	渥美	前期
品質管理論	田中	後期
医用画像評価学	田中	後期
放射線技術科学入門Ⅱ	田中	後期
基礎医療統計	田中	夏学期
放射線画像技術学Ⅱ	田中	前期
放射線画像技術学Ⅰ	田中	前期
放射線技術科学入門Ⅰ	田中	前期

7. 学部の実験・実習・演習

放射線画像技術学実習	井手口	後期
放射線機器学実験	井手口	春学期
臨地実習	井手口	通年
放射線治療技術学実習	渥美	後期
放射線画像技術学実習	田中	後期
放射線計測学実験	田中	前期
卒業研究	田中	通年

8. 卒業論文作成者

久保 慧司	全身性強皮症関連間質性肺疾患患者の予後予測における、CT 定量パラメータの有用性の検討
重松 優斗	三角線維軟骨複合体評価における T1 値と T2 値の有用性の検討

北浦 愛花	冠動脈超高精細 CT 画像評価の至適医用モニタ:2MP, 8MP の比較
政木 結衣	Lu-177 オキソトレオチド治療の臓器線量推定法の比較
江田 萌野花	BGO 検出器を搭載した半導体 PET/CT 装置の画像再構成法の影響に関する研究
宮崎 月渚	医療安全の視点から見たアイトラッキングによる造影 CT 検査時の視点解析～熟練者と初学者の比較～
大西匠	深層学習を用いた胸厚推定システムの開発
北島和孝	デジタル X 線撮影における円形 Edge を用いた新たな画像鮮鋭度解析法の検討
山岸 愛香	肺癌 SBRT において GTV の内部性状及び体積が線量計算に与える影響
宮園 遼宗	O リング型放射線治療装置の線量分布の評価
森田 紗耶華	前立腺癌 IMRT における人工知能を用いた治療計画の評価
角 美憂奈	蛍光灯と液晶ディスプレイの色温度の違いによる模擬病変の色度変化に関する研究
高木 綾乃	頭部 X 線撮影における散乱線補正処理の有効利用に関する研究
白根 正矢	胸部単純X線画像から抽出した肋骨や椎体画像による生体指紋の可能性
池原 欣希	頭蓋骨のサーフェスレンダリング画像を用いた深層学習による性別推定
多田隈 理央	深層学習を用いた性別判定の着眼点の解析
塚本 梨菜	汎用モンテカルロシミュレーションコードによる α 線吸収線量計算の比較
淀屋 怜央	Ga-67 の SPECT 画像化のモンテカルロシミュレーション
永野 真美	Re-188 のおける制動放射の影響に関するモンテカルロシミュレーション研究

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	身元確認のための画像認識技術の開発	杜下	(公開)
2	画像情報を用いた自動認識技術の開発	杜下	(公開)
3	医療用液晶ディスプレイ装置の画質	杜下	(公開)
4	デジタル X 線画像の画質評価法の開発	杜下	(公開)
5	デジタルマンモグラフィの乳癌診断能の研究	藪内	(公開)
6	乳腺腫瘍の MRI による診断頭頸部腫瘍の MRI による診断造影ダイナミック MRI と拡散強調 MRI を用いた乳癌の予後予測画像所見の研究肺癌の化学療法効果を早期に予測する画像パラメーターの研究	藪内	(公開)
7	Lu-177-DOTATATE 治療の線量推定における画像による吸収線量の違いの検討	馬場	(公開)
8	機械学習を用いた TOF 補正の PET 画質評価に関する研究	馬場	(公開)
9	デジタル X 線画像における新しい画像評価法の検討	井手口	(公開)
10	食道癌に対する放射線治療、肺腫瘍に対する定位的放射線照射 (SRT)、前立腺癌に対する強度変調放射線治療 (IMRT)、画像誘導放射線治療 (IGRT)	渥美	(公開)
11	超音波診断システムの撮像技術に関する研究	田中	(公開)
12	デジタルラジオグラフィシステムの画質と被ばく線量の評価に関する研究	田中	(公開)
13	液晶ディスプレイの特性の評価に関する研究	田中	(公開)

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」89Zr-PSMA-PET を用いた新たな前立腺癌の画像診断法の確立, 馬場(代表)
- 「若手研究」深層学習による線量指標を用いた画質管理の基礎的研究, 田中(代表)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ なし

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「富士フイルム株式会社 本共同研究では、九州大学医学部保健学科放射線技術科学専攻に導入済みの富士フイルム株式会社の製品を使用し、定量的で客観的な画質の比較と、それらの製品(含むソフトウェア)の有効な活用法について共同研究を行う。」井手口, 研究助成金あり. (公開)

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

学会誌・学術専門誌

- Yasuyuki Ueda¹* and Junji Morishita: Patient Identification Based on Deep Metric Learning for Preventing Human Errors in Follow-up X-Ray Examinations, *Journal of Digital Imaging*, 2023 年 05 月. (査読あり)(公開)
- Reiji KATAYAMA, Junji MORISHITA, Hedetake YABUUCHI: 医学教育のための仮想現実空間に表現した物体長計測システムの開発 Development of an object length measurement system in a virtual reality space for medical education, *FUKUOKA ACTA MEDICA*, 113 (通巻 1173), 4, 59 – 72, 2023 年 05 月. (査読あり)(公開)
- Khoa ND, Li S, Phuong N L, Kuga K, Yabuuchi H, Kano K, Matsumoto K, Ito K: Computational fluid-particle dynamics modeling of ultrafine to coarse particles deposition in the human respiratory system, down to the terminal bronchiole, *Computer Methods and Programs in Biomedicine.*, 237, 107589, 2023 年 07 月. (査読あり)(公開)
- Nakamoto Y, Baba S, Kaida H, Manabe O, Uehara T.: Recent topics in fibroblast activation protein inhibitor-PET/CT: clinical and pharmacological aspects, *Ann Nucl Med*, 38, 1, 10 – 19, 2024 年 01 月. (査読あり)(公開)
- Takeshi Sugio, Shingo Baba, Yasuo Mori, Goichi Yoshimoto, Kenjiro Kamesaki, Shuichiro Takashima, Shingo Urata, Takahiro Shima, Kohta Miyawaki, Yoshikane Kikushige, Yuya Kunisaki, Akihiko Numata, Katsuto Takenaka, Hiromi Iawasaki, Toshihiro Miyamoto, Kousei Ishigami, Koichi Akashi, Koji Kato: Prognostic value of pre-transplantation total metabolic tumor volume on 18fluoro-2-deoxy-D-glucose positron emission tomography-computed tomography in relapsed and refractory aggressive lymphoma, *Int J Hematol.*, 116, 4, 603 – 611, 2023 年 10 月. (査読あり)(公開)
- Murakami N, Masui K, Yoshida K, Noda SE, Watanabe M, Takenaka T, Ii N, Atsumi K, Umezawa R, Inaba K, Iijima K, Kubo A, Igaki H, Shikama N, Ikushima H.: Hands-on seminar

for image-guided adaptive brachytherapy and intracavitary/interstitial brachytherapy for uterine cervical cancer., *Jpn J Clin Oncol.* 2023 Jun 1;53(6):508–513., 2023 年 06 月. (査読あり)(公開)

- Nobukazu Tanaka, Yongsu Yoon: Effect of anti-scatter grids on the image improvement factor in digital radiography for various phantom thicknesses and irradiation fields, *Physical and Engineering Sciences in Medicine*, 46, 3, 1187 – 1192, 2023 年 09 月. (査読あり)(公開)

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Hikaru Inadomi, Hidetake Yabuuchi, Yuya Saito, Tatsuhiro Wada, Kouji Kobayashi, Naoto Nishizawa, Takeshi Kamitani, Kousei Ishigami. Non-contrast enhanced MR pulmonary angiography using 3D T1-fast field echo: optimization of flip angle and acceleration factors with exclusion of right heart system from field of view. European Congress of Radiology 2024, 2024 年 03 月, Austria. (公開)
- 政木結衣、江田 萌野花、馬場 眞吾: Lu-177 オキソトレオチド治療の臓器線量推定法の比較, 第 63 回日本核医学会学術総会／第 43 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2023 年 11 月, Japan. (公開)
- 江田 萌野花、政木結衣、馬場 眞吾: BGO 検出器 PET/CT における機械学習を用いた TOF 補正の効果に関する検討, 第 63 回日本核医学会学術総会／第 43 回日本核医学技術学会総会学術大会, 2023 年 11 月, Japan. (公開)
- 馬場眞吾、磯田拓郎、北村宜之、楠正興、山道幹太、泉井宏介、石神康生: 3D-U-net を用いた高精度全身 FDG-PE/CT の自動セグメンテーション法, 第 63 回日本核医学会学術総会・13th World Federation of Nuclear Medicine and Biology, 2023 年 11 月, Japan. (公開)
- 田畑成章, 伊地知哲也, 板井宏孝, 立石賢, 尾畑麻美, 中村裕範, 井手口忠光: プログラム言語 python による一対比較法ソフトウェアの開発 Title: Development of pairwise comparison method software in the programming language Python, 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- 板井宏孝, 是枝大地, 田畑成章, 立石賢, 井手口忠光 : 画像構造類似度 SSIM(MS-SSIM)を用いたデジタル X 線画像の画質評価 Image quality evaluation of digital X-ray images using structural similarity SSIM (MS-SSIM), 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- 立石賢, 田畑成章, 板井宏孝, 井手口忠光 : X 線 CT 画像における新しい画像評価法 SSIM (MS-SSIM) の検討 Examination of a new image evaluation method SSIM (MS-SSIM) in X-ray CT image, 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- 北 健斗, 田中延和, 田畑成章, 大藤孝文, 猪本奈美, 加藤豊幸, 井手口忠光: マルチ施設データをを用いた腰椎 target EI の検討: ノイズ抑制処理の効果 Title: Validation of target EI for lumbar spine based on multiple-facility data: Effect of noise suppression processing. , 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2023 年 04 月, Japan. (公開)
- Yudai Hirata, Yuka Yamanaka, Risako Aso, Taka-aki Hirose, Jun-ichi Fukunaga, Tadamasa Yoshitake, Kazushige Atsumi: Comparison of ring-mounted Halcyon linac and conventional Truebeam linac on collimator angle in VMAT-SBRT for lung, AAPM (The American

Association of Physicists in Medicine) 65th Annual Meeting, 2023 年 07 月,
UnitedStatesofAmerica. (公開)

- Nobukazu Tanaka, Nozomi Tateishi, Saki Mitarai: Evaluation of Chromaticity of Color Images in Breast Ultrasound Elastography: Effects of Ambient Lighting and LCD settings, 2023 Korean Society of Radiological Science Conference, 2023 年 06 月, Online, Korea. (公開)

○ 大学・研究機関などの刊行誌 なし

○ 調査研究報告 なし

○ 国内学会での講演, 発表

- Hikaru Inadomi, Hidetake Yabuuchi, Yuya Saito, Tatsuhiro Wada, Kouji Kobayashi, Naoto Nishizawa, Takeshi Kamitani, Kousei Ishigami. Evaluation of the Optimal Imaging Method for Fast Pulmonary REACT MR Angiography Using Compressed SENSE 第 51 回 日本磁気共鳴医学会大会 2023 年 9 月 長野県軽井沢町
- 西澤直人, 藪内英剛, 仲西知憲, 小川光, 池辺栄一, 福谷達郎, 追立和久, 稲富輝 三角線維軟骨複合体の診断における T2WI と脂肪抑制 T2WI の有用性の検討 第 51 回 日本磁気共鳴医学会大会 2023 年 9 月 長野県軽井沢町
- 北浦愛花, 藪内英剛, 小島宰, 神谷武志, 石神康生, 稲富輝, 西澤直人, 重松優斗, 久保慧司 冠動脈超高精細 CT 画像評価の至適医用モニタ: 2MP, 8MP モニタの比較 第 18 回 九州放射線医療技術学会大会 2023 年 11 月 大分県大分市
- 久保慧司, 藪内英剛, 神谷武志, 石神康生, 稲富輝, 西澤直人, 北浦愛花, 重松優斗 全身性強皮症関連の間質性肺疾患患者における、予後予測に対する CT 定量パラメータの有用性の検討 第 18 回 九州放射線医療技術学会大会 2023 年 11 月 大分県大分市
- 重松優斗, 藪内英剛, 池辺栄一, 成田浩, 濱田清美, 下村幸平, 西澤直人, 稲富輝, 北浦愛花, 久保慧司 三角線維軟骨複合体損傷の評価における T1 値と T2 値の有用性の検討 第 18 回 九州放射線医療技術学会大会 2023 年 11 月 大分県大分市
- 多田隈理央, 杜下淳次, 瀬尾友之: 深層学習を用いた性別推定の着眼点の解析, 九州放射線医療技術学会大会, 2023 年 11 月. (公開)
- 池原欣希, 杜下淳次, 瀬尾友之: 頭蓋骨のサーフェスレンダリング画像を用いた深層学習による性別推定, 九州放射線医療技術学会大会, 2023 年 11 月. (公開)
- 亀川飛雄馬, 杜下淳次: 死後頭部 X 線 CT 画像からの個人識別のための疑似パノラマ画像の作成, 九州放射線医療技術学会大会, 2023 年 11 月, 大分市. (公開)
- 白根生矢, 杜下淳次, 瀬尾友之: 胸部単純 X 線画像から抽出した肋骨や椎体画像による生体指紋の可能性, 九州放射線医療技術学会大会, 2023 年 11 月, 大分市. (公開)
- 瀬尾友之, Yongsu Yoon, Yeji Kim, 池田 典昭, 衛藤 希, 白元 洋介, 杜下 淳次: 深層学習モデルを使用した頭蓋骨のシルエットによる性別推定 Sex estimation by silhouette of skull using deep learning, 第 79 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2023 年 04 月, パシフィコ横浜国際会議センター. (公開)

- 三道 幹大 磯田 拓郎 北村 宜之 楠 正興 石神 康生 馬場 眞吾: ペプチド受容体核医学内用療法(PRRT)における voxel dosimetry を用いた線量測定の有用性, 第 59 回日本核医学会九州地方会, 2024 年 02 月, 熊本大学医学部 医学図書館. (公開)
- 江田 萌野花、政木結衣、馬場 眞吾: BGO 検出器を搭載した PETCT における、機械学習をもちいた TOF 補正の効果に関する検討, 第 18 回 九州放射線医療技術学会 第 69 回九州放射線技師学会 第 72 回日本放射線技術学会九州支部学会, 2023 年 11 月, J:COM ホルトホール大分. (公開)
- 臨床放射線科学分野 楠 正興、北村宣之、磯田 拓郎、山道 幹大、梶尾 理、石神 康生保健学部門 馬場 眞吾: ソマトスタチン受容体シンチグラフィが有用であった TSH 産生下垂体線種の一例, 第 195 回日本医学放射線学会九州地方会, 2023 年 06 月, 沖縄県 那覇市. (公開)
- 北島和孝, 井手口忠光: 円形 Edge を用いた新たな画像鮮鋭度解析法の検討, 令和 5 年度秋季(第 197 回)大会 医用画像情報学会, 2023 年 10 月, 名古屋市. (公開)
- 北島和孝, 井手口忠光 学生:1 人, 学生以外:1 人: 円形 Edge を用いた新たな画像鮮鋭度解析法の検討, 令和 5 年度秋季(第 197 回)大会 医用画像情報学会, 2023 年 10 月, 名古屋市. (公開)
- 田畑成章, 伊地知哲也, 板井宏孝, 立石賢, 北健斗, 原優菜, 井上敏郎, 井手口忠光: Image quality evaluation of digital X-ray images using Structural Similarity and Multi-Scale Structural Similarity, 令和 5 年度秋季(第 197 回)大会 医用画像情報学会, 2023 年 10 月, 名古屋市. (公開)
- 田畑成章, 伊地知哲也, 板井宏孝, 立石賢, 北健斗, 原優菜, 井上敏郎, 井手口忠光: 一対比較法における深層学習を用いた観察者不足改善手法の提案, 第 51 回 日本放射線技術学会秋季学会, 2023 年 10 月, 名古屋市. (公開)
- 立石賢, 田畑成章, 板井宏孝, 井手口忠光: X 線 CT 画像における新しい画質評価法 SSIM および MS-SSIM の検討 Examination of a new image evaluation method SSIM and MS-SSIM in X-ray CT images, 第 51 回 日本放射線技術学会秋季学会, 2023 年 10 月, 名古屋市. (公開)
- 北 健斗, 田中 延和, 田畑 成章, 大藤 孝文, 猪本 奈美, 加藤 豊幸, 井手口 忠光: マルチ施設データを用いた腰椎 Target EI の検討:ノイズ抑制処理の効果, 日本放射線技術学会第 79 回総会学会, 2023 年 04 月, パシフィコ横浜. (公開)
- 田中 延和, ユン ヨンス: FPD システムの撮影条件に関連する線量指標の解析と有効活用, 医用画像情報学会令和 5 年度春季(第 198 回)大会, 2024 年 02 月, 九州大学. (公開)
- 田中 延和, 田畑 成章, 大藤 孝文, 猪本 奈美, 加藤 豊幸, 井手口 忠光: 胸部 X 線画像の SSIM 評価における測定領域とノイズ抑制処理の強調度の関係, 日本放射線技術学会第 79 回総会学会, 2023 年 04 月, パシフィコ横浜. (公開)

○ 学会以外での講演, 発表 なし

著作

1. 単行本

- 藪内英剛(共編)即戦力が身につく胸部の画像診断, 2024 年 3 月, メディカル・サイエンス・インターナショナル (公開)
- 馬場 眞吾: (共著) FDG-PET の技術的なピットフォール 「臨床画像」Vol.40 2 月号 2024 年, 2024 年 02 月, メジカルビュー社. (公開)
- 杜下淳次(編), 桂川茂彦, 藤田広志, 井手口忠光, 田中延和, 白石順二, 近藤世範, 田中利恵, 寺本篤司, 小笠原克彦, 谷川琢海: (共著) 医用画像情報学 改訂 5 版, 2023 年 10 月, 南山堂. (公開)
- 分担執筆: 田中 延和, 井手口 忠光. 編集: 杜下 淳次 医用画像情報学 改訂 5 版, 2023 年 10 月, 株式会社南山堂.

2. 総説 なし

3. 解説, 書評など なし

受賞

- 杜下, 「公益社団法人 日本放射線技術学会の国際化に貢献したとしての受賞」, 国際貢献賞, 公益社団法人 日本放射線技術学会, 2023 年 04 月.

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 井手口, 田中, デジタル X 線画像システムの画質と撮影関連データの有効利用に関する研究, 富士フイルムメディカル株式会社, 2019 年 03 月～2024 年 03 月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許

- 医用情報処理装置、医用画像診断装置、方法及びプログラム, 馬場 眞吾、石神 康生, 特願 2024-030691.
- 医用情報処理装置、医用画像診断装置、方法及びプログラム, 馬場 眞吾、石神 康生, 特願 2024-030677.

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 田中, Mahidol University (November 27th - December 1st, 2023)(Thailand), 大学・研究所訪問, 2023 年 11 月～2023 年 12 月(2 週間未満). (公開)

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ

武 錦岳 修士課程

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員 なし

2. 部局委員

- 藪内, 医学研究院副研究院長. (公開)
- 田中, 安全・衛生委員会 委員. (公開)

3. 部門・コース内委員

- 藪内, 保健学部門長. (公開)
- 馬場, 大学院委員会 委員. (公開)
- 馬場, 入試実施委員会 副委員長. (公開)
- 馬場, 施設・環境委員会 委員. (公開)
- 馬場, 高精度総合画像診断システム 一式 委員. (公開)
- 井手口, 地域国際連携推進・FD 連携委員会 委員. (公開)
- 渥美, 地域国際連携推進・FD 連携委員会 委員. (公開)
- 田中, 広報委員会 委員. (公開)

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 馬場, 大分大学 医学部 3 年生, 非常勤講師. (公開)
- 渥美, 久留米大学, 非常勤講師. (公開)

2. 学協会

- 杜下, 日本放射線技術学会・日本医学物理学会 official journal, その他 (Radiological Physics and Technology 編集委員), 国内.
- 杜下, 医用画像情報学会, 理事 (総務理事), 国内.

- 藪内, 日本医学放射線学会, Japanese Journal of Radiology, Deputy editor(副編集長), 国際.
- 藪内, European Journal of Radiology, Chest section editor, 国際.
- 藪内, 日本医学放射線学会, 教育委員会, 委員, 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, 専門医制度委員会, 委員, 国内.
- 藪内, 日本医学放射線学会, 代議員, 国内.
- 藪内, 胸部放射線研究会, 幹事, 国内.
- 藪内, 呼吸機能イメージング研究会, 幹事, 国内.
- 藪内, 福岡胸部放射線研究会, 代表世話人, 国内.
- 藪内, 頭頸部放射線研究会, 世話人, 国内.
- 藪内, 日本呼吸器学会, MDD 委員会, 委員, 国内.
- 馬場, 日本核医学会, その他(九州・沖縄支部会 支部長), 国際.
- 馬場, 日本核医学会, その他(放射線防護委員会 委員長), 国際.
- 馬場, 日本核医学会, その他(広報委員会), 国際.
- 馬場, 日本核医学会, その他(PET 核医学委員会), 国際.
- 馬場, 日本核医学会, その他(核医学診療看護師制度専門委員会), 国際.
- 馬場, 日本核医学会, 運営委員(教育・専門医審査委員会), 国際.
- 馬場, 日本核医学会, 理事, 国際.
- 馬場, 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 馬場, 日本医学放射線学会, その他(代議員), 国内.
- 馬場, 日本核医学会, その他(編集委員), 国内.
- 馬場, 日本核医学会, 評議員, 国内.
- 馬場, 日本医学放射線学会, (代議員), 国内.
- 井手口, 日本医用画像情報学会, 理事, 国内.
- 杜下, 放射線・医療安全管理学, 編集委員, 国内.
- 杜下, 医用画像検査技術学 第4版, 編集委員(著者(分担)), 国内.
- 馬場, Annals of Nuclear Medicine, 編集委員(Associate editor), 国際.

3. 官界 藪内, 地方じん肺診査委員(福岡県), 国内.

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献 なし

3-3. 教員の活動：検査技術科学分野

検査技術科学分野

《生体情報学》

教授	内海 健
教授	重藤 寛史
講師	田代 洋行
講師	相原 正宗
助教	安田 洋子
助教	十島 崇嘉

1. 教育活動

1. 大学院講義

生体情報機能検査学	内海	後期
Health Science	内海	前期
International Society and Multidisciplinary Care	内海	前期
生体情報解析学Ⅰ	内海	前期
ヘルスサイエンス論	内海	前期
国際社会とチーム医療	内海	前期
生体情報解析検査学	重藤	後期
生体情報解析学Ⅰ	重藤	前期
保健学研究論	重藤	前期
Health Science Research	重藤	前期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

生体情報解析学Ⅱ	内海	後期
検査技術科学特別研究(内海教授)	内海	通年
生体情報機能検査学演習	内海	前期
保健学特別研究(内海教授)	内海	通年
国際プレゼンテーション(内海教授)	内海	通年
生体情報解析学Ⅱ	重藤	後期
生体情報解析検査学演習	重藤	後期
生体情報解析検査学演習	重藤	前期
国際プレゼンテーション(重藤教授)	重藤	通年
保健学特別研究(重藤教授)	重藤	通年
検査技術科学特別研究(重藤教授)	重藤	通年
検査技術科学特別研究(分担)	田代	通年

4. 大学院修士課程修了者 なし

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

生物化学分析検査学特論	内海	後期
臨床検査学概論Ⅱ	内海	秋学期
先進臨床検査特論	内海	前期
臨床化学Ⅱ	内海	前期
検査管理総論	内海	前期
臨床検査総論	内海	春学期
臨床検査学概論Ⅰ	内海	春学期
人体の構造と機能Ⅰ	内海	前期
医学総論Ⅰ	重藤	秋学期
医学総論Ⅱ	重藤	冬学期
臨床検査学概論Ⅱ	重藤	秋学期
生理機能検査学Ⅰ	重藤	前期
生理機能検査学Ⅲ	重藤	前期
臨床検査学概論Ⅰ	重藤	春学期
人体の構造と機能Ⅰ	重藤	前期
生理機能検査学Ⅰ	重藤	前期
臨床検査学概論Ⅱ	田代	後期
生理機能検査学Ⅱ(分担)	田代	前期
医療情報学概論	田代	前期
医療工学概論	田代	前期
生理機能検査学Ⅰ	田代	前期
生理機能検査学Ⅱ	田代	前期
生理機能検査学Ⅲ	田代	前期
臨床検査学概論Ⅱ	相原	秋学期
病原体学	相原	前期

7. 学部の実験・実習・演習

生化学・臨床化学実習	内海	後期
一般検査学実習	内海	冬学期
一般検査学Ⅰ	内海	秋学期
生理機能検査学実習	重藤	後期
医療工学・情報科学実験	田代	前期
臨床微生物学および実習	相原	前期
一般検査学および実習	安田	後期
組織・病理検査学および実習Ⅲ	安田	後期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	安田	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	安田	前期
血液検査学実習	十島	後期
医療工学・情報科学実験	十島	後期

8. 卒業論文作成者

西村 莉乃	サイレント変異が疾患を引き起こすメカニズムの解明 子数が及ぼす影響の検証	コドン出現率の偏りと tRNA の遺伝
-------	---	---------------------

石塚紘也	脳腫瘍におけるフェロトーシス関連遺伝子の発現と予後の関連
道下 慶乃	アルツハイマー病におけるミトコンドリア関連遺伝子の発現について
渡瀬史織	高速視覚刺激による言語野定常活動状態の磁場測定
奥田 凜	経頭蓋直流電気刺激 (tDCS) を用いた言語野同定の試み
阿部光千香	てんかん発作開始周辺時における海馬一皮質ネットワーク変化の検討
石原 奏音	神経細胞に光応答性を付与する BENAQ の最終合成経路の確立
小林 美尋	イオンチャネルに光感受性を付与する photoactive molecule の培養神経細胞を用いた評価系の開発
有田 京太郎	高速スキャンサイクリックボルタンメトリーを用いたドーパミン計測に重畳するバックグラウンド電流の周波数解析処理による除去
藤浪 玲皇	臨床分離 <i>Klebsiella pneumoniae</i> の draft genome を活用した pseudo-compound transposon の検出
檜垣 祐香	<i>Escherichia coli</i> におけるゲノム増幅の測定系の評価
中村 静香	抗菌薬暴露下における <i>Escherichia coli</i> のゲノム増幅検出
折原 瑞紀	TCGA を利用した肺がん患者の転移関連遺伝子の検索 Metastasis-related genes detection in Lung cancer patients using TCGA data base
渡辺 晴香	TCGA を用いた胃がんの転移に関する遺伝子の探索 Metastasis-related genes detection in gastric cancer patients using TCGA

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	ミトコンドリア蛋白 ABCB10 の生理機能解析	内海	(公開)
2	ミトコンドリアーリソソーム機能関連の新規分子機構	内海	(公開)
3	てんかん発作バイオマーカーとしてのマイクロ RNA の検出	重藤	(公開)
4	脳磁計や電流刺激を用いた言語処理の解明	重藤	(公開)
5	人工視覚システムの開発	田代	(公開)
6	ニューロモジュレーションを応用した医療治療機器の開発	田代	(公開)
7	臨床微生物学	相原	(公開)
8	サイトカイン依存的変動を示す膜タンパク質に着目した転移メカニズムの解明	安田	(公開)

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「挑戦的研究(萌芽)」肝臓組織特異的発現遺伝子のサイレント変異で翻訳が停止する新規分子機序, 内海(代表), 2500 千円. (公開)
- 「基盤研究(B)」ミトコンドリア機能異常による老化疾患の分子病態の解明と NMN による治療効果, 内海(代表), 4200 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」てんかん脳における興奮抑制平衡維持メカニズムの解明と個別治療への応用, 重藤(代表), 2600 千円. (公開)

- 「基盤研究(B)」ゲノム進化予測による薬剤耐性菌発生防止に向けた研究, 相原(代表), 2100 千円. (公開)
- 「若手研究」サイトカイン依存性発現変動を示す VASORIN に着目した胃がん転移メカニズムの解明, 安田(代表), 1900 千円. (公開)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「多剤高度耐性細菌の新たな治療戦略構築に資する研究」公益財団法人 武田科学振興財団, 相原, 2000 千円.
- 「新たな誘導型薬剤耐性強化機構に適応する細菌検査法の確立に向けた研究」公益信託 臨床検査医学研究振興基金, 相原, 700 千円.
- 「エピソーム・ダイナミクスが導く細菌の薬剤耐性強化機構解明に向けた研究」公益財団法人 MSD 生命科学財団, 相原, 2000 千円.
- 「光薬理学的手法を用いた失明者の視覚再生技術の開発」公益財団法人 上原記念生命科学財団 研究助成金, 田代, 5000 千円.

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「検査実用化を目指したシーズ探索 及び有用性の検討」内海. (公開)
- 「クロレラとミトコンドリア機能解析」内海. (公開)
- 「次世代人工視覚の研究」田代, 共同研究, (株)ニデック, 研究代表者, 2405 千円. (公開)
- 「神経刺激方法の研究開発」田代, 共同研究, 帝京大学, 研究代表者, 2544 千円. (公開)
- 「革新的 BMI 技術と視覚認知ネットワークの理解と制御に基づく次世代人工視覚装置の研究開発」, 田代, AMED-CREST 革新的先端研究開発支援事業, 受託研究, 連携研究者, 0 千円. (公開)

6. 受託研究員・研修員の受入れ

7. 研究成果の報告

- 学会誌・学術専門誌
 - Naoki Egami, Masataka Ishimura, Masayuki Ochiai, Masako Ichiyama, Hirosuke Inoue, Souichi Suenobu, Toshiya Nishikubo, Keiji Nogami, Akira Ishiguro, Taeko Hotta, Takeshi Uchiumi, Dongchon Kang, Shouichi Ohga: The clinical and genetic landscape of early-onset thrombophilia in Japan, *Pediatric Blood and Cancer*, e30824, 2024 年 03 月. (査読あり)(公開)
 - S. Matsumoto, T. Uchiumi, N. Noda, Y. Ueyanagi, T. Hotta, D. Kang: Droplet digital polymerase chain reaction to measure heteroplasmic m.3243A>G mitochondrial mutations, *Lab Med*, 55, 227-233, 2024 年 02 月. (査読あり)(公開)

- Eisaku Hokazono, Saori Fukumoto, Takeshi Uchiumi, Susumu Osawa: Pyrophosphate detection method using 5-Br-PAPS to detect nucleic acid amplification – Application to LAMP method, *Analytical Biochemistry*, 684, 115371 2024 年 01 月. (査読あり)(公開)
- S. Ueda, M. Yagi, E. Tomoda, S. Matsumoto, Y. Ueyanagi, Y. Do, D. Setoyama, Y. Matsushima, A. Nagao, T. Suzuki, Y. Mori, N. Oyama, D. Kang, and T. Uchiumi: Mitochondrial haplotype mutation alleviates respiratory defect of melas by restoring taurine modification in tRNA with 3243A > G mutation, *Nucleic Acids Res*, 51(14):7480-7495 , 2023 年 07 月. (査読あり)(公開)
- M. Yagi, Y. Do, H. Hirai, K. Miki, T. Toshima, Y. Fukahori, D. Setoyama, C. Abe, YI. Nabeshima , D. Kang, and T. Uchiumi: Improving lysosomal ferroptosis with NMN administration protects against heart failure, *Life Sci Alliance*, 6(12):e202302116 , 2023 年 06 月. (査読あり)(公開)
- K. Miki, M. Yagi, N. Noguchi, Y. Do, R. Otuji, D. Kuga, D. Kang, Y. Yoshimoto and T. Uchiumi*: Induction of glioblastoma cell ferroptosis using combined treatment with chloramphenicol and 2-deoxy-D-glucose, 13(1):10497 *Sci Rep*, 2023 年 06 月. (査読あり)(公開)
- Tanaka, Atsushi; Sakaguchi, Yoshiaki; Inoue, Hirosuke; Egami, Naoki; Sonoda, Yuri; Sonoda, Motoshi; Ishimura, Masataka; Ochiai, Masayuki; Hotta, Taeko; Uchiumi, Takeshi; Sakai, Yasunari; Ohga, Shouichi: Stroke in a protein C-deficient infant after stem cell transplant for CHARGE syndrome, *PEDIATRIC BLOOD & CANCER*, 70, 4, :e30047 , 2023 年 04 月. (査読あり)(公開)
- Yuri Sonoda, Atsushi Fujita, Michiko Torio, Takahiko Mukaino, Ayumi Sakata, Masaru Matsukura, Kousuke Yonemoto, Ken Hatae, Yuko Ichimiya, Pin Fee Chong, Masayuki Ochiai, Yoshinao Wada, Machiko Kadoya, Nobuhiko Okamoto, Yoshiko Murakami, Tadashi Suzuki, Noriko Isobe, Hiroshi Shigeto, Naomichi Matsumoto, Yasunari Sakai, Shouichi Ohga: Progressive myoclonic epilepsy as an expanding phenotype of NGLY1-associated congenital deglycosylation disorder: A case report and review of the literature., *European journal of medical genetics*, 67, 104895 – 104895, 2023 年 12 月. (査読あり)(公開)
- Yuri Mizuno, Taira Uehara, Yuri Nakamura, Toshiki Okadome, Takahiko Mukaino, Kishin Koh, Yoshihisa Takiyama, Takashi Kanbayashi, Noriko Isobe, Jun-Ichi Kira, Hiroyuki Murai, Hiroshi Shigeto: A case of monozygotic twins with hereditary spastic paraplegia type 4 and epilepsy, of whom only one developed narcolepsy type 1., *Journal of sleep research*, e14102, 2023 年 11 月. (査読あり)(公開)
- 重藤 寛史: 睡眠障害を併存する高齢てんかんとペランパネル, *Progress in Medicine*, 43, 5, 449 – 455, 2023 年 05 月. (査読あり)(公開)
- 下川 能史, 森岡 隆人, 村上 信哉, 橋口 公章, 迎 伸孝, 重藤 寛史, 酒井 康成, 酒田 あゆみ, 渡邊 恵利子, 吉本 幸司: 頭蓋内電極留置を経て焦点切除手術を行なった小児てんかん症例の治療成績, *小児の脳神経*, 48, 2, 196 – 196, 2023 年 04 月. (査読あり)(公開)
- Takuro Kono, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Development of Flexible Multilayer Circuit Board Fabrication Technology by Combining Laser Micromachining with Pt

- foil and Microwelding for Biomedical Applications, *Advanced Biomedical Engineering*, 13, 108 – 115, 2024 年 03 月. (査読あり)(公開)
- Ryoma Okada, Maya Mizuno, Tomoaki Nagaoka, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa: THz near-field intensity distribution imaging in 0.3–THz band using a highly sensitive polarization CMOS image sensor using a 0.35- μ m CMOS process, *Japanese Journal of Applied Physics*, 63, 3, 03SP66, 2024 年 03 月. (査読あり)(公開)
 - Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Yoshihiro Akamatsu, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Exposure time control method for higher intermediate frequency in optical heterodyne imaging and its application to field imaging based on electro-optic effect, *Sensors*, 24, 4, 1249, 2024 年 02 月. (査読あり)(公開)
 - Yuki Nakanishi, Wisaroot Sriitsaranusorn, Takaya Hattori, Kuang-Chih Tso, Kenzo Shodo, Yasuo Terasawa, Yoshinori Sunaga, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Demonstration of multi-point stimulation with AC-driven CMOS chips for retinal prosthesis, *Japanese Journal of Applied Physics*, 63, 3, 03SP22, 2024 年 03 月. (査読あり)(公開)
 - Shuhei Nomura, Hiroyuki Tashiro, Yasuo Terasawa, Yukari Nakano, Makito Haruta, Kiyotaka Sasagawa, Hironari Takehara, Takeshi Morimoto, Takashi Fujikado, Jun Ohta: Effects of Long-Term In vivo Stimulation on the Electrochemical Properties of a Porous Stimulation Electrode for a Suprachoroidal-Transretinal Stimulation (STS) Retinal Prosthesis, *Sensors and Materials*, 35, 11, 3567 – 3584, 2023 年 09 月. (査読あり)(公開)
 - Ronnakorn Siwadamrongpong, Yoshinori Sunaga, Kiyotaka Sasagawa, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Miniaturized Neural Observation System for in vivo Brain Imaging in Freely Moving Rats, *Sensors and Materials*, 35, 9, 3567 – 3239, 2023 年 09 月. (査読あり)(公開)
 - Takuro Kono, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Development of a Humidity Microsensor for Evaluation of Hermeticity for Retinal Prosthesis, *Sensors and Materials*, 35, 9, 3189 – 3200, 2023 年 09 月. (査読あり)(公開)
 - Motoshi Sobue, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Ryo Kawasaki, Jun Ohta: Development of 4 μ m Pixel Pitch NIR Multispectral Imaging Sensor and its Application to Glare-free NIR Color Fundus Camera, *Sensors and Materials*, 3211 – 3225, 2023 年 09 月. (査読あり)(公開)
 - Kenji Sugie, Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Implantable multimodal sensing device for simultaneous imaging and electrophysiological recording of mouse brain activity, *Sensors and Materials*, 35, 9, 3173 – 3188, 2023 年 09 月. (査読あり)(公開)
 - Latiful Akbar, Virgil Christian Garcia Castillo, Joshua Philippe Olorocisimo, Yasumi Ohta, Mamiko Kawahara, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Masahiro Ohsawa, Yasemin M. Akay, Metin Akay, Jun Ohta: Multi-Region Microdialysis Imaging Platform Revealed Dorsal Raphe Nucleus Calcium Signaling and Serotonin

Dynamics during Nociceptive Pain, *International Journal of Molecular Sciences*, 24, 7, 6654, 2023 年 04 月. (査読あり)(公開)

- 相原 正宗, 柳澤 由佳子, 西 凜佳子, 山下 有加, 木部 泰志, 清祐 麻紀子, 堀田 多恵子: Polymyxin B nonapeptide を用いたカルバペネム低感受性腸内細菌目細菌における抗菌薬膜透過性低下の検出, *日本臨床微生物学会雑誌*, 33, 4, 50 – 55, 2023 年 09 月. (査読あり)(公開)
- Shimogawa T, Sakata A, Watanabe E, Mukae N, Shigeto H, Mukaino T, Okadome T, Yamaguchi T, Yoshimoto K, Morioka T. Mandibular and chin electrodes as a supplemental recording for detection of epileptiform discharges in mesial temporal lobe epilepsy. *Surg Neurol Int.* 2023;14:189, 2023 年 6 月. (査読あり)(公開)
- Hiroshi Oketani, Takato Morioka, Satoshi Inoha, Kenji Miki, Takafumi Shimogawa, Nobutaka Mukae, Ayumi Sakata, Hiroshi Shigeto, Koji Yoshimoto. Arterial spin labeling MR perfusion image in differentiating metabolic encephalopathy from non-convulsive status epilepticus in a patient with generalized periodic discharges with triphasic morphology. *Epilepsy & Seizure*(1882-5567)15 巻 1 号 Page59-66(2023.), 2023 年 9 月. (査読あり)(公開)
- Hiroshi Oketani, Takato Morioka, Satoshi Inoha, Kenji Miki, Takafumi Shimogawa, Nobutaka Mukae, Ayumi Sakata, Hiroshi Shigeto, Koji Yoshimoto. Detection of slightly increased signals in temporal lobe on periictal arterial spin labeling perfusion image for initial suspicion of temporal lobe epilepsy. *Epilepsy & Seizure*(1882-5567)15 巻 1 号 Page67-74, 2023 年 9 月. (査読あり)(公開)
- Hiroshi Oketani, Takato Morioka, Satoshi Inoha, Fumihito Mugita, Nobutaka Mukae, Takafumi Shimogawa, Ayumi Sakata, Hiroshi Shigeto, Koji Yoshimoto. Periictal hyperperfusion in the perituberal cortex revealed by arterial spin labeling perfusion images in a patient with tuberous sclerosis complex. *Epilepsy & Seizure*(1882-5567)15 巻 1 号 Page75-81, 2023 年 11 月.
- Fumihito Mugita, Takato Morioka, Satoshi Inoha, Tomoaki Akiyama, Takafumi Shimogawa, Nobutaka Mukae, Ayumi Sakata, Hiroshi Shigeto, Koji Yoshimoto. Crossed cerebellar hyperperfusion during periictal and ictal periods revealed by 1.5-Tesla arterial spin labeling magnetic resonance perfusion images. *Epilepsy & Seizure*(1882-5567)15 巻 1 号 Page95-103, 2023 年 12 月.

○ 国際会議・国際学会などのプロシーディングス

- Kuang-Chih Tso, Yoshinori Sunaga, Naruhisa Yohshida, Makito Haruta, Takurou Kouno, Yasuo Terasawa, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Development of Fabrication Process on Bendable Artificial Retinal Device, 8th International Conference on Biomedical Engineering and Applications (ICBEA 2024), 2024 年 03 月, Japan. (公開)
- Virgil Christian Castillo, Ryoma Okada, Yoshinori Sunaga, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: CMOS-based imaging device with laser-carbonized electrode for simultaneous deep-brain optical and electrophysiological

measurements, 8th International Conference on Biomedical Engineering and Applications (ICBEA 2024), 2024 年 03 月, Japan. (公開)

- Kiyotaka Sasagawa, Yoshinori Sunaga, Yasumi Ohta, Mamiko Kawahara, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: MINIATURIZED CMOS IMAGE SENSORS FOR BRAIN FUNCTIONAL IMAGING, Bio4Apps 2023, 2023 年 12 月, Australia. (公開)
- Hironari Takehara, Keinoshin Takada, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: OPTICAL SYSTEMS AND IMAGE PROCESSING TECHNOLOGIES IN A NEAR-INFRARED MULTISPECTRAL FUNDUS CAMERA, Bio4Apps 2023, 2023 年 12 月, Australia. (公開)
- Kiyotaka Sasagawa, Yoshihiro Akamatsu, Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Frame Interval Control Technique for High Frequency Electric Field Imaging by Equivalent Time Sampling, Asia-Pacific Microwave Conference 2023 (APMC 2023), 2023 年 12 月, Taiwan. (公開)
- Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa: Sensitivity improvement in electro-optic imaging based on polarization CMOS image sensor, Asia-Pacific Microwave Conference 2023 (APMC 2023), 2023 年 12 月, Taiwan. (公開)
- Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Yoshihiro Akamatsu, Maya Mizuno, Makito Haruta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Tripling of intermediate frequency in electro-optic imaging using a modified equivalent time sampling method, 2023 International Conference on Emerging Technologies for Communications (ICETC 2023), 2023 年 11 月, Japan. (公開)
- Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Image-Sensor-Based Microwave Electric-Field Imaging System Using LiNbO₃ Sensor, 5th International Workshop on Photonics applied to Electromagnetic Measurement (PEM2023), 2023 年 11 月, Japan. (公開)
- Ryoma Okada, Maya Mizuno, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa: 36-GHz electric field imaging using an electro-optic imaging system based on polarization CMOS image sensor, 5th International Workshop on Photonics applied to Electromagnetic Measurement (PEM2023), 2023 年 11 月, Japan. (公開)
- Virgil Christian Garcia Castillo, Ryoma Okada, Yoshinori Sunaga, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Ultrasmall compact CMOS-based imaging device with laser carbonized electrode for simultaneous deep-brain optical and electrophysiological measurements, Neuroscience 2023 (SfN23), 2023 年 11 月, United States of America. (公開)
- Yoshinori Sunaga, Yasumi Ohta, Virgil Christian Garcia Castillo, Latiful Akbar, Joshua Philippe Olorocisimo, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Multi-regional brain imaging and sensing based on CMOS imaging device applied to freely moving rodents, Neuroscience 2023 (SfN23), 2023 年 11 月, United States of America. (公開)

- Takuro Kono, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Development of low-resistance flexible multilayer micro array for wide-area neural stimulation, Neuroscience 2023 (SfN23), 2023 年 11 月, United States of America. (公開)
- Kiyotaka Sasagawa, Yuki Ito, Daniel Schaeffer, Yoshinori Sunaga, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Front-light Structure for a Lensless Fluorescence Imaging Device with a Hybrid Emission Filter, The 2023 IEEE Biomedical Circuits and Systems Conference (BioCAS 2023), 2023 年 10 月, Japan. (公開)
- Kuang-Chih Tso, Yoshinori Sunaga, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Po-Chun Chen, Pu-Wei Wu, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: A facile synthesis of high-performance Na-doped iridium oxide electrodes for artificial retina devices, The Eye and Chip 2023, 2023 年 10 月, United States of America. (公開)
- Yoshinori Sunaga, Kuang-Chih Tso, Yuki Nakanishi, Kouno Takurou, Yasuo Terasawa, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: CMOS and Parylene-based flexible array device for artificial retina, The Eye and Chip 2023, 2023 年 10 月, United States of America. (公開)
- Kiyotaka Sasagawa, Ryoma Okada, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: RF electric-field imaging using an electro-optical measurement system with a polarization image sensor, Information Photonics 2023 (IP' 2023), 2023 年 09 月, Taiwan. (公開)
- Ryoma Okada, Maya Mizuno, Tomoaki Nagaoka, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta, Kiyotaka Sasagawa: Visualization of THz electromagnetic near field distributions using highly sensitive polarization CMOS image sensor, 2023 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2023), 2023 年 09 月, Japan. (公開)
- Yuki Nakanishi, Wisaroot Sriitsaranusorn, Yoshinori Sunaga, Kenzo Shodo, Yasuo Terasawa, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Demonstration of multi-point stimulation with AC-driven CMOS chip for retinal prosthesis, 2023 International Conference on Solid State Devices and Materials (SSDM2023), 2023 年 09 月, Japan. (公開)
- Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Custom-made Dipole Recording Electrodes for Visualization of Electric Field Generated by Temporal Interferential Stimulation, The 45th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC2023), 2023 年 07 月, Australia. (公開)
- Kaige Pan, Xinyuan Ouyang, Naruhisa Yoshida, Takuro Kono, Yasuo Terasawa, Yoshinori Sunaga: Waterproof evaluation of flexible retinal device with CMOS smart electrode, The 45th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (EMBC2023), 2023 年 07 月, Australia. (公開)
- Shuhei Nomura, Hiroyuki Tashiro, Yukari Nakano, Yasuo Terasawa, Hironari Takehara, Makito Haruta, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Comparison of electrochemical circuit models with/without diffusion element for laser-induced porous electrodes of retinal prostheses, The

- 大学・研究機関などの刊行誌 なし
- 調査研究報告 なし
- 国内学会での講演, 発表
 - 重藤寛史: てんかん支援拠点病院への指定に至る道のりとその後の展開, 第 10 回 兵庫県下のでんかん診療連携を考える会, 2024 年 03 月, 神戸国際会館. (公開)
 - 下川能史、長崎万由子、萬蔵ことみ、酒田あゆみ、渡邊恵利子、重藤寛史、鳥羽好和、吉本幸司: 頭蓋内電極留置術後の長時間ビデオ脳波モニタリング患者における創部感染予防に対する取り組み, 第 11 回全国てんかんセンター協議会, 2024 年 03 月, 徳島 あわぎんホール. (公開)
 - 下川能史、森岡隆人、村上信哉、橋口公章、迎 伸孝、重藤 寛史、酒井康成、酒田 あゆみ、渡邊 恵利子、吉本 幸司: 頭蓋内電極留置を経て焦点切除手術を行なった小児てんかん症例の治療成績とその特徴: 単施設 23 症例の検討, 第 47 回 日本てんかん外科学会, 2024 年 02 月, ニューオータニイン札幌. (公開)
 - 重藤寛史: てんかんと睡眠と認知障害のトライアングル, てんかん診療連携セミナー, 2024 年 01 月, WEB(獨協医科大学). (公開)
 - 岡留敏樹、山口高弘、向野隆彦、松本 航、上原平、重藤寛史: 頭蓋内脳波記録に対して深層学習を用いて行ったてんかん原性域領域の自動推定, 第 32 回 福岡てんかん研究会, 2023 年 12 月. (公開)
 - 山口高弘、岡留敏樹、向野隆彦、松本 航、上原平、重藤寛史: 新規脳波バイオマーカーを用いた機械学習によるてんかん診断手法の開発, 第 32 回 福岡てんかん研究会, 2023 年 12 月, JR博多シティ会議室, WEB ハイブリット. (公開)
 - 重藤寛史: 睡眠時に生じる発作とその鑑別, 第 53 回 日本臨床神経生理学会学術大会, 2023 年 12 月, 福岡国際会議場. (公開)
 - 迎 伸孝、下川能史、酒田あゆみ、渡邊恵利子、重藤寛史、森岡隆人、吉本幸司: 救急の現場における脳波検査と MRI arterial spin labelling 法の活用, 第 53 回 日本臨床神経生理学会学術大会, 2023 年 12 月, 福岡国際会議場. (公開)
 - 酒田あゆみ、渡邊恵利子、向野隆彦、岡留敏樹、重藤寛史: 脳波を専門としない救急医師との脳波を介した連携の構築, 第 53 回 日本臨床神経生理学会学術大会, 2023 年 12 月, 福岡国際会議場. (公開)
 - 岡本真奈、渡邊恵利子、酒田あゆみ、藤瀬雅子、持丸朋美、松尾和幸、濱崎朱加、下川能史、迎 伸孝、重藤寛史、堀田多恵子、赤司浩一: 頭皮上脳波の分布確認に国際 10-10 法電極の追加が有用であった 2 症例, 第 53 回 日本臨床神経生理学会学術大会, 2023 年 12 月, 福岡国際会議場. (公開)
 - 重藤寛史: 睡眠とてんかん, 第 53 回 日本臨床神経生理学会学術大会, 2023 年 12 月, 福岡国際会議場. (公開)

- 下川能史, 迎 伸孝, 重藤寛史, 向野隆彦, 岡留敏樹, 山口高弘, 酒田あゆみ, 渡邊恵利子, 森岡隆人, 吉本幸司: 頭皮上脳波で前頭部からの発作時脳波活動を認めた頭頂葉腫瘍症例: 発作時頭蓋内外脳波同時記録による脳波活動の検証, 第 53 回 日本臨床神経生理学会学術大会, 2023 年 11 月, 福岡国際会議場. (公開)
- 下川能史、迎伸孝、重藤寛史、酒田あゆみ、森岡隆人、吉本幸司: てんかん焦点切除・凝固術中における SEEG 電極の活用, 第 82 回日本脳神経外科学会, 2023 年 10 月, パシフィコ横浜. (公開)
- 下川能史、森岡隆人、村上信哉、橋口公章、迎伸孝、重藤寛史、酒井康成、酒田あゆみ、渡邊恵利子、吉本幸司: 頭蓋内電極留置を経て焦点切除手術を行なった小児てんかん症例の治療成績とその特徴, 第 56 回日本てんかん学会学術集会, 2023 年 10 月, 京王プラザホテル. (公開)
- 向野隆彦, 山口高弘, 松村尚, 松尾知恵, 中尾文彦, 陳之内文昭, 山内拓司, 加藤光次, 松本航, 渡邊恵利子, 酒田あゆみ, 赤司浩一, 磯部紀子, 重藤寛史: CAR-T 細胞療法に伴い非痙攣性てんかん重積状態(NCSE)を呈した 2 例, 第 56 回日本てんかん学会学術集会, 2023 年 10 月, 京王プラザホテル. (公開)
- 三笥良, 田村俊介, 光藤貴子, 成儒彬, 重藤寛史, 平野羊嗣, 平野昭吾, 中尾智博: 若年ミオクロニーてんかんにおける聴性、および体性感覚性定常状態反応の異常, 第 56 回日本てんかん学会学術集会, 2023 年 10 月, 京王プラザホテル. (公開)
- 重藤寛史: 新しいてんかん症候群について考える 脳神経内科医からみたてんかん症候群の意義と課題, 第 56 回日本てんかん学会学術集会, 2023 年 10 月, 京王プラザホテル. (公開)
- Emi Yamada, Kyoka Finai, Aiko Komori, Hiroshi Shigeto, Shinri Ohta: Selective inhibition of syntactic processing by cathodal stimulation over Broca's area: A high-definition transcranial direct current stimulation stud, 第 46 回 日本神経科学大会, 2023 年 08 月, 仙台国際センター. (公開)
- 松本 航、坂上 晴紀、山口 高弘、向野 隆彦、藤井 敬之、重藤 寛史、磯部 紀子: 発作的な視野欠損を認め、非痙攣性てんかん重積状態を呈した MELAS の一例, 第 18 回 日本神経学会九州地方会, 2023 年 07 月, WEB 福岡市. (公開)
- 重藤寛史: 脳波のいろはにほへと, 第 18 回 日本神経生理検査研究会 九州沖縄支部研修会, 2023 年 06 月, 九州 WEB. (公開)
- 下川能史, 森岡隆人, 村上信哉, 橋口公章, 迎伸孝, 重藤寛史, 酒井康成, 酒田あゆみ, 渡邊恵利子, 吉本幸司: 頭蓋内電極留置を経て焦点切除手術を行なった小児てんかん症例の治療成績, 第 51 回日本小児神経外科学会, 2023 年 06 月, ライトキューブ宇都宮. (公開)
- 重藤寛史: 日本神経学会第 20 回生涯教育セミナー「Hands-on」4 脳波, 第 64 回日本神経学会学術大会, 2023 年 06 月, 幕張メッセ国際会議場. (公開)
- 岡留 敏樹, 山口 高弘, 向野 隆彦, 渡邊 恵利子, 酒田 あゆみ, 下川 能史, 迎 伸孝, 森岡 隆人, 磯部 紀子, 重藤 寛史: 頭蓋内脳波記録に対し深層学習を用いて行なったてんかん原性領域の自動推定, 第 64 回日本神経学会学術大会, 2023 年 06 月, 幕張メッセ国際会議場. (公開)

- 向野 隆彦, 岡留 敏樹, 山口 高弘, 山田 絵美, 太田 真理, 三苦 良, 光藤 崇子, 田村 俊介, 平野 羊嗣, 梶尾 理, 萩原 綱一, 磯部 紀子, 重藤 寛史: Incomplete hippocampal inversion is not a cause of focal epilepsy, 第 64 回日本神経学会学術大会, 2023 年 06 月, 幕張メッセ国際会議場. (公開)
- 山口 高弘, 岡留 敏樹, 向野 隆彦, 上原 平, 下川 能史, 重藤 寛史, 磯部 紀子: 発作間欠期てんかん性放電による背景脳波の変化を機械学習にて検出する試み, 第 64 回日本神経学会学術大会, 2023 年 06 月, 幕張メッセ国際会議場. (公開)
- 重藤寛史: てんかん発作のセミアロジー, 第 64 回日本神経学会学術大会, 2023 年 05 月, 幕張メッセ国際会議場. (公開)
- 須永 圭紀, Kuang Chih Tso, 吉田 成寿, 春田 牧人, 高野 拓郎, 中野 由香梨, 寺澤 靖雄, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: フレキシブル人工視覚デバイスのプロセスの改良と in vitro 性能評価, 第 71 回 応用物理学会春季学術講演会, 2024 年 03 月, 東京都市大学 世田谷キャンパス. (公開)
- 服部 天哉, Wisaroot Sriitsaranusorn, 中西 優輝, Tso Kuang Chih, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 須永 圭紀, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 多点並列刺激時に向けた電源電圧モニタ回路搭載人工視覚チップの設計, 第 71 回応用物理学会春季学術講演会, 2024 年 03 月, 東京都市大学 世田谷キャンパス. (公開)
- 岡田 竜馬, 水野 麻弥, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆: 微弱偏光イメージングシステムを用いたミリ波電界の高速撮像, 2024 年電子情報通信学会総合大会, 2024 年 03 月, 広島大学 東広島キャンパス. (公開)
- 高田 奎之心, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 近赤外マルチスペクトル眼底カメラの小型化に向けた照明不均一性低減画像処理の検証, 映像情報メディア学会冬季大会 2023, 2023 年 12 月. (公開)
- 岩城 昂琉, 笹川 清隆, 須永 圭紀, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳: 2 回読み出しによる自己リセットイメージセンサの特性改善, 映像情報メディア学会冬季大会 2023, 2023 年 12 月, 法政大市ヶ谷キャンパス. (公開)
- 中西 優輝, Wisaroot Sriitsaranusorn, 服部 天哉, 鐘堂 健三, 寺澤 靖雄, 須永 圭紀, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 分散配置型スマート電極人工視覚チップを用いた多点刺激システムの実証, 第 40 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム, 2023 年 11 月, 熊本城ホール. (公開)
- 鎧 圭吾, 春田 牧人, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 生体埋植イメージセンサ空間分解能向上にむけた非対称な角度選択画素構造の検討, 第 40 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム, 2023 年 11 月, 熊本城ホール. (公開)
- Ouyang Xinyuan, 潘 愷鵬, 高野 拓郎, 寺澤 靖雄, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: パリレン C 薄膜 CMOS スマート電極搭載人工視覚デバイスの開発, 第 40 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム, 2023 年 11 月, 熊本城ホール. (公開)
- 佐野 珠世, 太田 安美, Latiful Akbar, 河原 麻実子, 岡田 竜馬, 須永 圭紀, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 光刺激下での脳機能イメージングに向けたデバイスの

作製と評価, 第 84 回応用物理学会秋季学術講演会, 2023 年 09 月, 熊本城ホール. (公開)

- 伊藤 佑樹, 須永 圭紀, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 小型蛍光イメージングデバイス用フロントライト構造の性能向上と実測, 第 84 回応用物理学会秋季学術講演会, 2023 年 09 月, 熊本城ホール. (公開)
- 吉田 成寿, 潘 愷鵬, 須永 圭紀, 春田 牧人, 高野 拓郎, 中野 由香梨, 寺澤 靖雄, 竹原 浩成, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: in-vitro 及び in-vivo 実験に向けたフレキシブル人工視覚デバイスの実装, 第 84 回応用物理学会秋季学術講演会, 2023 年 09 月, 熊本城ホール. (公開)
- 竹原 浩成, 高田 奎之心, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 池田 博一, 野口 一秀, 鈴木 雄斗, 藤田 喜則, 喜多村 康一, 太田 淳: 誘電体薄膜モザイク RGB フィルタ搭載耐放射線カラーカメラの開発, 第 84 回応用物理学会秋季学術講演会, 2023 年 09 月, 熊本城ホール. (公開)
- 岡田 竜馬, 水野 麻弥, 長岡 智明, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆: 高感度偏光イメージングシステムを用いた THz 電磁界イメージング, 第 84 回応用物理学会秋季学術講演会, 2023 年 09 月, 熊本城ホール. (公開)
- 岡田 竜馬, 水野 麻弥, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆: 高感度偏光イメージセンサを用いた高周波電界イメージングの感度改善に向けた検討, 2023 年電子情報通信学会 ソサイエティ大会, 2023 年 09 月, 名古屋大学 東山キャンパス. (公開)
- 赤松 喜裕, 岡田 竜馬, 水野 麻弥, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 太田 淳, 笹川 清隆: フレーム遅延制御を用いた等価時間サンプリングにおける周波数成分分離, 2023 年電子情報通信学会 ソサイエティ大会, 2023 年 09 月, 名古屋大学 東山キャンパス. (公開)
- WISAROOT SRIITSARANUSORN, YUKI NAKANISHI, YOSHINORI SUNAGA, KENZO SHODO, YASUO TERASAWA, HIRONARI TAKEHARA, MAKITO HARUTA, HIROYUKI TASHIRO, KIYOTAKA SASAGAWA, JUN OHTA: Design of artificial retina chip for stimulation with higher voltage range, 2023 年電子情報通信学会 ソサイエティ大会, 2023 年 09 月, 名古屋大学 東山キャンパス. (公開)
- Takuro Kono, Yasuo Terasawa, Hiroyuki Tashiro, Jun Ohta: Development of Flexible Multilayer Circuit Board Fabrication Technology by Combining Laser Micromachining with Pt foil and Microwelding for Biomedical Application, 生体医工学シンポジウム 2023, 2023 年 09 月, 熊本城ホール. (公開)
- 高田 奎之心, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: 複数の屈折力を持つモデル眼球の製作および近赤外マルチスペクトル眼底カメラにおける固視標投影の検証, 映像情報メディア学会 2023 年年次大会, 2023 年 08 月, 東京理科大学 葛飾キャンパス. (公開)
- 須永 圭紀, Austin Ganaway, 太田 安美, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, Yasemin M. Akay, Metin Akay, 太田 淳: げっ歯類の複数脳領域同時計測に向けた小型プラットフォームの開発, 第 46 回日本神経科学大会 (Neuroscience2023), 2023 年 08 月, 仙台国際センター. (公開)

- Latiful Akbar, Virgil Christian Garcia Castillo, Joshua Philippe Olorocisimo, Yasumi Ohta, Mamiko Kawahara, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Masahiro Ohsawa, Jun Ohta: Simultaneous CMOS-based Calcium Imaging and Serotonin Release during Formalin-induced Nociceptive Pain in Freely Moving Mice, 第46回日本神経科学大会(Neuroscience2023), 2023年08月。(公開)
- Virgil Christian G. Castillo, Latiful Akbar, Joshua Philippe Olorocisimo, Yasumi Ohta, Hironari Takehara, Makito Haruta, Hiroyuki Tashiro, Kiyotaka Sasagawa, Jun Ohta: Region of Interest Selection for Lensless Imaging Systems by Adaptive Binarization, 第46回日本神経科学大会(Neuroscience2023), 2023年08月, 仙台国際センター。(公開)
- Oyang Xinyuan, 潘 愷鵬, 高野 拓郎, 寺澤 靖雄, 須永 圭紀, 竹原 浩成, 春田 牧人, 田代 洋行, 笹川 清隆, 太田 淳: CMOS スマート電極搭載人工視覚デバイス用フレキシブル薄膜基板の開発, 電気学会 E 部門総合研究会, 2023年07月, 豊田工業大学。(公開)
- 赤松喜裕, 岡田竜馬, 竹原浩成, 春田牧人, 田代洋行, 笹川清隆, 太田淳: 電界イメージングの中間周波数向上に向けた偏光イメージセンサの露光時間制御, LSI とシステムのワークショップ 2023, 2023年05月, 東京大学 武田先端知ビル。(公開)
- 相原正宗: パネルディスカッション「若手は集まろう! 臨床から感染症リサーチに取り組む!」臨床検査技師の立場から, 第93回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第71回日本化学療法学会西日本支部総会合同学会, 2023年11月, 富山国際会議場。(公開)
- 相原正宗: 第6回微生物検査・感染症技術セミナー 日当直に活かせるプラスワン技術～当直で血液培養陽性処理を行っていない施設の場合～, 日本医療検査科学会第55回大会, 2023年10月, パシフィコ横浜。(公開)
- 相原正宗: パネルディスカッション「若手は集まろう! 臨床から感染症リサーチに取り組む!」臨床検査技師の立場から, 第93回日本感染症学会西日本地方会学術集会・第71回日本化学療法学会西日本支部総会合同学会, 2023年11月, 富山国際会議場。(公開)
- 相原正宗: シンポジウム 11 薬剤耐性(AMR)対策 ～2023年の提言を踏まえて～薬剤耐性菌検出を含めた検査体制, 第70回日本臨床検査医学会学術集会, 2023年11月, 出島メッセ長崎。(公開)
- 高藤将平, 立石悠基, 安田洋子, 小田義直: 扁平上皮癌における核小体の形態学的特徴と病態の関連性について -剖検症例を用いて-, 第62回日本臨床細胞学会秋期大会, 2023年11月, 福岡国際会議場。(公開)

○ 学会以外での講演, 発表

- 重藤寛史: てんかんの症候学:全般てんかん, 日本神経学会 第7回特別教育研修会, 2023年10月, 東京国際フォーラム。(公開)
- 重藤寛史: ビデオ症例で学ぶてんかん発作 焦点発作, 第11回サマーてんかんセミナー, 2023年08月, グランド日航台場。(公開)
- 重藤寛史: 焦点てんかん, 第9回 脳波セミナー・アドバンスコース, 2023年08月, 京都大学紫蘭会館。(公開)
- 重藤寛史 てんかん診療「超」入門セミナー～多職種で考えるてんかん包括医療～Step Up てんかん診療 抗てんかん発作薬の話題を中心に 2023年04月

著作

1. 単行本 なし

2. 総説

- 重藤寛史：(単著) 睡眠障害を併存する高齢てんかんとペランパネル Progress in medicine, 2023 年 06 月, ライフサイエンス 東京. (公開)

3. 解説, 書評など なし

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 内海, 検査実用化を目指したシーズ探索 及び有用性の検討, 2023 年 06 月～2024 年 04 月, 公開.
- 田代, 次世代人工視覚の研究, 2023 年 03 月～2024 年 03 月, 公開.
- 田代, 神経刺激方法の研究開発, 帝京大学, 2018 年 08 月～2024 年 03 月, 公開.

2. 受託研究

- 内海, クロレラとミトコンドリア機能解析, 2023 年 06 月～2024 年 04 月, 公開.

3. 取得特許 なし

4. 兼業

田代, ニプロ(株), 新規事業部, 技術顧問

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 重藤, カロリンスカ大学(Sweden), 大学・研究所訪問, 2023 年 09 月～2023 年 09 月(2 週間未満)
- 重藤, ILAE Older People Commission Meeting. 35th International Epilepsy Congress. 2023 年 09 月～2023 年 09 月 Dublin, Ireland.(2 週間未満)

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 田代, 支線 LAN 管理者. (公開)
- 相原, 九州大学研究用微生物安全管理委員会委員.

2. 部局委員

- 田代, 大学院入試(修士課程, 博士課程) 専攻問題作成委員. (公開)

3. 部門・コース内委員

- 重藤, 検査技術科学分野分野長. (公開)
- 内海, 入試実施委員会
- 内海, 大学院委員会
- 田代, KITE 連絡員. (公開)
- 安田, 広報委員. (公開)

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 田代, 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域, 客員准教授, 委託教員. (公開)
- 内海 純真学園大学 検査科学科 非常勤講師
- 安田, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師(分担). (公開)
- 安田, 博多メディカル専門学校・臨床工学士科, 非常勤講師. (公開)

2. 学協会

- 重藤, 日本てんかん学会, 理事, 国内.
- 重藤, 日本神経学会, 評議員, 国内.
- 重藤, 日本臨床神経生理学会, 評議員, 国内.
- 重藤, 日本てんかん学会九州地方会代表.
- 重藤, commission member of older people commission, International League Against Epilepsy, 国際.
- 内海 日本ミトコンドリア学会, 評議員.
- 内海 日本臨床化学会, 評議員.
- 内海 日本臨床検査学会, 評議員.
- 内海 日本医療検査科学会, 評議員.

- 田代, IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers), Senior Member, 国際.
- 田代, IEEE BioCAS 2023, Review Committee Member, 国際.
- 田代, 日本生体医工学会九州支部, 評議員, 国内.
- 田代, 第 63 回日本生体医工学会大会, 大会組織委員, 広報委員長, 国内.
- 田代, 2024 年 日本生体医工学会九州支部学術講演会, 座長, 国内.
- 田代, 2024 年 日本生体医工学会九州支部学術講演会, 研究奨励賞審査員, 国内.
- 相原, 日本臨床微生物学会雑誌, 編集委員 (血液培養検査ガイド第二版作業部会委員), 国内.

3. 官界 なし

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職

重藤, 福岡県てんかん治療医療協議会委員長.

5. 公開講座・公開講演会

- 重藤, 「てんかんと認知障害」, 福岡県てんかん支援拠点病院, レソラホール天神, 講演会・公開討論.
- 重藤, 「てんかんで利用できる医療制度」, 福岡県てんかん支援拠点病院, WEB, セミナー・研修会.
- 重藤, 「第 34 回 てんかん総合講座 てんかんの薬物療法」, 日本てんかん協会福岡県支部, 福岡市市民福祉プラザふくふくホール, セミナー・研修会.
- 重藤, 「第 34 回 てんかん総合講座 福岡県てんかん支援拠点病院について」, 日本てんかん協会福岡支部, 福岡市市民福祉プラザふくふくホール, セミナー・研修会.
- 重藤, 「福岡県てんかん支援拠点病院について」, 日本てんかん協会福岡支部, 福岡市市民福祉プラザ, セミナー・研修会.
- 内海 第19回九州大学医学部保健学科公開講座.

6. 初等中等教育への貢献

- 安田, 「高大ジョイントセミナー (出前講義)」, 福岡県立城南高等学校, 講演・セミナー等.

検査技術科学分野

病態情報学

教授	勝田 仁
教授	水野 晋一
講師	外園 栄作
講師	栗崎 宏憲
講師	立石 悠基
助教	木村 朋子
助教	塩津 弘倫
助教	八木 美佳子

1. 教育活動

1. 大学院講義

Medical Science and Technology I	勝田	前期
分子情報解析検査学	勝田	後期
病態情報機能検査学	勝田	後期
ヘルスサイエンス論	勝田	前期
病態情報解析学 I	勝田	前期
Health Science	勝田	前期
病態情報解析学 I	水野	前期
国際社会とチーム医療	水野	前期
International Society and Multidisciplinary Care	水野	前期
検査技術科学特別研究	外園	通年
病態情報解析検査学	立石	後期

2. 大学院実験・実習 なし

3. 大学院演習

Medical Science and Technology II	勝田	後期
病態情報解析学 II	勝田	後期
国際プレゼンテーション(勝田教授)	勝田	通年
保健学特別研究(勝田教授)	勝田	通年
病態情報機能検査学演習	勝田	前期
分子情報解析検査学演習	勝田	前期
検査技術科学特別研究(勝田教授)	勝田	通年
検査技術科学特別研究	水野	通年
保健学特別研究	水野	通年
国際プレゼンテーション	水野	通年
病態情報解析検査学演習	水野	前期
検査技術科学特別研究	外園	通年

4. 大学院修士課程修了者

中川 七海	クローン造血モデル作成を目的とした CRISPR-Cas9 システムによるゲノム編集ベクターおよびレンチウイルス導入法の確立
濱野 佑	尿中 THP 測定法の開発とその糖鎖解析
深川 結妃	飲酒マーカーの測定法に関する検討
余門 明里	人間ドック受診者を対象とした機械学習を用いた腎機能評価予測アルゴリズムの開発
高藤 将平	扁平上皮癌における核小体の形態学的特徴と病態の関連性

5. 大学院博士課程修了者 なし

6. 学部講義

生化検査学	勝田	夏学期
生化学	勝田	春学期
遺伝子・細胞工学	勝田	春学期
人体の構造と機能Ⅱ	勝田	前期
生物化学分析検査学特論	勝田	後期
臨床検査医学総論	勝田	冬学期
病因・生体防御検査学特論	勝田	秋学期
臨床検査学概論Ⅱ	勝田	冬学期
臨床検査学概論Ⅱ	勝田	秋学期
臨床検査学概論Ⅰ	勝田	夏学期
臨床検査学概論Ⅰ	勝田	春学期
臨床検査学概論Ⅰ	水野	春学期
医用工学・情報概論	水野	前期
人体の構造と機能Ⅰ	水野	前期
血液検査学	水野	後期
臨床化学検査Ⅰ	外園	後期
生物化学分析学特論	外園	後期
臨床検査学概論Ⅱ	外園	秋学期
臨床検査学概論Ⅰ	外園	春学期
一般検査学Ⅱ	栗崎	秋学期
輸血検査学	栗崎	冬学期
臨床検査学概論Ⅰ	栗崎	春学期
病原体学	栗崎	前期
病理検査学概論	立石	冬学期
形態検査学特論	立石	後期
臨床検査学概論Ⅱ	立石	秋学期
病理学	立石	秋学期
生化学	八木	春学期
臨床検査学概論Ⅰ	八木	春学期
生化検査学	八木	夏学期
臨床検査学概論Ⅱ	八木	秋学期

生理機能検査学Ⅲ	塩津	前期
生理機能検査学Ⅱ	塩津	前期
生理機能検査学Ⅰ	塩津	前期
臨床検査学概論Ⅰ	木村	春学期
検査基礎技術および実習	木村	前期

7. 学部の実験・実習・演習

臨地実習	勝田	前期
遺伝子検査学および実習	勝田	前期
遺伝子検査学実験	勝田	夏学期
臨床検査統計学および演習	勝田	後期
血液検査学実習	水野	後期
検査基礎技術および実習	外園	前期
生物化学分析学特論	外園	後期
生化学・臨床化学実習（分担）	外園	後期
検査基礎技術および実習	外園	前期
国際感染症学および実習	栗崎	前期
一般検査学実習	栗崎	冬学期
臨床免疫学および実習	栗崎	後期
組織・病理検査学および実習Ⅲ	立石	後期
組織・病理検査学および実習Ⅰ	立石	後期
組織・病理検査学および実習Ⅱ	立石	前期
遺伝子検査学および実習	八木	前期
遺伝子検査学実験	八木	夏学期
臨床検査統計学および演習	八木	秋学期
生化学・臨床化学実習	八木	後期
臨床免疫学および実習	八木	後期
臨床微生物学および実習	塩津	前期
生理機能検査学実習	塩津	後期
国際感染症学および実習	木村	前期

8. 卒業論文作成者

川添 若葉	AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における JAM-1 遺伝子の発現解析
假屋 知来	AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における Carboxypeptidase E 遺伝子の発現解析
柴田 藍里	AR42J 細胞のインスリン産生細胞への分化過程における Pdx1, Neurogenin3, MafA 遺伝子の発現解析
大山伊織	オートエンコーダー (autoencoder) による画像情報処理における潜在変数の検討
穴井華乃	Vision transformer (ViT) による画像データの時系列解析の検討
江口 桃	Sequence-to-Sequence (Seq2Seq) モデルによる画像データの時系列解析の検討
大藤 有未	血中 NAD, NADH 測定法の検討
表田 麻衣	アルコール依存の常習度評価のための検査法の確立
江口 沙羅	循環器疾患の新たなマーカーとしての TMAO の酵素的測定法の開発
北嶋 莉子	SARS-CoV-2 ワクチン接種後の抗体価の評価法について
藤 彩香	<i>Candida albicans</i> の形態学的鑑別法の改良

古城 未来	HEV 感染 B 細胞における AIRE 遺伝子ノックアウト導入の検討
堀 倫子	九州大学剖検症例を用いた大腸癌の研究
佐藤 亜海	九州大学剖検症例を用いたがんの研究
川上 真依	九州大学剖検症例を用いた胃癌の研究
前原 悠人	ミトコンドリア翻訳機能障害によるフェロトーシスの機序の解析
谷 晃人	神経細胞における p32 ノックダウンによる影響の解析
堀内 菜摘希	4-アミノピリジンをもちいた細胞の興奮性増加モデルの構築の研究
西村 友見	グルタミン酸の過剰添加による NMDA 受容体の発現に関する研究

9. 研究生 なし

2. 学生支援活動

1. 学生課外活動指導 なし

3. 研究活動

1. 主要研究事項

1	膝島再生機構の解明と糖尿病再生医療の確立	勝田	(公開)
2	九州大学病院検査データを用いた新たな糖尿病病態分類の確立	勝田	(公開)
3	ゲノム編集技術の基礎研究	水野	(公開)
4	血液疾患診断への遺伝子解析の応用	水野	(公開)
5	腫瘍免疫の誘導法および検査技術の開発	水野	(公開)
6	生体試料, 特に非侵襲的に採取可能な尿を用いた新しい検査・診断法の開発	外園	(公開)
7	生体試料中の酸化・還元成分が生体に及ぼす影響についての研究	外園	(公開)
8	自己免疫調節遺伝子(AIRE)の機能解析	栗崎	(公開)
9	剖検検体における全身性沈着症と癌の臨床病理学的研究	立石	(公開)
10	残留性有機汚染物質と癌の関連性の研究	立石	(公開)
11	MicroRNA を用いた新規臨床検査法の開発	塩津	(公開)
12	骨髓異形成症候群細胞株 MDS-L を用いた in vitro における新規薬剤の抗腫瘍効果の検討	木村	(公開)
13	老化に伴い発症するミトコンドリア関連性疾患の機能解析と予防治療	八木	(公開)

2. 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金の受入れ

- 「基盤研究(C)」クローン造血(CH)環境の腫瘍発生・進展への機序および CH 環境の免疫学的制御, 水野(代表), 900 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」金属キレータを用いた核酸増幅量の高感度検出技術の開発とその実用可能性の検証, 外園(代表), 1100 千円. (公開)
- 「基盤研究(C)」老化に伴い発症するミトコンドリア関連性疾患の機能解析と予防治療, 八木(代表), 1300 千円. (公開)
- 「若手研究」AXL 活性の制御による骨髓異形成症候群の病態解明及び新たな治療戦略, 木村(代表), 1100 千円. (公開)

3. 学内研究経費の受入れ なし

4. 奨学寄付金の受入れ

- 「マイクロアレイと次世代シーケンサーを用いた新規遺伝子発現解析のための解析技術開発」株式会社セルイノベーター(Cell Innovator Inc.), 水野, 4000 千円. (公開)

5. その他の外部研究資金の受入れ

- 「マイクロアレイと次世代シーケンサーを用いた新規遺伝子発現解析のための解析技術開発」水野, 1200 千円. (公開)
- 「Meiji Seika ファルマ株式会社 ミトコンドリア機能と老化に関する研究」八木, 0 千円.

6. 受託研究員・研修員の受入れ なし

7. 研究成果の報告

学会誌・学術専門誌

- Kobayashi Y, Niida A, Nagayama S, Saeki K, Haeno H, Takahashi KK, Hayashi S, Ozato Y, Saito H, Hasegawa T, Nakamura H, Tobo T, Kitagawa A, Sato K, Shimizu D, Hirata H, Hisamatsu Y, Toshima T, Yonemura Y, Masuda T, Mizuno S, Kawazu M, Kohsaka S, Ueno T, Mano H, Ishihara S, Uemura M, Mori M, Doki Y, Eguchi H, Oshima M, Suzuki Y, Shibata T, Mimori K.: Subclonal accumulation of immune escape mechanisms in microsatellite instability-high colorectal cancers., *Br J Cancer*, 129, 7, 1105 – 1118, 2023 年 10 月. (査読あり)(公開)
- Ninomiya K, Arimura H, Tanaka K, Chan WY, Kabata Y, Mizuno S, Gowdh NFM, Yaakup NA, Liam CK, Chai CS, Ng KH.: Three-dimensional topological radiogenomics of epidermal growth factor receptor Del19 and L858R mutation subtypes on computed tomography images of lung cancer patients., *Computer Methods and Programs in Biomedicine*, 2023 年 06 月. (査読あり)(公開)
- Jin Y, Arimura H, Cui Y, Kodama T, Mizuno S, Ansai S.: CT Image-Based Biopsy to Aid Prediction of HOPX Expression Status and Prognosis for Non-Small Cell Lung Cancer Patients., *Cancers*, 15, 8, 2220, 2023 年 04 月. (査読あり)(公開)
- Tetsuya Komene, Kotoko Kai, Kiyoko Kinpara, Tomoaki Sato, Eisaku Hokazono, Tatsuo Shimosawa, Susumu Osawa, Masanori Seimiya: Development of a plasma maltose assay method as a screening test for upper gastrointestinal disorders, *Annals of Clinical Biochemistry*, 2024 年 01 月. (査読あり)(公開)
- Eisaku Hokazono, Saori Fukumoto, Takeshi Uchiumi, Susumu Osawa: Pyrophosphate detection method using 5-Br-PAPS to detect nucleic acid amplification – Application to LAMP method –, *Analytical Biochemistry*, 684, 115371, 2024 年 01 月. (査読あり)(公開)
- Keiichiro Mine, Seiho Nagafuchi, Satoru Akazawa, Norio Abiru, Hitoie Mori, Hironori Kurisaki, Kazuya Shimoda, Yasunobu Yoshikai, Hirokazu Takahashi, Keizo Anzai: TYK2 signaling promotes the development of autoreactive CD8+ cytotoxic T lymphocytes and type 1 diabetes, *Nature Communications*, 15, 1337, 1 – 14, 2024 年 02 月. (査読あり)(公開)

- Mikako Yagi, Yura Do, Haruka Hirai, Kenji Miki, Takahiro Toshima, Yukina Fukahori, Daiki Setoyama, Chiaki Abe, Yo Ichi Nabeshima, Dongchon Kang, Takeshi Uchiumi: Improving lysosomal ferroptosis with NMN administration protects against heart failure, *Life Science Alliance*, 6, 12, e202302116, 2023 年 12 月. (査読あり)(公開)
 - Saori Ueda, Mikako Yagi, Ena Tomoda, Shinya Matsumoto, Yasushi Ueyanagi, Yura Do, Daiki Setoyama, Yuichi Matsushima, Asuteka Nagao, Tsutomu Suzuki, Tomomi Ide, Yusuke Mori, Noriko Oyama, Dongchon Kang, Takeshi Uchiumi: Mitochondrial haplotype mutation alleviates respiratory defect of MELAS by restoring taurine modification in tRNA with 3243A > G mutation, *Nucleic acids research*, 2023 年 07 月. (査読あり)(公開)
 - Kenji Miki, Mikako Yagi, Naoki Noguchi, Yura Do, Ryosuke Otsuji, Daisuke Kuga, Dongchon Kang, Koji Yoshimoto & Takeshi Uchiumi: Induction of glioblastoma cell ferroptosis using combined treatment with chloramphenicol and 2-deoxy-d-glucose, *Scientific Reports*, 2023 年 06 月. (査読あり)(公開)
 - Shun Fujinuma, Hirokazu Nakatsumi, Hideyuki Shimizu, Shigeaki Sugiyama, Akihito Harada, Takeshi Goya, Masatake Tanaka, Motoyuki Kohjima, Masatomo Takahashi, Yoshihiro Izumi, Mikako Yagi, Dongchon Kang, Mari Kaneko, Mayo Shigeta, Takeshi Bamba, Yasuyuki Ohkawa, Keiichi I. Nakayama: FOXK1 promotes nonalcoholic fatty liver disease by mediating mTORC1-dependent inhibition of hepatic fatty acid oxidation, *Cell Reports*, 2023 年 05 月. (査読あり)(公開)
 - Yamada Y, Ichiki T, Susuki Y, Yamada-Nozaki Y, Tateishi Y, Furue M, Oda Y.: Diagnostic utility of ERG immunostaining in dermatofibroma. *J Clin Pathol*. 2023 Aug.
 - 山口 知彦, 大久保 文彦, 野上 美和子, 中附 加奈子, 仲 正喜, 立石 悠基, 岩崎 健, 矢幡 秀昭, 加藤 聖子, 小田 義直: 子宮頸部細胞診 AGC の診断と臨床 細胞診での形態学的な判定を中心に, 日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 54:19-24. 2023.
 - 森山 智彦, 川床 慎一郎, 谷口 義章, 立石 悠基, 鳥巢 剛弘: 【「胃と腸」式 読影問題集 2023 応用と発展-考える画像診断が身につく】十二指腸(Case 1)(解説), 胃と腸 58 巻 10 号, Page1312-1315(2023.10).
- 国際会議・国際学会などのプロシーディングス なし
 - 大学・研究機関などの刊行誌 なし
 - 調査研究報告 なし
 - 国内学会での講演, 発表
 - 勝田 仁: 国立大学における臨床検査技師のキャリアディベロップメント支援, 令和5年度日臨技九州支部臨床検査総合部門研修会, 2023 年 11 月, 福岡市.
 - 米根鉄矢, 清宮正徳, 外園栄作, 大澤進: マルトースの高感度測定法の開発, 第 34 回生物試料分析科学会年次学術集会, 2024 年 03 月, 大阪工業大学梅田キャンパス. (公開)

- 濱野 佑、外園栄作: MALDI-TOF/MS を用いた尿中 Tamm-horsfall-Protein(THP)の糖鎖分析～分析前試料の条件検討～, 第 34 回生物試料分析科学学会年次学術集会, 2024 年 03 月, 大阪工業大学梅田キャンパス. (公開)
- 大澤 進、大藤 有未、外園栄作: 老化バイオマーカーとしての血中 NAD⁺・NADH 測定法の構築に関する検討-実試料測定に向けた NADH 測定法の改良-, 第 34 回生物試料分析科学学会年次学術集会, 2024 年 03 月, 大阪工業大学梅田キャンパス. (公開)
- 余門 明里、佐谷 純一、緒方 昌倫、古賀 秀信、勝田 仁、外園 栄作: 人間ドック受診者を対象とした機械学習を用いた腎機能評価予測アルゴリズムの開発, 第 34 回生物試料分析科学学会年次学術集会, 2024 年 03 月, 大阪工業大学梅田キャンパス. (公開)
- 深川結妃、外園 栄作、大澤 進: アルコール摂取量のバイオマーカーとしてのホスファチジルエタノールの酵素的測定法に関する検討, 第 34 回生物試料分析科学学会年次学術集会, 2024 年 03 月, 大阪工業大学梅田キャンパス. (公開)
- 深川結妃、表田麻衣、外園 栄作、大澤 進: 飲酒のバイオマーカーとしてのホスファチジルエタノール(PEth)測定法の開発～臨床検体分析に向けた PEth の保存条件に関する検討～, 第 34 回生物試料分析科学学会年次学術集会, 2024 年 03 月, 大阪工業大学梅田キャンパス. (公開)
- 余門 明里、佐谷 純一、緒方 昌倫、古賀 秀信、勝田 仁、外園 栄作: 人間ドック受診者を対象とした機械学習を用いた腎機能評価予測アルゴリズムの開発, 第 32 回福岡県医学検査学会, 2023 年 09 月, 純真学園大学. (公開)
- 高藤将平, 立石悠基, 安田洋子, 小田義直: 扁平上皮癌における核小体の形態学的特徴と病態の関連性について -剖検症例を用いて-, 第 62 回日本臨床細胞学会秋期大会, 2023 年 11 月, 福岡国際会議場. (公開)

○ 学会以外での講演, 発表

- 塩津 弘倫 :池田先生に学ぶ～学生教育と研究～、福岡県臨床衛生検査技師会 北九州地区研修会、2023 年 7 月、小倉記念病院

著作

1. 単行本 なし
2. 総説 なし
3. 解説, 書評など なし

受賞 なし

報道 なし

4. 産学連携活動

1. 共同研究

- 水野, マイクロアレイと次世代シーケンサーを用いた新規遺伝子発現解析のための解析技術開発, , 2022 年 06 月～2025 年 05 月, 公開.

2. 受託研究 なし

3. 取得特許 なし

4. 兼業 なし

5. 特記すべきその他の技術相談 なし

5. 国際交流・協力活動

1. 海外出張・研修出張

- 勝田, カロリンスカ大学(Sweden), 大学・研究所訪問, 2023 年 09 月～2023 年 09 月(2 週間未満)
- 立石, 日本モンゴル病院(Mongolia), その他, 2023 年 08 月～2023 年 08 月(2 週間未満)(公開)

2. 外国人研究者の受入れ

- 訪問教授・研究員 なし
- 訪問研究者 なし

3. 留学生の受入れ なし

4. 学生の海外派遣 なし

6. 学内行政事務などの担当

1. 全学委員

- 勝田, 九州大学病院 糖尿病診療支援センター・副センター長. (公開)
- 勝田, 病院地区国際推進室・室長. (公開)

2. 部局委員

- 勝田, 医学図書館運営委員会・委員. (公開)
- 勝田, 医学研究院等動物実験委員会・委員.
- 勝田, 医系地区部局ヒト ES 細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会・委員.
- 水野, 細胞免疫治療委員会・委員. (公開)

3. 部門・コース内委員

- 勝田, 財務委員会・委員. (公開)
- 勝田, 地域国際連携推進 FD 委員会・委員長. (公開)
- 勝田, 施設・環境委員会・委員. (公開)
- 勝田, 卒業研究委員. (公開)
- 勝田, 教務委員会・副委員長. (公開)
- 勝田, 九州大学大学院医学研究院保健学部門検査技術科学分野・副分野長.
- 水野, 学生委員会・委員長
- 外園, 教務委員会委員. (公開)
- 栗崎, 学生委員. (公開)
- 立石, 地域国際連携・FD 委員会.
- 塩津, 地域国際連携・FD 委員会.
- 木村, 施設環境委員会. (公開)
- 八木, 百人部会構成員

7. 学外での活動

1. 他大学の非常勤講師

- 水野, 久留米大学医学部血液・腫瘍内科 客員教授. (公開)
- 外園, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師. (公開)
- 外園, 博多学園高等学校(看護科および看護学専攻科), 非常勤講師. (公開)
- 栗崎, 福岡県私設病院協会看護学校, 非常勤講師. (公開)
- 八木, 純真学園大学, 非常勤講師. (公開)
- 塩津, 久留米歯科衛生専門学校, 非常勤講師.

2. 学協会

- 外園, 日本臨床検査同学院の主催する試験の九州地区試験実行委員として緊急臨床検査士試験運営に従事. 日本臨床検査同学院, 学術団体.
- 勝田, 日本糖尿病学会, 学術評議員
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 理事
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 学会運営委員会・委員長
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 役員選考委員会・委員
- 勝田, 日本臨床検査学教育協議会, 評議員
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会・理事長
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, 将来問題検討ワーキンググループ・委員
- 勝田, 国立大学臨床検査技師教育協議会, 役員校任期等見直しワーキンググループ・委員
- 水野, 日本血液疾患免疫療法学会, 評議員, 国内.
- 水野, 日本血液学会, 評議員, 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会 科学技術委員会, その他(科学技術委員会 事務局), 国内.
- 外園, 日本医療検査科学会 編集委員会, その他(編集委員会 委員), 国内.
- 外園, 生物試料分析科学会, 理事, 国内.

- 外園，日本医療検査科学会 科学技術委員会，幹事（科学技術委員会委員），国内.
- 立石，日本病理学会，その他（病理専門医部会会報編集委員会 委員），国内.
- 外園，日本医療検査科学会誌，査読委員，国内.
- 外園，生物試料分析科学会誌，査読委員，国内.
- 八木，九州大学農学部同窓会総会，評議員，国内.

3. 官界

- 外園，「九州地区における臨床化学領域における若手技師の育成を目的として生化学アカデミー九州義塾主催のアカデミーにて分光分析における基礎について解説した。」，生化学アカデミー九州義塾。（公開）

4. 産業界・地域社会・その他の委員会役職 なし

5. 公開講座・公開講演会 なし

6. 初等中等教育への貢献

- 勝田，「出前講座/九州大学医学部紹介」，佐賀県立佐賀西高等学校，講演・セミナー等.

4. 教員組織および委員会一覧

◆教員組織・委員会一覧

教員人員及び教員配置表

保健学部門

令和5年度

分野・領域	教 授	准教授	講 師	助教	その他
看護学					
統合基礎看護学	後藤 健一 藤田 君支 橋口 暢子		丸山 マサ美 能登 裕子 青本 さとみ 松尾 和枝 松永 由理子 令和6年3/31退職	道面 千恵子 吉田 恵美 木原 深雪 薬師寺 佳菜子 令和6年3/31退職 松本 美晴 牟田 真美 令和5年9/30退職 相星 香 令和6年3/31退職 田中 さとみ 中島 紀江	
広域生涯看護学	鳩野 洋子 諸隈 誠一 寺岡 佐和 疋田 直子	前野 有佳里 植木 慎悟	宮田 潤子 菊地 君与 令和5年8/31退職 末次 美子 岩木 三保	藤田 貴子 佐藤 洋子 田代 恵莉 松藤 尋幹 杉浦 圭子 令和5年4/1採用 塚本 舞 令和5年4/1採用 酒井 久美子	
医用量子線科学					
基礎放射線科学	有村 秀孝 藤淵 俊王	高橋 昭彦 令和6年3/31退職 納富 昭弘	近藤 雅敏	河窪 正照	
医用放射線科学	馬場 眞吾 令和5年4/1採用 杜下 淳次 令和6年3/31退職 藪内 英剛	渥美 和重 井手口 忠光		田中 延和	
検査技術科学					
生体情報学	内海 健 重藤 寛史		田代 洋行 相原 正宗 令和5年4/1採用	安田 洋子 十島 崇嘉 令和5年8/1採用、 令和6年3/31退職	
病態情報学	水野 晋一 勝田 仁		外園 栄作 立石 悠基 令和5年4/1採用 栗崎 宏憲	塩津 弘倫 木村 朋子 八木 美佳子	

No.	1			2			3			4			5			6		
委員会	総務委員会			将来計画、点検・評価委員会			人事委員会			財務委員会			入学試験実施委員会			学生委員会		
合併委員会	年報委員会			年報委員会			教員活動評価委員会											
委員長	部門長			部門長			部門長			部門長			【看】嶋野			【放】藤淵		
副委員長	委員長指名			委員長指名			委員長指名			委員長指名			委員長指名			委員長指名		
看護学	分野長			橋口			橋口			橋口			橋口			橋口		
	分野長			橋口			橋口			橋口			橋口			橋口		
	分野長			橋口			橋口			橋口			橋口			橋口		
医用量子線科学	分野長			有村			有村			有村			有村			有村		
	分野長			有村			有村			有村			有村			有村		
	分野長			有村			有村			有村			有村			有村		
検査技術科学	分野長			重藤			重藤			重藤			重藤			重藤		
	分野長			重藤			重藤			重藤			重藤			重藤		
	分野長			重藤			重藤			重藤			重藤			重藤		
職指定の委員	部門長			部門長			部門長			部門長			部門長			部門長		
	副部門長			副部門長			副部門長			副部門長			副部門長			副部門長		
	各分野長			各分野長			各分野長			各分野長			各分野長			各分野長		

No.		7		8		9		10		11		12	
委員会		教務委員会		大学院委員会		施設・環境委員会		地域・国際連携推進委員会		広報委員会		放射線安全委員会	
合併委員会						KITE連絡員・支線LAN管理者		FD実行委員会					
委員長		総務委員会で検討、部門会議で選出		前年度副委員長【検】水野		部門長指名【看】藤田君		前年度副委員長【検】勝田		総務委員会で検討、部門会議で選出		医学研究院長 赤司	
副委員長		総務委員会で検討、部門会議で選出		総務委員会で検討、部門会議で選出【放】藤淵		委員長指名【検】水野		総務委員会校選出【看】疋田		委員会で選出【看】後藤		X線取扱主任者 納富(H26.4～)	
看護学	教授(1)	R5.4～ R7.3	教授(2)	後藤	教授(1)	R4.4～ R6.3	藤田君	教授または准教授(1)	R5.4～ R7.3	疋田	教授または准教授(1)	R5.4～ R7.3 R4.4～ R6.3	
	講師以上(1)	R4.4～ R6.3		末次	助教以上(1)	R4.4～ R6.3	岩木	助教または講師(3)	R5.4～ R7.3 R4.4～ R6.3	松尾 酒井 菊地	助教または講師(2)	R5.4～ R7.3	
医用量子線科学	教授(1)	R4.4～ R6.3	教授(2)	藤淵	教授(1)	R5.4～ R7.3	馬場	教授または准教授(1)	R4.4～ R6.3	渥美	教授または准教授(1)	R5.4～ R7.3	助教以上(4) R5.4～ R7.3 納富
	講師以上(1)	R5.4～ R7.3		杜下	助教以上(1)	R5.4～ R7.3	河窪	助教または講師(2)	R3.4～ R5.3 R5.4～ R7.3	井手口 高橋	助教または講師(1)	R5.4～ R7.3	R4.4～ R6.3 藤淵、近藤、河窪
検査技術科学	教授(1)	R4.4～ R6.3	教授(2)	内海	教授(1)	R5.4～ R7.3	水野	教授または准教授(1)	R4.4～ R6.3	勝田	教授または准教授(1)	R5.4～ R7.3	
	講師以上(1)	R4.4～ R6.3		外園	助教以上(1)	R4.4～ R6.3	木村	助教または講師(2)	R5.4～ R7.3 R4.4～ R6.3	立石 塩津	助教または講師(1)	R5.4～ R7.3	
職指定の委員						支線LAN管理者		※NEEP(教育の質向上支援プログラム)の実施責任者：橋口教授				部門長 X線取扱主任者【納富(H26.4～)】 X線取扱副主任者【河窪】 事務部長	
						【保健学科本館】 (看護)木村助教、藤井助教 【基礎研究B棟】 (主)(放射)高橋准教授 (副)(検査)田代講師 【総合研究棟1～4F】 (検査)田代講師							
						KITE連絡員							
						(看護)木村助教、藤井助教 (検査)田代講師 (放射)納富准教授							

【令和5年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R5)委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
1	病院地区協議会	【職指定】部門長	藪内教授 (部門長)	-	-	-	部門長	医学・歯学・薬学 研究院長、生体防 御医学研究所長、 病院長、保健学部 門長、医系学部等 事務部長、病院事 務部長、医療系統 合教育研究セン ター長及び(オブ ザーバーとして)副 病院長(歯科部 門)
		【職指定】 医療系統合教育 研究センター長	(歯)	-	-	-	医療系統合 教育研究セン ター長	
1-1	九州大学病院地区学生感染対策委 員会		【検査】水野教授	2 年	R5.4.1	R7.3.31	九州大学病院 地区学生感染 対策委員会内 規第3条1項「学 部(学科)、学 府の学生の教 育または感染 対策に責任を 持つ組織に所 属する教員の うちから選出さ れた者 1名」	
2	アイトープ総合センター 病院地区実験室運営委員会		【放射】馬場教授	2 年			講師以上1名	医学研究院から5 名(内、保健学から 1名)
3	アイトープ総合センター 病院地区実験室放射線安全委員会			2 年			講師以上1名	
4	アイトープ総合センター 病院地区実験及び病院地区学生実 習室放射線取扱副主任者							RIセンターから委 嘱依頼有 選出の必要なし
5	附属図書館医学図書館運営委員会	部門内教務委員 会委員長、副委 員長	【看護】寺岡教授 【検査】勝田教授	2 年	R5.4.1 R5.4.1	R6.3.31 R6.3.31	教授2名	〔部門内〕図書委 員会は教務委員 会と統合 →教務委員会委 員長・副委員長が 兼ねる
6	医療系統合教育研究センター委員 会	部門内教務委員 長(実質的な任 期は1年)	【看護】寺岡教授 【検査】内海教授	2 年	R5.4.1 R5.4.1	R7.3.31 R7.3.31	保健学部門 教員から1名 保健学部門 教員から1名 保健学部門 の教員から1 名 (医療系統合 教育研究セン ター兼任教 員)	※センター長は各 部局選出の副セン ター長4名から1名 が輪番で選出(原 則、副センター長 経験者から) ★センター長 H27-H28 歯 H29-H30 保 R1-R2 薬 R3-R4 医 ・副センター長 〔部門内〕教務委 員長 →実質的な任期は 1年
6-1	医療系統合教育研究センター ICT活用教育推進専門部会			-	-	-		H26.6～

【令和5年度病院地区委員会】

番号	委員会名	役職指定等	現(R5)委員	任期	始 期	終 期	委員資格・条件等	備 考
7	九州大学医の倫理に関する協議会	【職指定】部門長		-	-	-	部門長	部局長・保健学部門長・各倫理審査委員会委員長・人文・社会科学の有識者・その他協議会が必要と認めた者
8	医系地区部局観察研究倫理審査委員会		【看護】寺岡教授	2年	R5.4.1	R7.3.31	保健学部門講師以上	
8-1	医系地区部局観察研究倫理審査委員会 書面審査員		【放射】渥美准教授	2年	R5.4.1	R7.3.31	保健学部門講師以上	
9	医系地区部局ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会			2年			保健学部門の教授1名(医学に関する専門家)	
10	九州大学院医研究等動物実験委員			2年			九州大学院医研究等動物実験委員会内規第3条9号「その他委員会が必要と認める者若干人」	委嘱依頼あり 選出不要
11	安全・衛生委員会			2年				職位の指定はなし 毎月1回開催
13	KITE連絡員 ※令和4年4月以降、施設・環境委員会で決定する。			-				施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(H30年7月6日施設・環境委員会にて決定)
14	アジア・オセアニア研究教育機構 医療健康クラスター 遠隔医療モジュール	【職指定】部門長						
15	医学研究院教員活動評価専門委員会	部門長 各分野長		-	-	-	部門長 各分野長	申し合わせでは部門長から指名された分野長1名となっているが、実質的に各分野長が行っている
16	医学研究院情報公開・個人情報保護委員会			-	-	-	・医学研究院長 ・研究院長が指名する副研究院長 ・基礎系/臨床系の教授各2名 ・医学部事務長 ・委員会が必要と認めた者	

【令和5年度全学委員会】

番号	委員会	職指定等	現(R5.4.1～)委員	任期	次期始期	次期終期	委員資格・条件等	備考
1	教育研究評議会 (オブザーバー)	【職指定】医学部門長または 保健学部門長で、医学研究 院長で無い方	載内教授 (学科長)	-	-	-	九州大学教育研究評議会規則第6条第1項(学 部長の推薦に基づき総 長が必要と認める者)	医学研究院における 九州大学教育研究評 議会委員に関する申 合せ(H22.11.10教授 会決定)
1-1	キャンパス計画及び施設 管理委員会	【職指定】 病院地区協議会議長						地区協議会議事長 (医・歯・薬・病・生・保 の輪番)
1-2	ハラスメント委員会						医、歯、薬、生医研及び 病院の教授、准教授及 び講師のうちから選ば れた者1人	
1-2-1	ハラスメント調査部会委員						医、歯、薬、生医研及び 病院の教授、准教授及 び講師のうちから選ば れた者2人(うち1人は女 性)	
1-3	入学試験実施委員会	【職指定】 部内入試実施委員会委員 長	【看護】嶋野教授	1 年	R5.4.1	R6.3.31	九州大学入学試験実施 委員会等規程第3条第1 項第11号(総長が必要と 認めた者若干人)(任 期1年)	〔部門内〕入学試験実 施委員会委員長
1-4	教育企画委員会	【職指定】 部内教務委員会委員長	【看護】寺岡教授	(2 年)	R5.4.1	R6.3.31	医学系学府保健学専攻 又は医学部保健学科か ら選ばれた教授1名	※医学とは別枠 〔部門内〕教務委員会 委員長 →実質的な任期は1年
1-4-1	基幹教育と専攻教育の有 機的接続に関する検討 WG			1 年	-	-		R4.5.13新設、WGの活 動期間はR5.3.31まで
1-5	学生支援委員会	【職指定】 部内学生委員会委員長 【職指定】 部内学生委員会副委員長	【放射】藤淵教授 【看護】諸隈教授	(2 年)	R5.4.1 R5.4.1	R6.3.31 R6.3.31	学生支援委員会が必要 と認めた者 若干人	〔部門内〕学生委員会 委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
1-6	研究用微生物安全管理 委員会		【検査】相原講師	2 年	R5.4.1	R6.3.31	研究用微生物を取扱う 施設を置く部局の教授、 准教授及び講師各1名	※医学とは別枠
1-7	放射線障害防止委員会			2 年			その他委員会が必要と 認める者	
1-7-1	放射線障害防止委員会 オブザーバー			-	-	-		放射線取扱主任者が オブザーバーとして参 加
2	基幹教育実施会議	【職指定】 部内教務委員会委員長	【看護】寺岡教授	(2 年)	R5.4.1	R6.3.31	その他運営会議が必要 と認めた者	〔部門内〕教務委員会 委員長 →実質的な任期は1年
2-1	基幹教育科目実施班員 ※理系ディシプリン科目 班 生物専門チーム			1 年			各学部の教員のうちか ら実施会議が必要と認め た者 会議から指名あり(選出 必要なし)	H26新設
3	大学院基幹教育実施会 議 (H26.1 新設)	【職指定】 部内大学院委員会委員長	【検査】水野教授	(2 年)	R5.4.1	R6.3.31	その他運営会議が必要 と認めた者	〔部門内〕大学院委員 会委員長 →実質的な任期は1年
4	21世紀プログラム専門委 員会	(分野長が担当する) R1 看護、R2 検査 R3 放射、R4 看護					各学部から選ばれた教 授1名 ※医学として	看護・検査・放射分野 の輪番
5	21世紀プログラム主導教 員(修学指導)	(分野長が担当する) R1 看護、R2 検査 R3 放射、R4 看護						看護・検査・放射分野 の輪番

【令和5年度全学委員会】

番号	委 員 会	職指定等	現(R5.4.1～)委員	任期	次期始期	次期終期	委員資格・条件等	備 考
6	情報統括本部運営会議		(歯)	2年			馬出地区(医/歯/薬/病/生)に勤務する准教授以上1人	医・歯・薬・病・生の輪番
7	加速器・ビーム応用科学センター複担教員			なし				
7-1	加速器・ビーム応用科学センターガンマ線施設運営委員会		※(医)から選出予定	2年			医学研究院、薬学研究院、総合理工学研究院及び比較社会文化研究院の専任の教授、准教授、講師のうちから選ばれた者 各1名 ※医学として ※R1.4.1～保から選出依頼(北園研究院長より)	
8	学生相談室相談員	【職指定】 部内学生委員会委員長 【職指定】 部内学生委員会副委員長	【放射】藤淵教授 【看護】諸隈教授	(2年)	R5.4.1 R5.4.1	R6.3.31 R6.3.31	学府・学部の教員(教授、准教授、講師)	[部門内]学生委員会委員長・副委員長 →実質的な任期は1年
9	アイントープ統合安全管理センター委員会		【放射】納富准教授 【放射】藤淵教授	2年	R5.4.1	R7.3.31	別表2(2)センターの教授及び准教授	RIセンター複担教員(放射線科学部)
10	支線LAN管理者 ※令和4年4月以降、施設・環境委員会において決定する。			-			施設・環境委員会の構成員が兼ねる。(H30年7月6日施設・環境委員会にて決定)	133.5.216.0.24(保健学科本館)ならびに133.5.213.0.24(基礎研究B棟)の管理
11	研究活動基礎支援専門委員会			2年	※R5年度以降廃止予定		研究活動基礎支援専門委員会要項第3条(5)その他専門委員会が必要と認めた者(医学研究院から1名)※医学として ※可能な限り女性を選出いただきたい。	
12	中央分析センター委員会			2年			教授1名 ※医学として	

令和5年度
年 報

作 成 : 令和6年10月

発行者 : 保健学部門 令和6年度 年報委員会
有村秀孝
諸隈誠一・鳩野洋子・佐藤洋子
近藤雅敏・内海健・安田洋子

発 行 : 九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1